

令和 7 年度 第 1 回葛飾区区民モニターアンケート 調査報告書

- －「健康アプリについて」－
- －「葛飾区における大規模マラソンイベントについて」－
- －「多文化共生について」－

令和 7 年 1 1 月



目 次

序章 調査概要	4
1 調査目的	4
2 調査方法等	4
3 調査テーマ	4
4 報告書の見方	4
5 回答者の属性	5
第1章 調査結果（健康アプリについて）	9
（1）健康意識	10
（2）葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」の認知度	12
（3）葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」をどこで知ったか	14
（4）葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」の登録状況	17
（5）葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」の登録理由	19
（6）葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」の不満な点	21
（7）葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」の非登録理由	25
（8）葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」の登録意向	28
（9）葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」に登録を希望する理由	30
（10）葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」に登録を希望しない理由	32
（11）葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」以外の健康アプリの使用動向	35
（12）葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」以外の健康アプリを使用する理由	37
（13）葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」以外の健康アプリを使用しない理由	40
第2章 調査結果（葛飾区における大規模マラソンイベントについて）	43
（14）ランニングやジョギングの頻度	44
（15）マラソン大会にランナーとして参加した経験	46
（16）マラソン大会を現地観戦した経験	48
（17）参加したいマラソンイベントの距離	50
（18）かつしかふれあいR U Nフェスタの認知	52
（19）かつしかふれあいR U Nフェスタにランナーとして参加した経験	54
（20）かつしかふれあいR U Nフェスタを現地観戦した経験	56
（21）かつしかふれあいR U Nフェスタにランナーとしての参加意向	58
（22）葛飾区内で大規模な公道マラソンイベントが開催されることの期待	60
（23）公道を利用したマラソン大会が地域にもたらすメリット	62
（24）公道を利用したマラソン大会開催に対しての懸念	65
（25）特に懸念される影響	67
（26）マラソン大会開催に伴う交通規制に許容できると思う情報提供や対策	70

(27) 特に重視すべき大規模マラソン大会の安全・医療体制	73
(28) 大会運営における SDGs への配慮の重要性	76
(29) 葛飾区における大規模公道マラソンイベントのコース案	78
(30) 葛飾区における大規模公道マラソンイベントのコース案を選んだ理由	80
(31) かつしかふれあいRUNフェスタのエントリー費用感	84
(32) かつしかふれあいRUNフェスタのハーフマラソンのエントリー費用の上限	87

第3章 調査結果（多文化共生について） 89

(33) 地域の外国人区民との交流はあるか	90
(34) 地域の外国人区民との交流	92
(35) 地域の外国人区民との交流する中で困ったことはあるか	94
(36) 地域の外国人区民との交流する中で困ったときの対応	96
(37) 外国人区民に生活上で何か相談されたことはあるか	98
(38) 外国人区民に生活上で相談された内容	100
(39) 日常生活で外国人との関係で困っていることはあるか	103
(40) 日常生活で外国人との関係で困っていること	105
(41) 災害発生した場合、外国人との関係で不安はあるか	107
(42) 災害発生した場合、外国人との関係で不安を感じる事	109
(43) 外国人区民に参加して欲しい地域のイベントや催し	112
(44) 地域のイベントや催しへの参加意向	114
(45) 地域のイベントや催しへ参加したくない理由	116
(46) 「やさしい日本語」の認知	117
(47) 区が実施する「やさしい日本語」講座に参加したことがあるか	119
(48) 区が実施する「やさしい日本語」講座に参加しなかった理由	121
(49) 「やさしい日本語」を実践したことはあるか	123
(50) 「やさしい日本語」を実践しなかった理由	124
(51) 葛飾区は、外国人にとって住みやすいまちだと思うか	125
(52) 葛飾区は、外国人にとって住みやすいまちだと思わない理由	127

第 1 章 調査概要

序章 調査概要

1 調査目的

区が実施している施策や区が発信している情報等について、公募により決定した「区民モニター」から、意見を収集することにより、区政への活用を図ることを目的とする。

2 調査方法等

(1) 調査対象	無作為で選定した18歳以上の区民4,000人から公募により決定した区民モニター500人
(2) 調査方法	インターネットでの回答
(3) 調査期間	令和7年7月28日(月)～8月20日(水)
(4) 有効回収数	451名

3 調査テーマ

テーマ1 健康アプリについて

テーマ2 葛飾区における大規模マラソンイベントについて

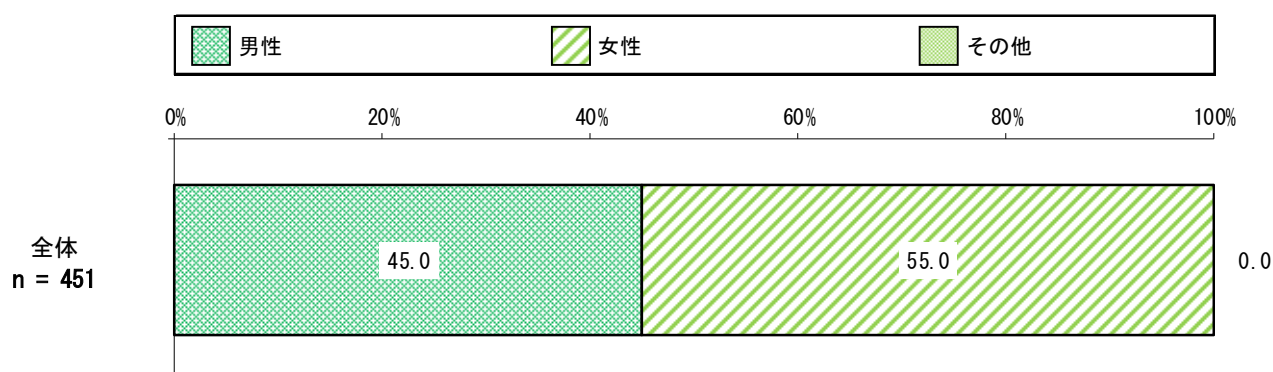
テーマ3 多文化共生について

4 報告書の見方

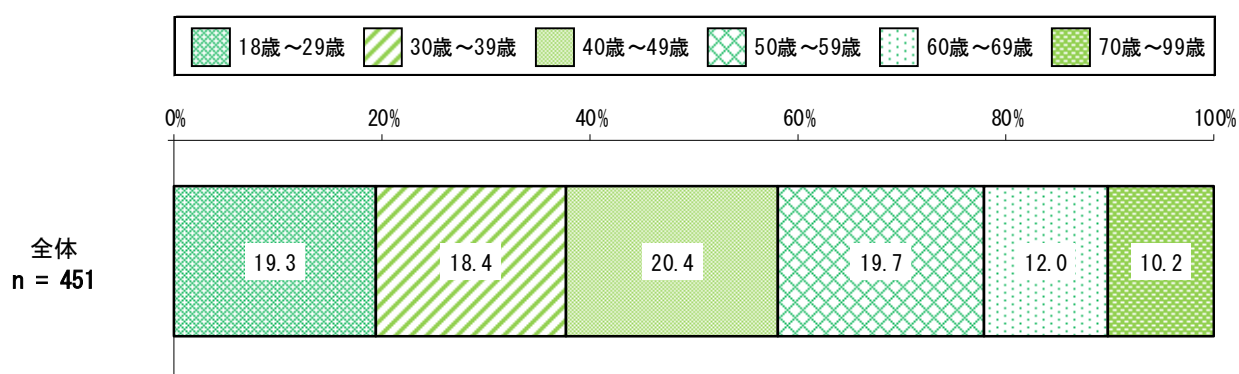
- (1) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。したがって、合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答形式の場合、回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。
- (4) 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。
- (5) クロス集計において、回答が0件(0.0%)の場合、グラフ中で省略している場合がある。

5 回答者の属性

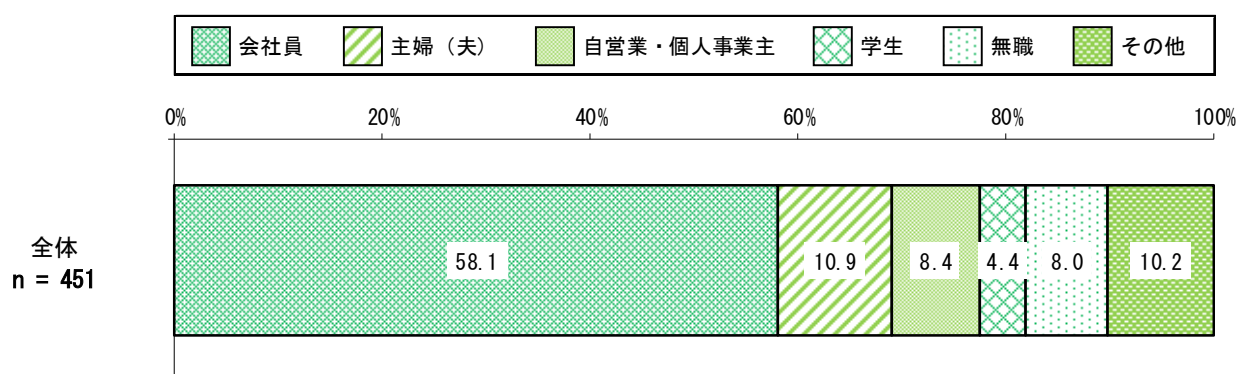
(1) 性別



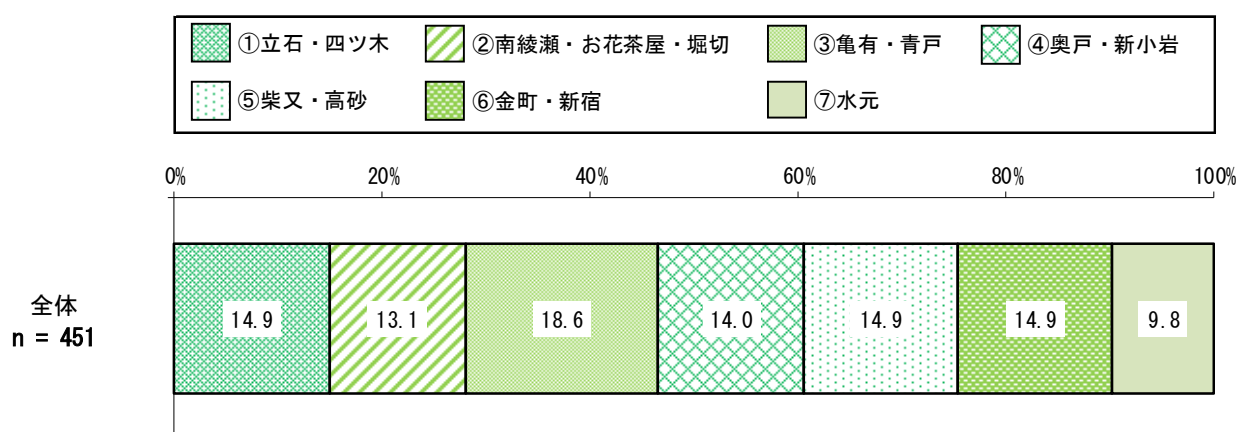
(2) 年齢層 (6 区分)



(3) 職業



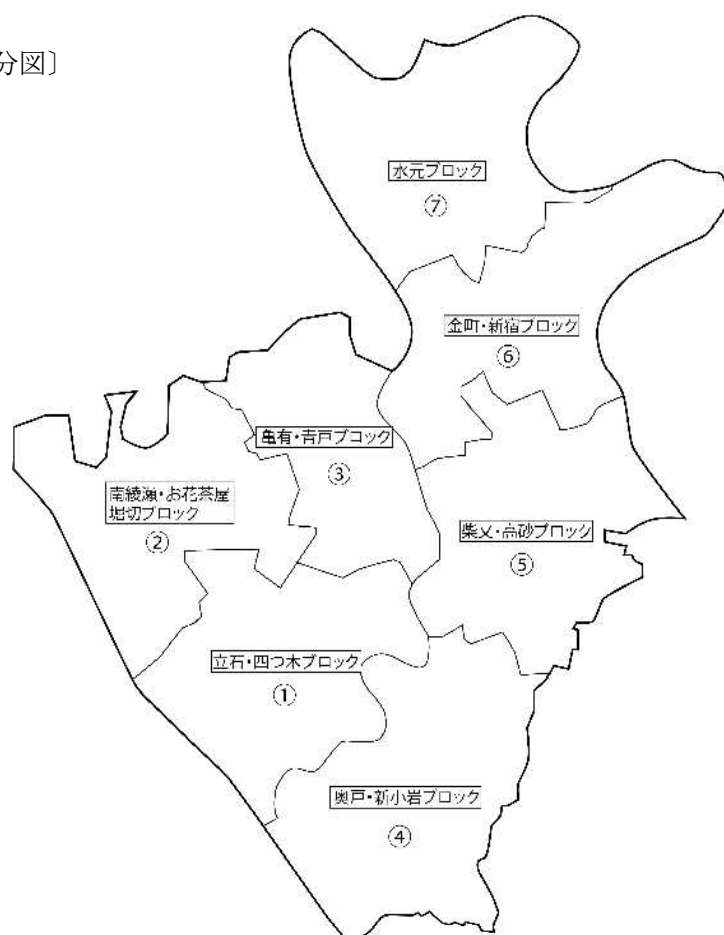
(3) 居住地域（7区分）



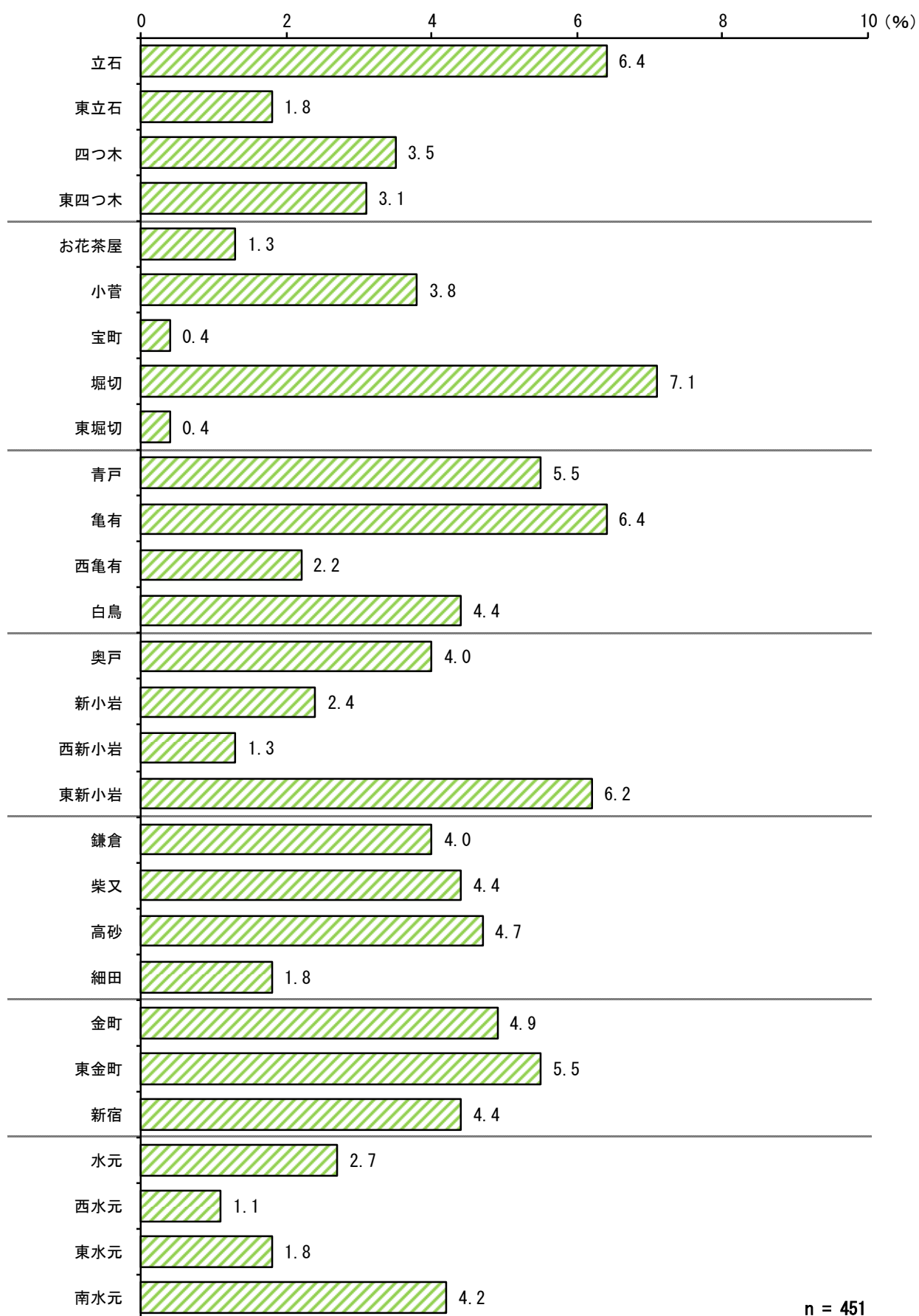
〔居住地域区分表〕

	ブロック名	町名
1	立石・四つ木ブロック	立石・東立石・四つ木・東四つ木
2	南綾瀬・お花茶屋・堀切ブロック	お花茶屋・小菅・宝町・堀切・東堀切
3	亀有・青戸ブロック	青戸・亀有・西亀有・白鳥
4	奥戸・新小岩ブロック	奥戸・新小岩・西新小岩・東新小岩
5	柴又・高砂ブロック	鎌倉・柴又・高砂・細田
6	金町・新宿ブロック	金町・東金町・新宿
7	水元ブロック	水元・西水元・東水元・南水元

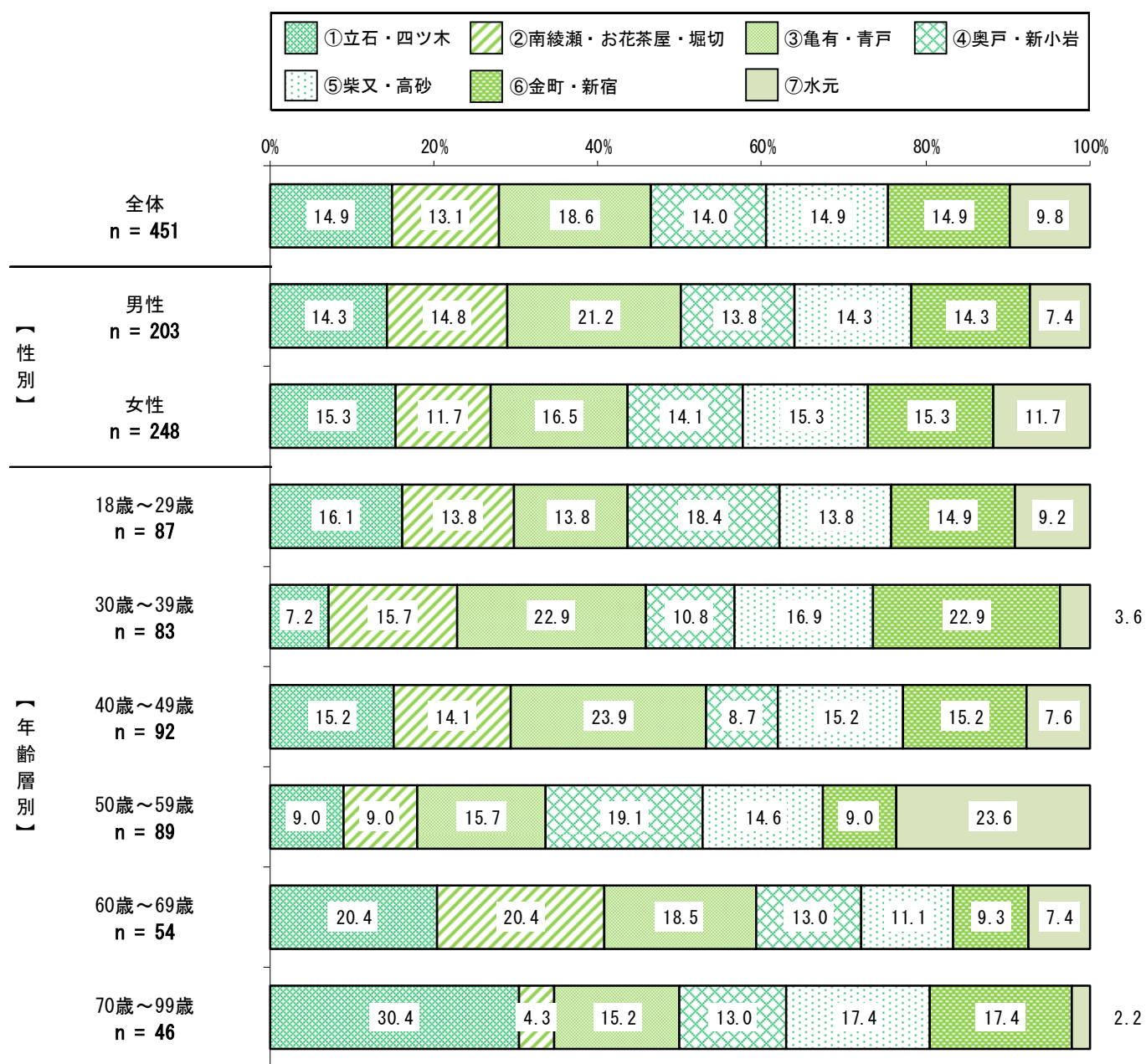
〔居住地域区分図〕



(4) 居住地域 (28 区分)



(5) 居住地域 (7 区分) 【性別・年齢層別】



第1章 調査結果（健康アプリについて）

テーマ1 健康アプリについて

葛飾区では、区民の皆様がいきいきと健やかに、幸せや喜びを感じながら暮らせる「健康長寿のまち、葛飾」の実現のため、その取組の一つとして健康的な活動をする「かつしかP A Y」に交換できるポイントが貯まり、A Iによる一人一人に最適な健康づくりの提案ができるスマートフォンアプリ「モンチャレ（W o L N）」を提供しています。

この取組をより良いものとするため、葛飾区が提供する健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」に対してどのような期待や要望をお持ちか、区民モニターの皆様にご意見をお伺いします。

※「かつしかP A Y」とは

葛飾区商店街連合会が発行する、区内の約 500 店舗（令和 7 年 3 月 31 日現在）の決済で使えるデジタル商品券です。

※モンチャレに登録してみませんか？

食事記録でキャラクターを育てたり、A I アドバイスで新しい発見があったり、ゲーム感覚の楽しい仕掛けが満載で、アクティブなほどかつしかP A Yに交換できるポイントが貯まります。是非、アプリをインストールしてモンチャレに参加してみてください。

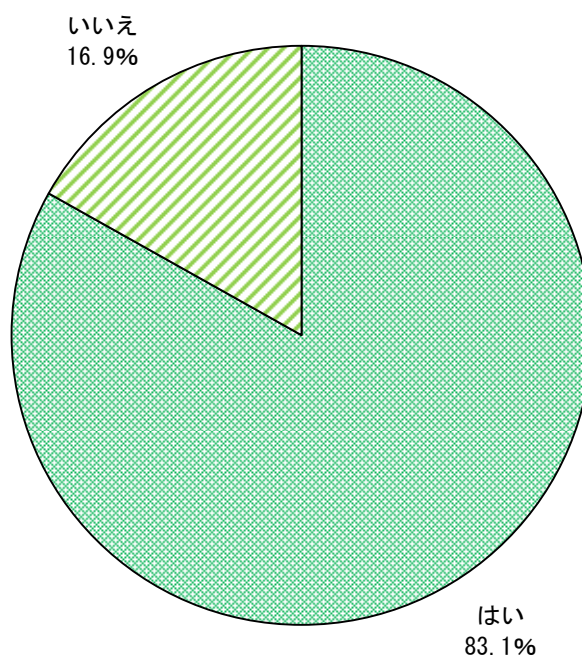
登録はこちら→<https://katsushika-monchalle.com/>



(1) 健康意識

問1 普段から健康に意識を向けていますか。(1つ選択)

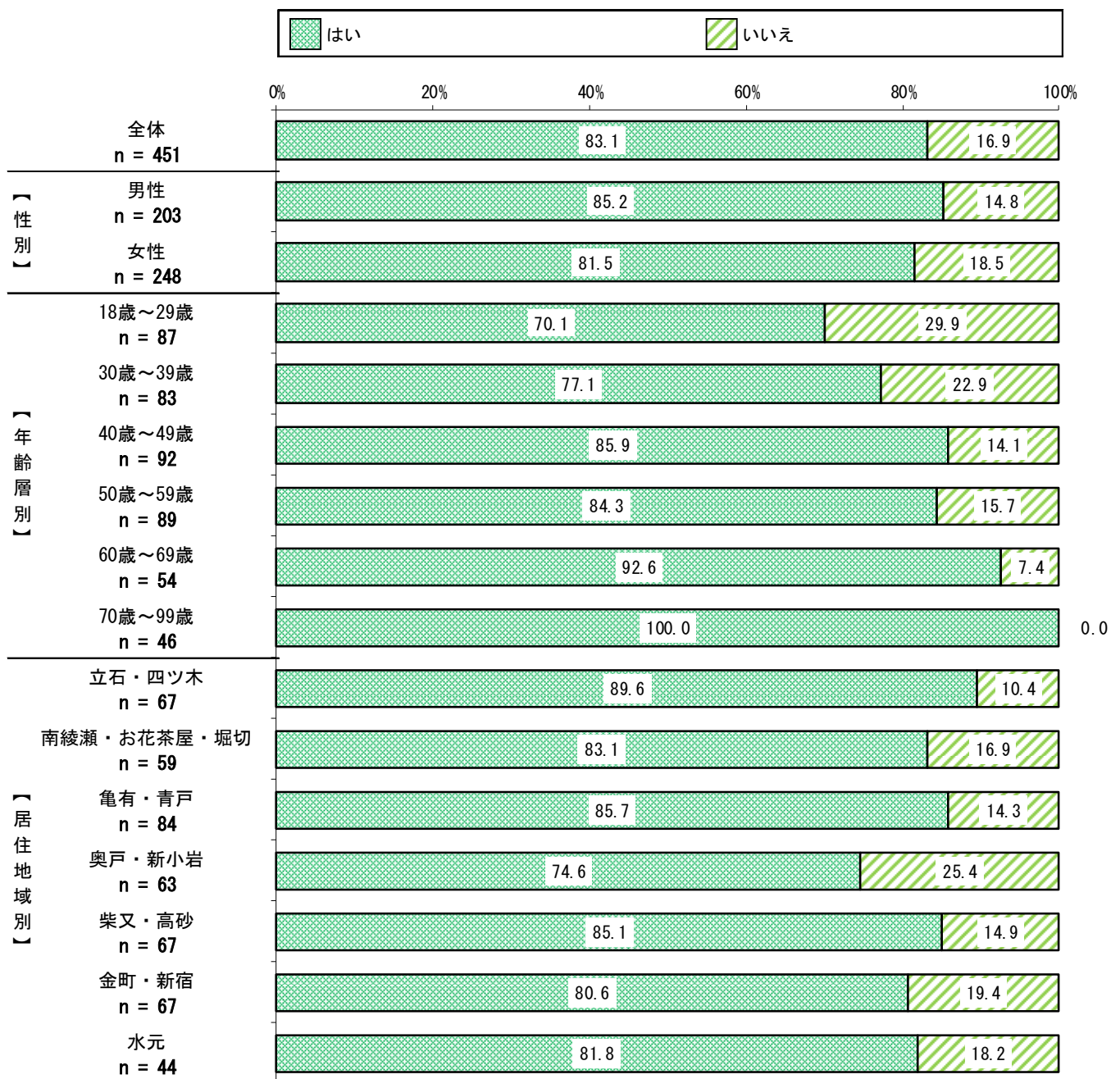
健康意識【全体】



n = 451

健康意識は、「はい」が83.1%となっている。

健康意識【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

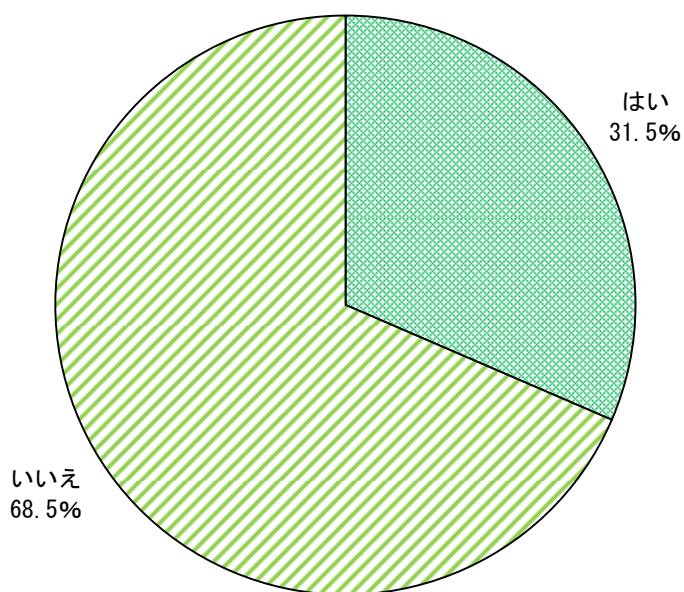
年齢層別にみると、「はい」は年齢が高くなるほど、その割合が高くなり、【70歳～99歳】が100.0%となっている。

居住地域別でみると、「いいえ」は【奥戸・新小岩】が25.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

(2) 葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の認知度

問2 葛飾区では、令和6年10月から、モンチャレと題して健康アプリ「W o L N」を提供していますが、このことを知っていますか。(1つ選択)

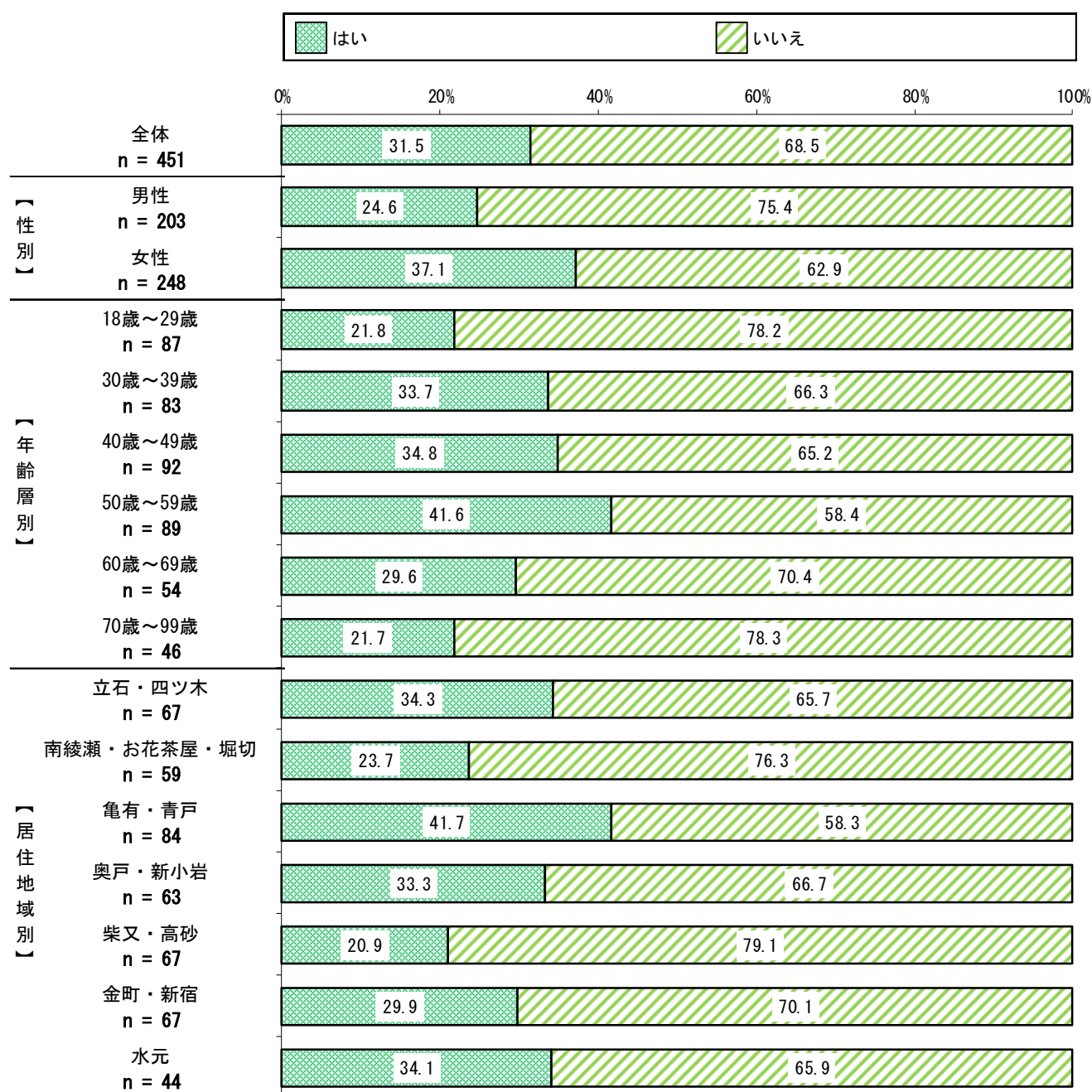
葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の認知度【全体】



n = 451

葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の認知度は、「いいえ」が 68.5%となっている。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」の認知度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「はい」は【女性】が 37.1%と、【男性】(24.6%) よりも 12.5 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「はい」は【50 歳～59 歳】が 41.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

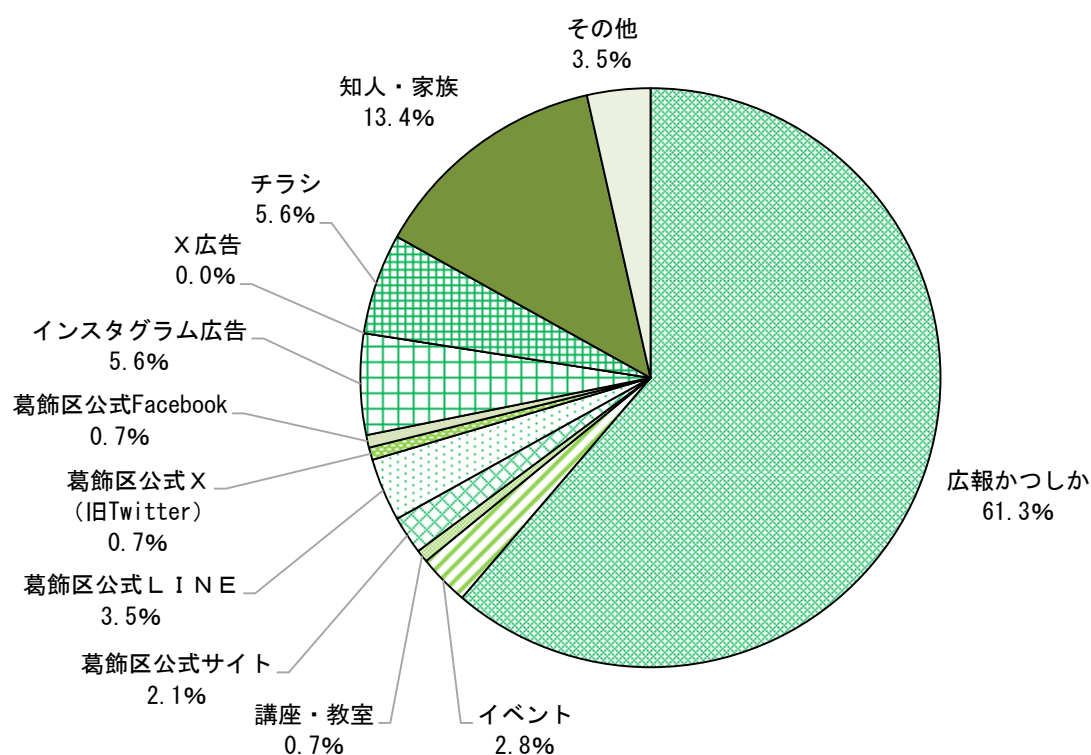
居住地域別でみると、「はい」は【亀有・青戸】が 41.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

(3) 葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」をどこで知ったか

問3 問2で「はい」と答えた方に伺います。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」はどのように知りましたか。複数ある場合には、最も印象に残っているものを選択してください。(1つ選択)

葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」をどこで知ったか【全体】



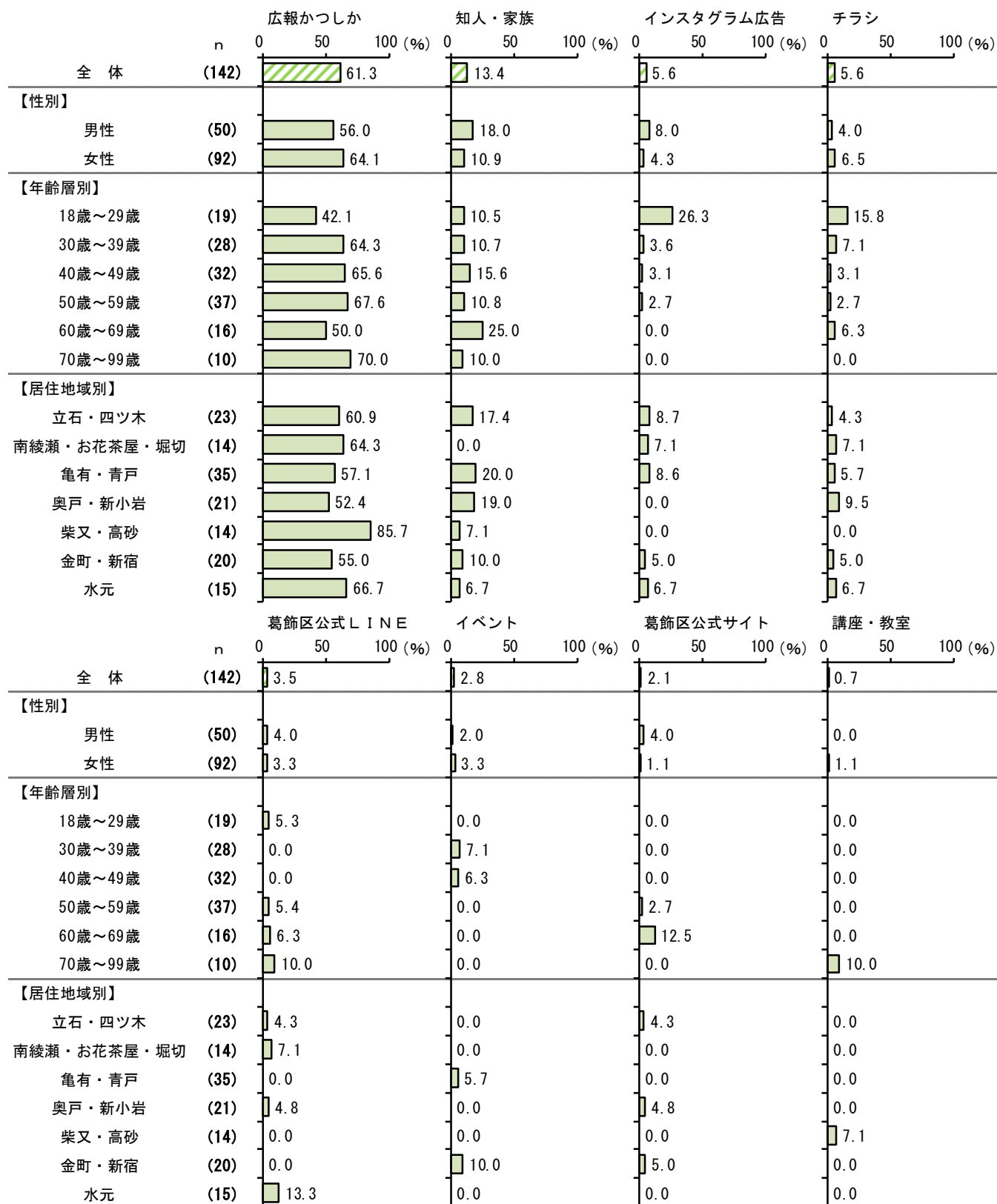
n = 142

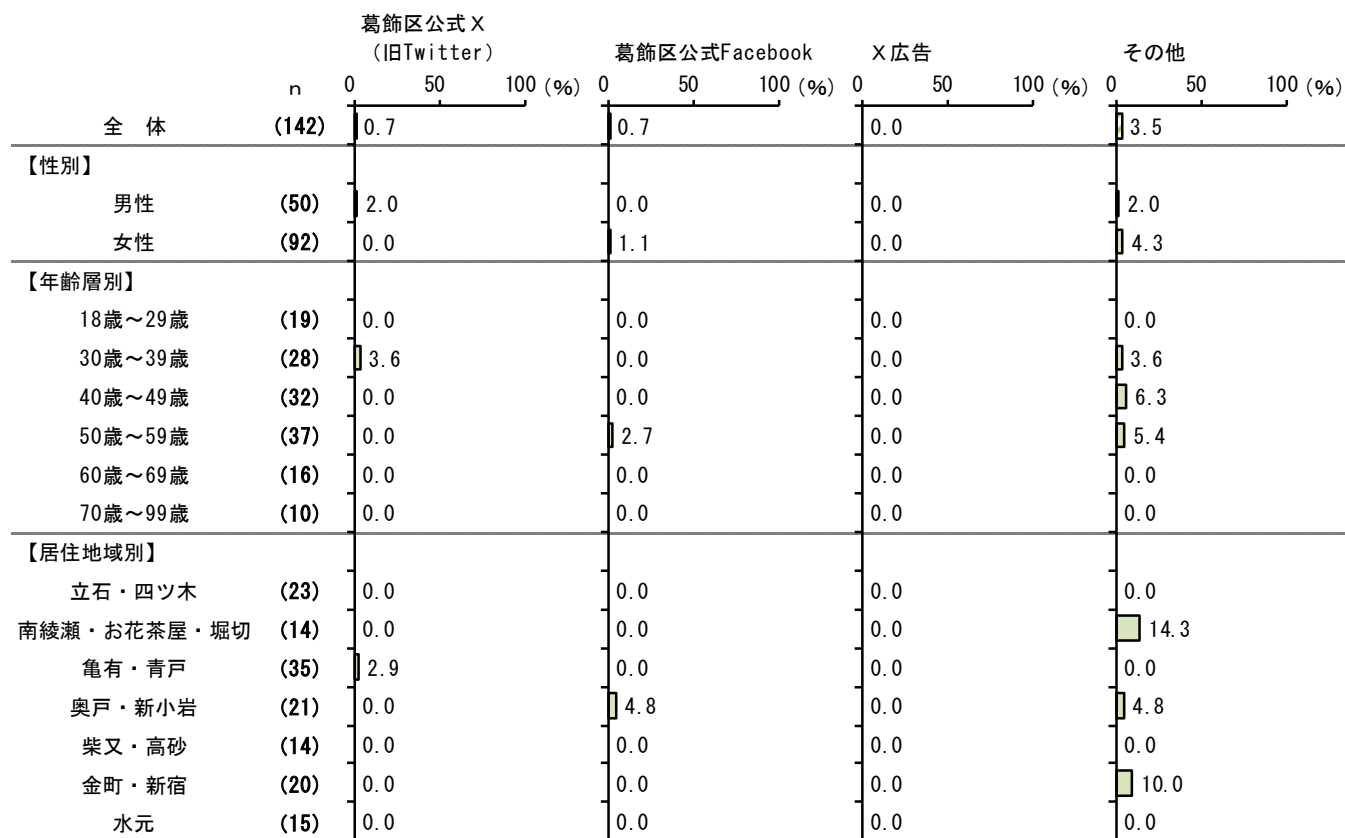
葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」をどこで知ったかは、「広報かつしか」が61.3%で最も高くなっている。

「その他」の内容としては、「南葛 SC が紹介していたから」があった。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」をどこで知ったか

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「広報かつしか」は【女性】が64.1%と、【男性】(56.0%)よりも8.1ポイント高くなっている。

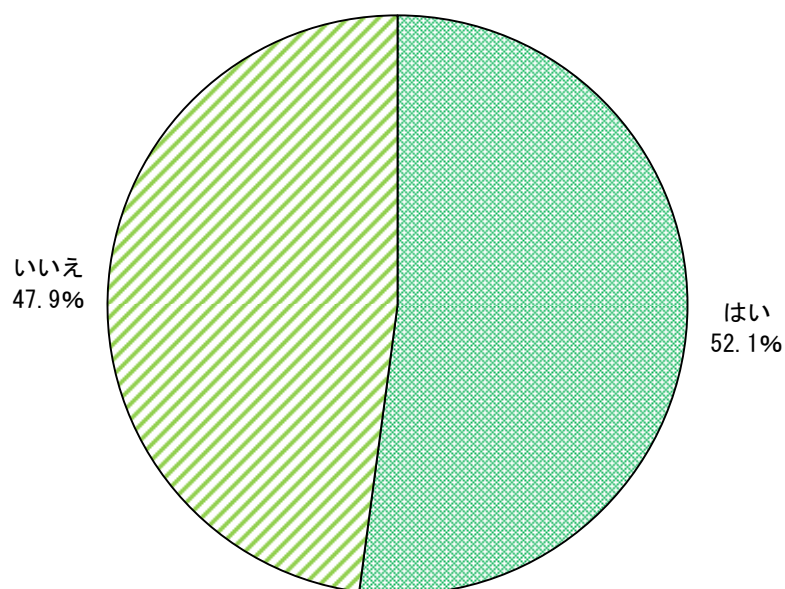
年齢層別でみると、「Instagram広告」は【18歳～29歳】が26.3と、他の区分に比べ高くなっている。

(4) 葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の登録状況

問4 問2で「はい」と答えた方に伺います。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」をインストールして登録していますか。(1つ選択)

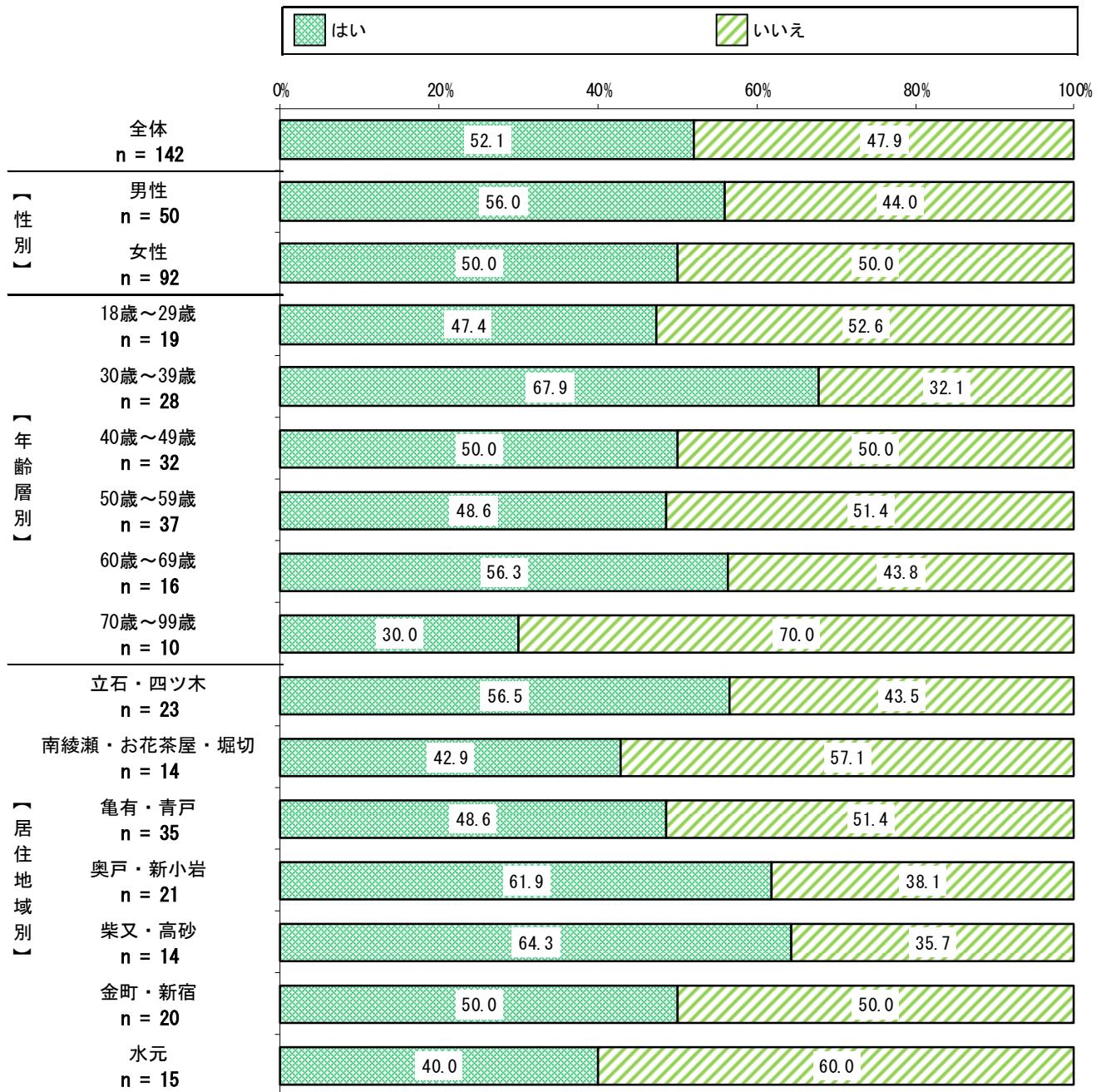
葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の登録状況【全体】



n = 142

葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の登録状況は、「はい」が 52.1%、「いいえ」が 47.9%となっている。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」の登録状況
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」の登録状況は、「はい」が52.1%、「いいえ」が47.9%となっている。

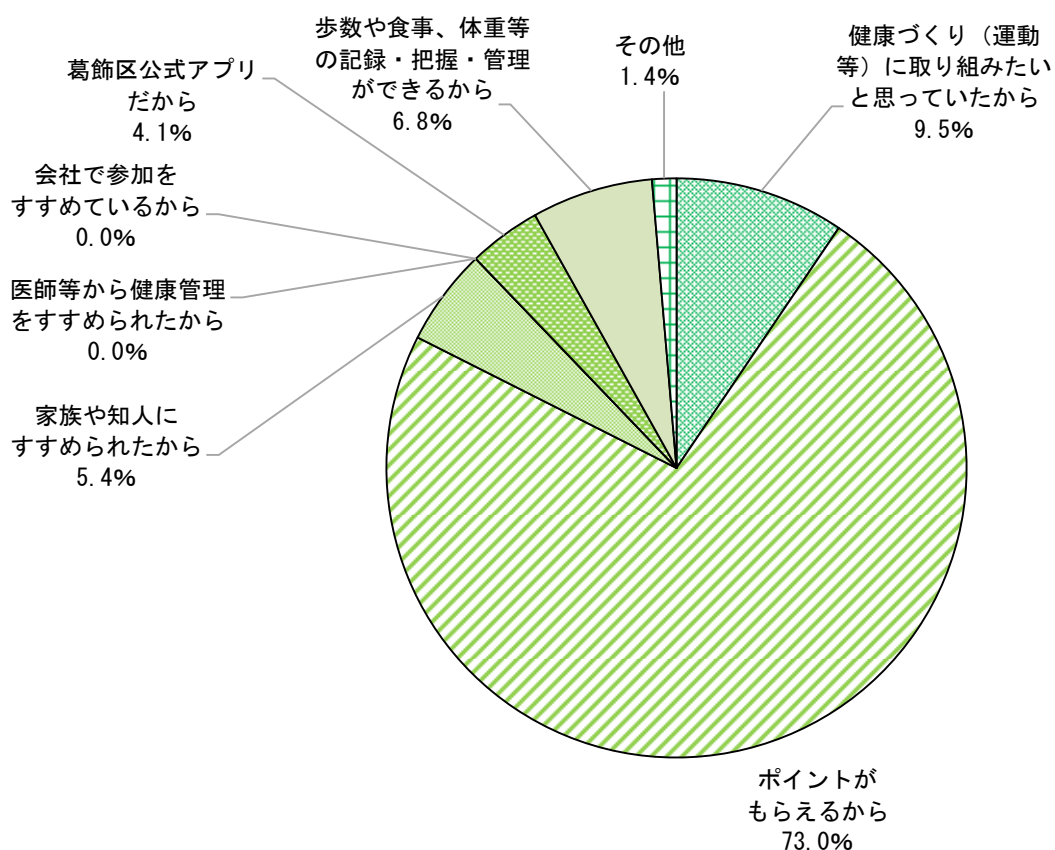
性別でみると、「はい」は【男性】が56.0%と、【女性】（50.0%）よりも6.0ポイント高くなっている。

(5) 葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の登録理由

問5 問4で「はい」と答えた方に伺います。

その理由を教えてください。複数ある場合には、最も当てはまる理由を選択してください。(1つ選択)

葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の登録理由【全体】

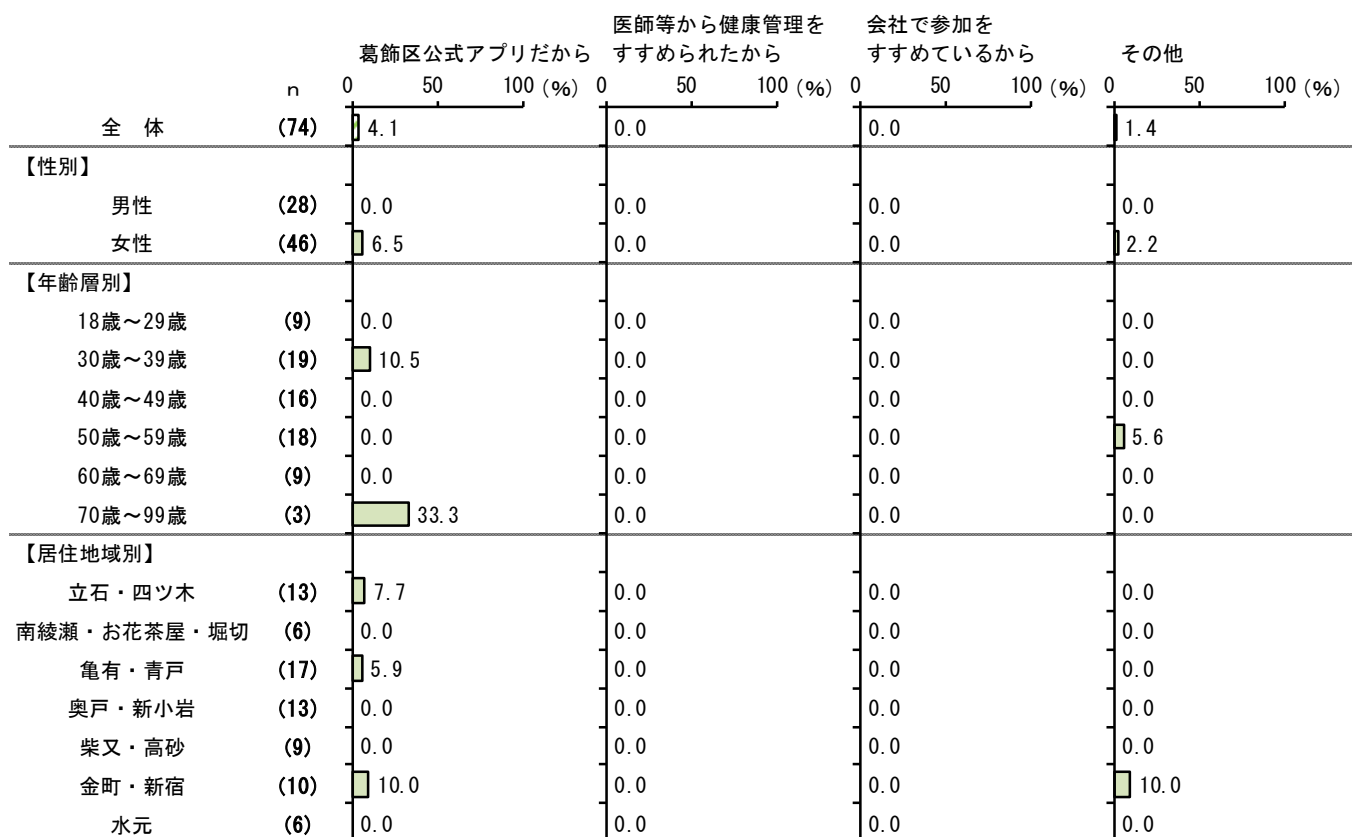
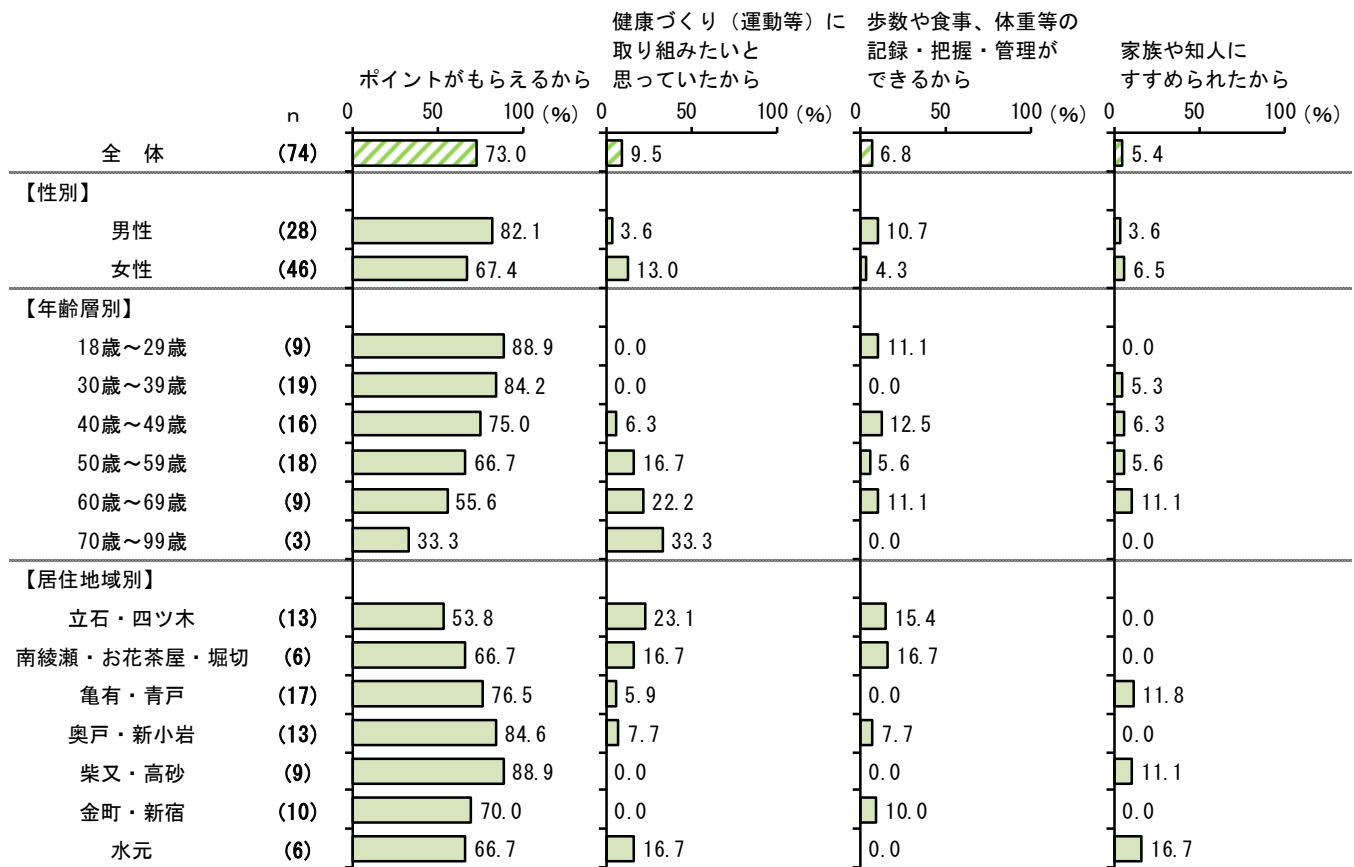


n = 74

葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の登録理由は、「ポイントがもらえるから」が73.0%で最も高くなっている。

「その他」の内容としては、「PayPay に交換してほしい」「Apple ヘルスケアのデータを自動で参照してほしい(現状歩数のみのようです)」「他の同様なアプリと比べてメリットが少ない」があった。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」の登録理由
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】

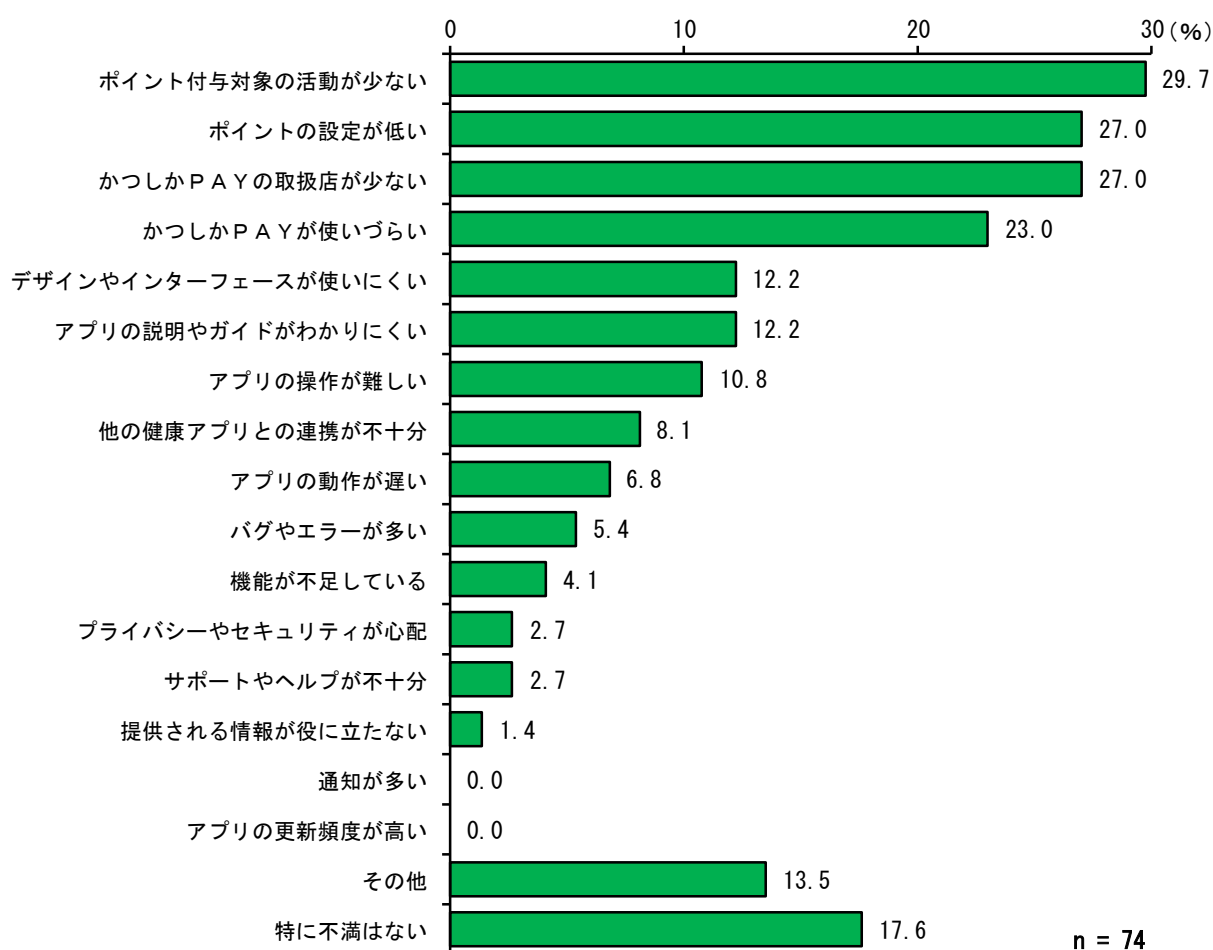


(6) 葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の不満な点

問6 問4で「はい」と答えた方に伺います。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」に対する不満なことを教えてください。(複数選択可)

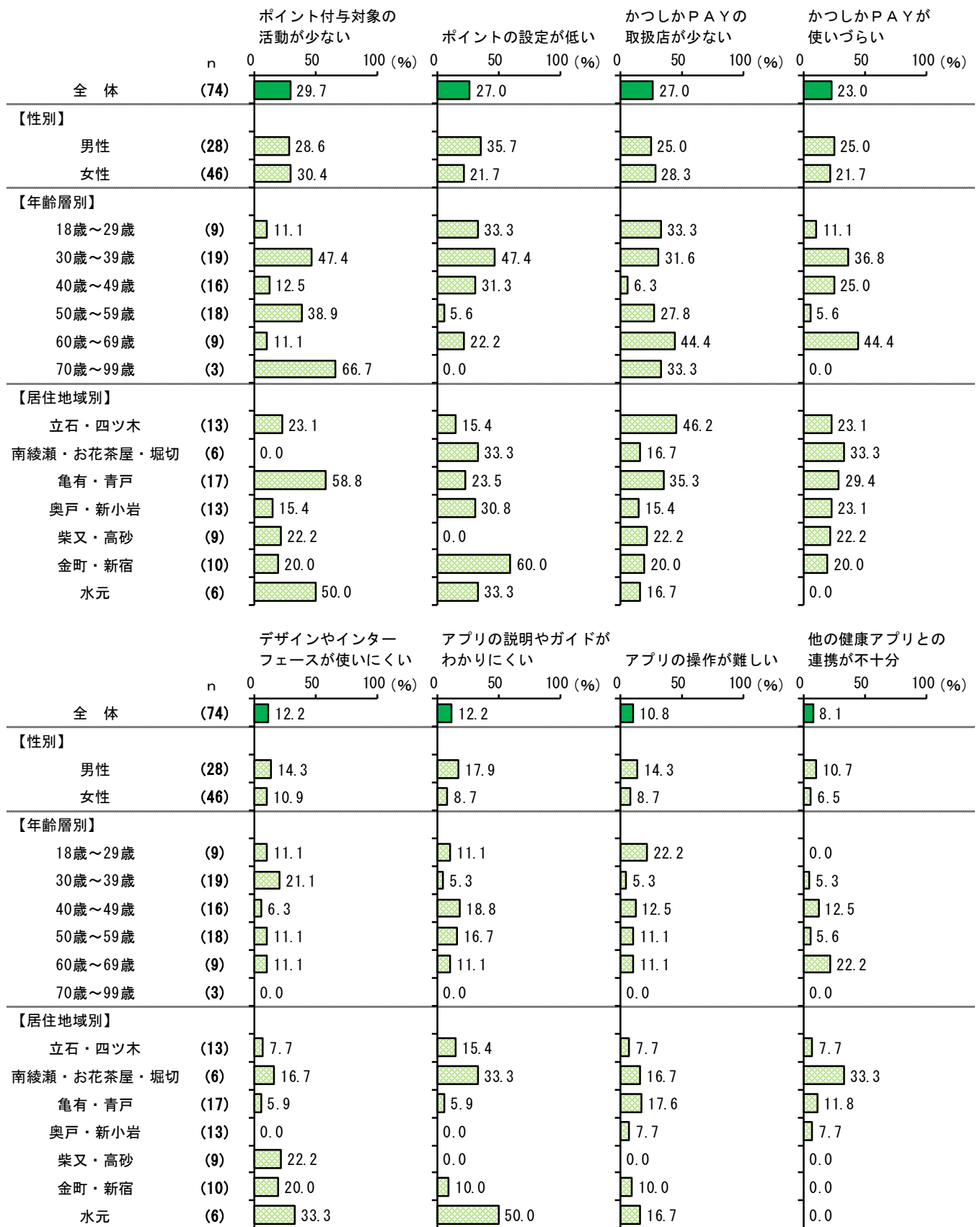
葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の不満な点【全体】

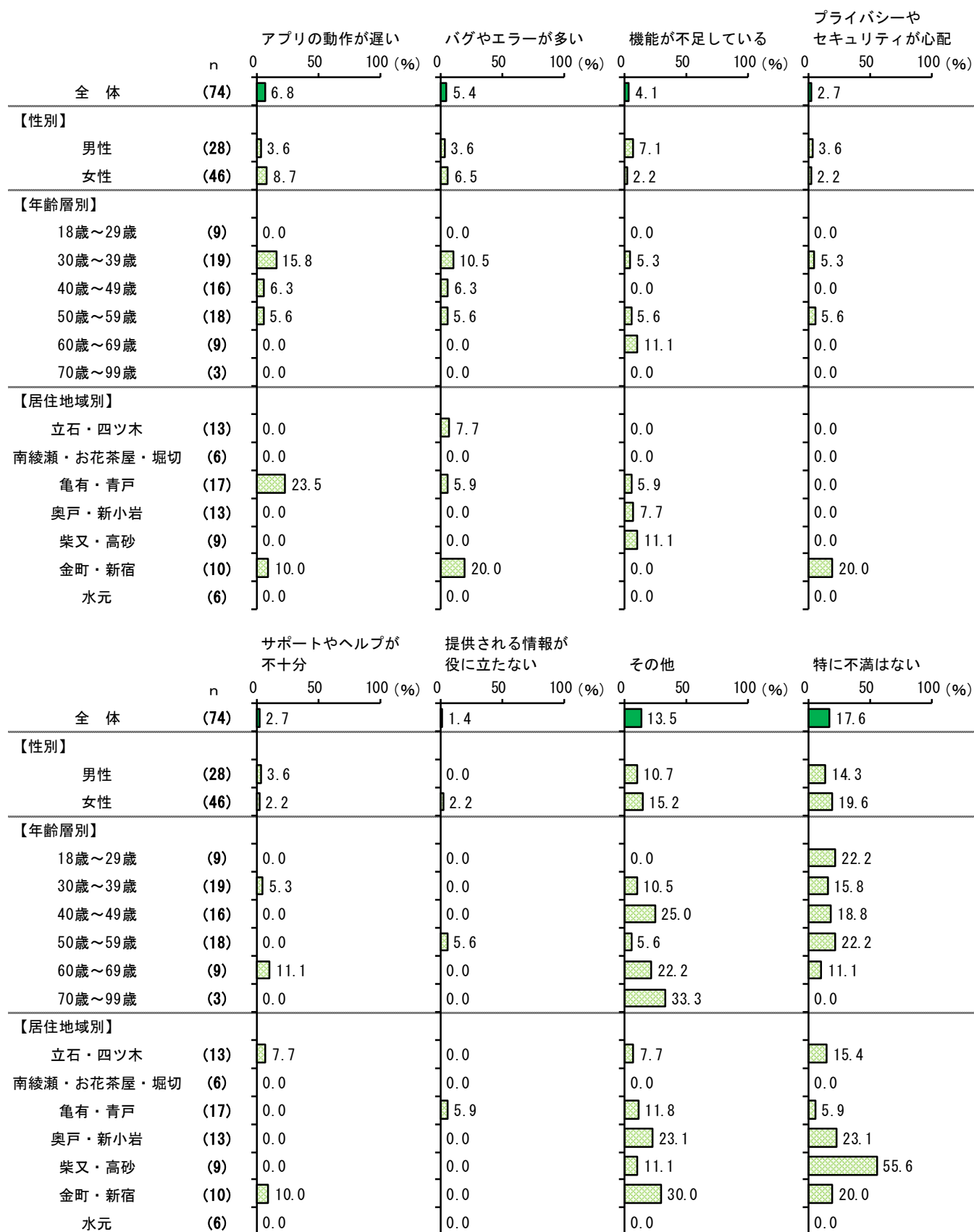


葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の不満な点は、「ポイント付与対象の活動が少ない」が 29.7%で最も高く、次いで「ポイントの設定が低い」及び「かつしかP A Y の取扱店が少ない」がともに 27.0%、「かつしかP A Y が使いづらい」が 23.0%となっている。

「その他」の内容としては、「歩数の更新が自動でないのが不満」「登録できる食事メニューが限定的」「ポイントの有効期限が短い」「お知らせが分かりにくい」「特に使いたいと思うほどの魅力がない」などがあった。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」の不満な点
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





※「通知が多い」「アプリの更新頻度が高い」は回答者がいないため、割愛している

性別でみると、「ポイントの設定が低い」は【男性】が 35.7%と、【女性】(21.7%) よりも 14.0 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「かつしかP A Yの取扱店が少ない」は【40 歳～49 歳】が 6.3%と、他の区分に比べ低くなっている。

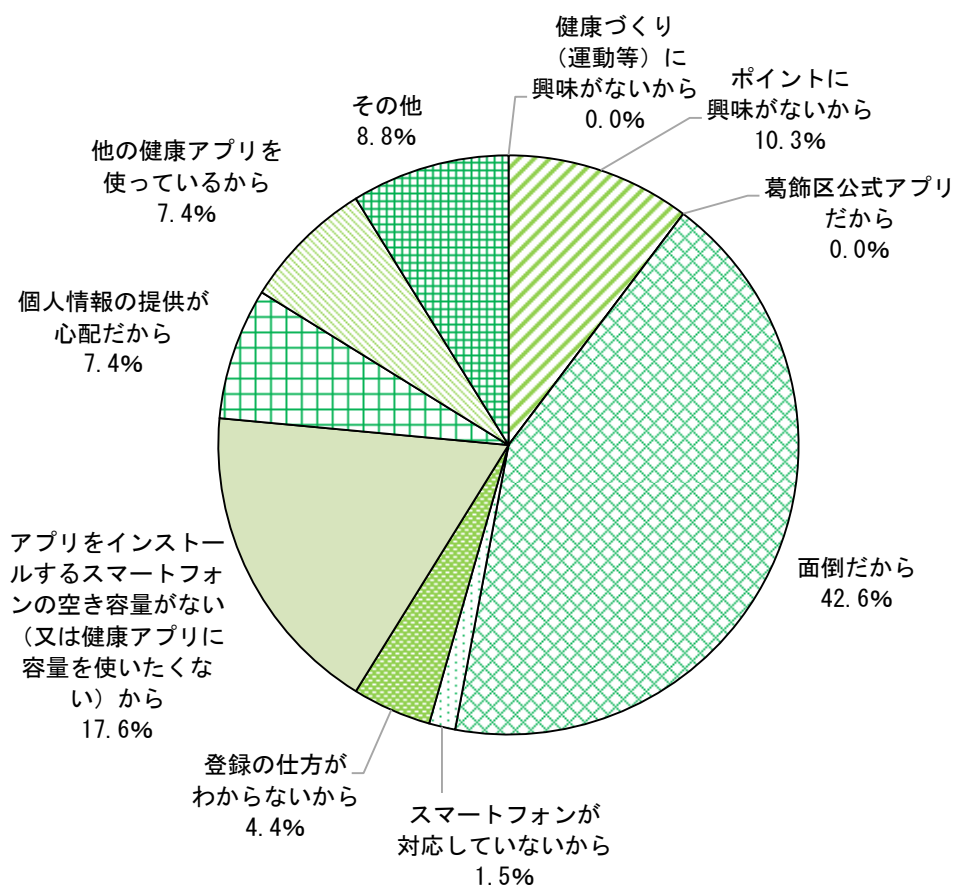
居住地域別にみると、「ポイントの設定が低い」は【金町・新宿】が 60.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

(7) 葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の非登録理由

問7 問4で「いいえ」と答えた方に伺います。

その理由を教えてください。複数ある場合には、最も当てはまる理由を選択してください。(1つ選択)

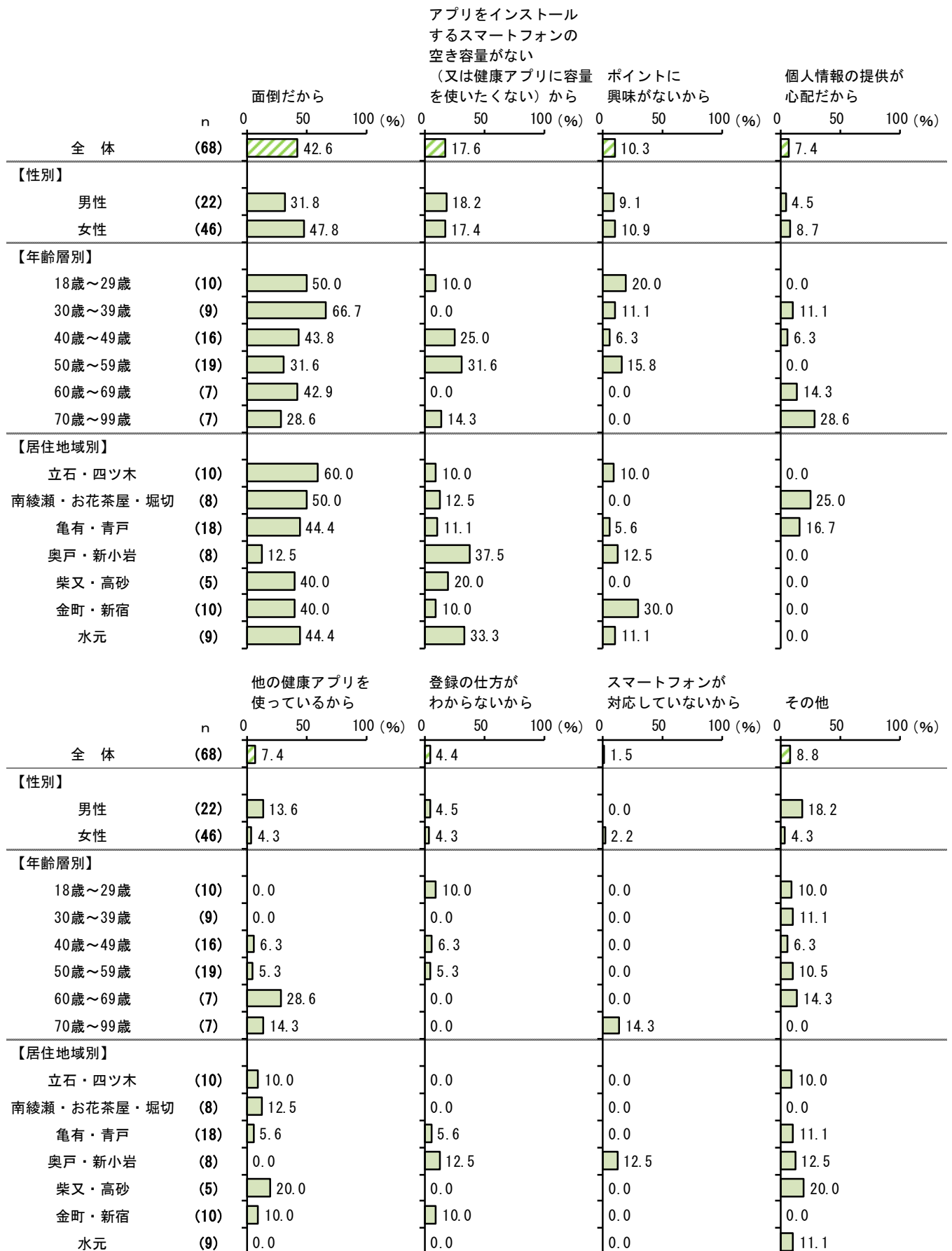
葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の非登録理由【全体】



葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の非登録理由は、「面倒だから」が 42.6% で最も高く、次いで「アプリをインストールするスマートフォンの空き容量がない (又は健康アプリに容量を使いたくない) から」が 17.6%、「ポイントに興味がないから」が 10.3%となっている。

「その他」の内容としては、「登録がうまくいかず途中で断念」「インストールは面倒では無いが、食事をする度に入力したり、要はアプリに向き合う事が面倒。ノルマに感じてしまう。」「定期的に運動をしているがスマホを持ってやらない分野なので意味がない」などがあった。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」の非登録理由
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



※「健康づくり（運動等）」に興味がないから「葛飾区公式アプリだから」は回答者がいないため、割愛している

性別でみると、「面倒だから」は【女性】が 47.8%と、【男性】(31.8%) よりも 16.0 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「アプリをインストールするスマートフォンの空き容量がない（又は健康アプリに容量を使いたくない）から」は【50 歳～59 歳】が 31.6%、【40 歳～49 歳】が 25.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

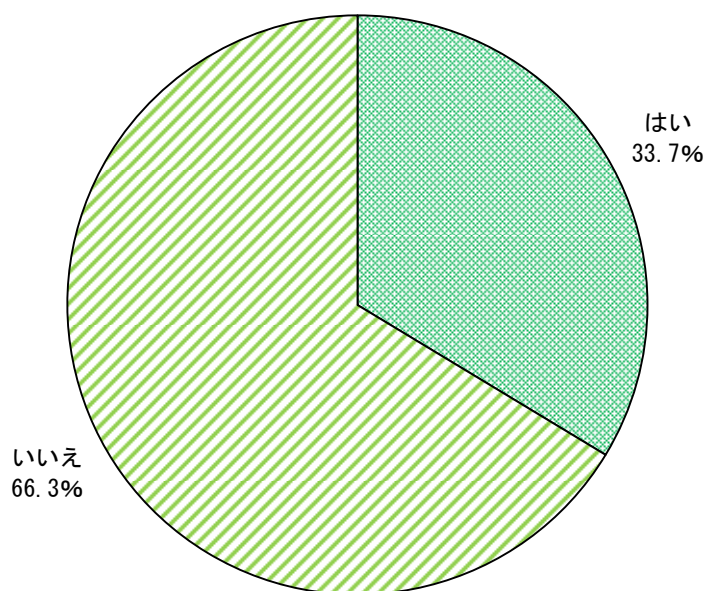
居住地域別にみると、「ポイントに興味がないから」は【金町・新宿】が 30.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

(8) 葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の登録意向

問8 問2で「いいえ」と答えた方に伺います。

これから葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」をインストールして登録したいと思いますか。(1つ選択)

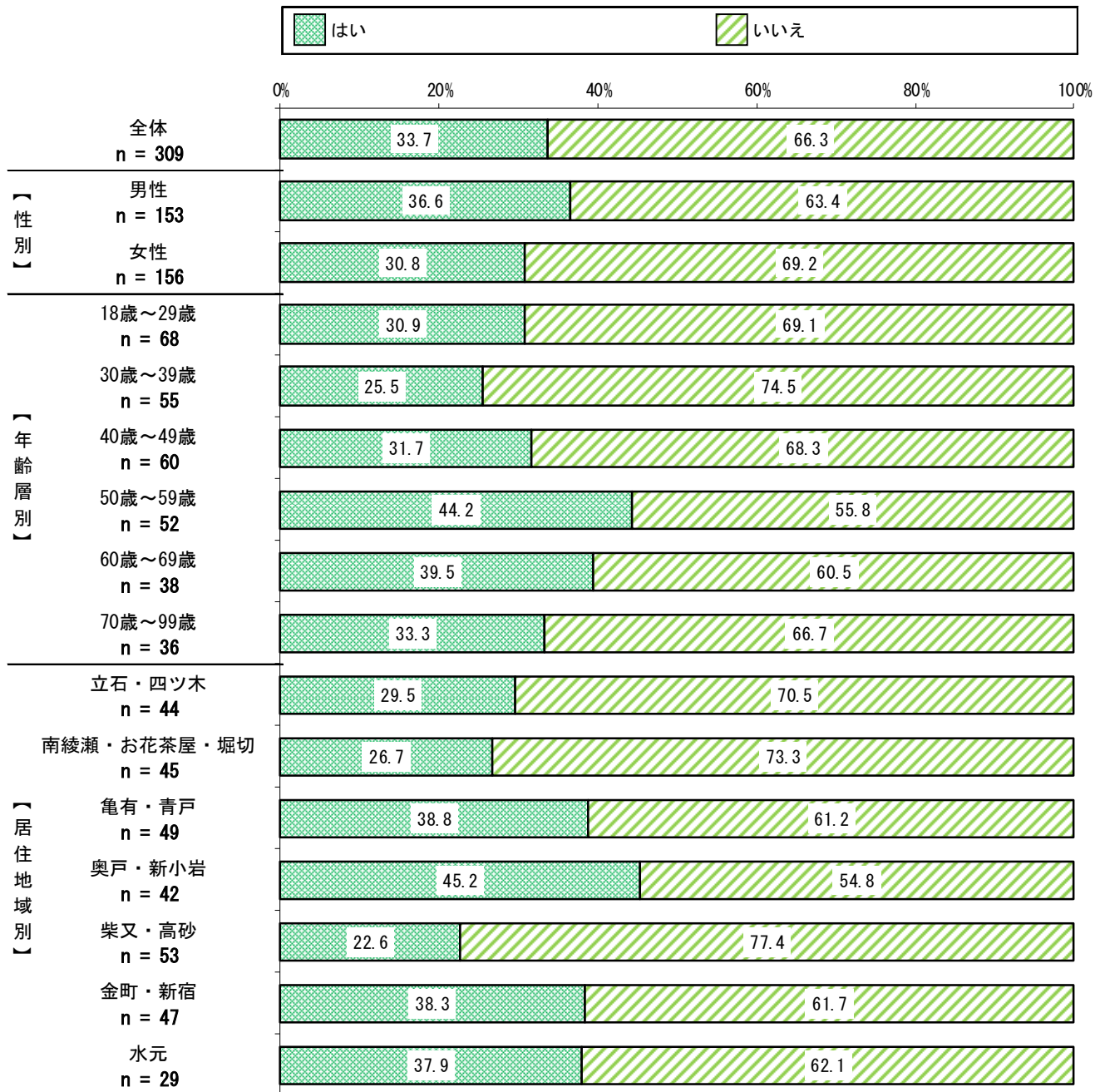
葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の登録意向【全体】



n = 309

葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」の登録意向は、「はい」が 33.7%、「いいえ」が 66.3%となっている。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」の登録意向
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「はい」は【男性】が36.6%と、【女性】(30.8%) よりも5.8ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「はい」は【50歳～59歳】が44.2%と、他の区分に比べ高くなっている。

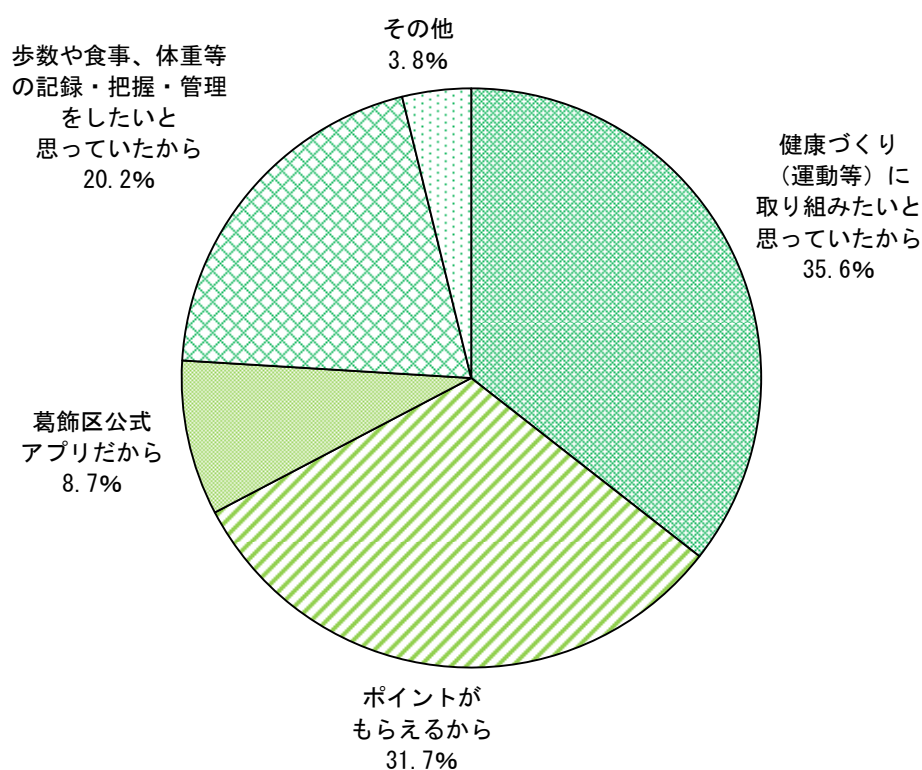
居住地域別でみると、「はい」は【奥戸・新小岩】が45.2%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「いいえ」は【柴又・高砂】が77.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

(9) 葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」に登録を希望する理由

問9 問8で「はい」と答えた方に伺います。

その理由を教えてください。複数ある場合には、最も当てはまる理由を選択してください。(1つ選択)

葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」に登録を希望する理由【全体】



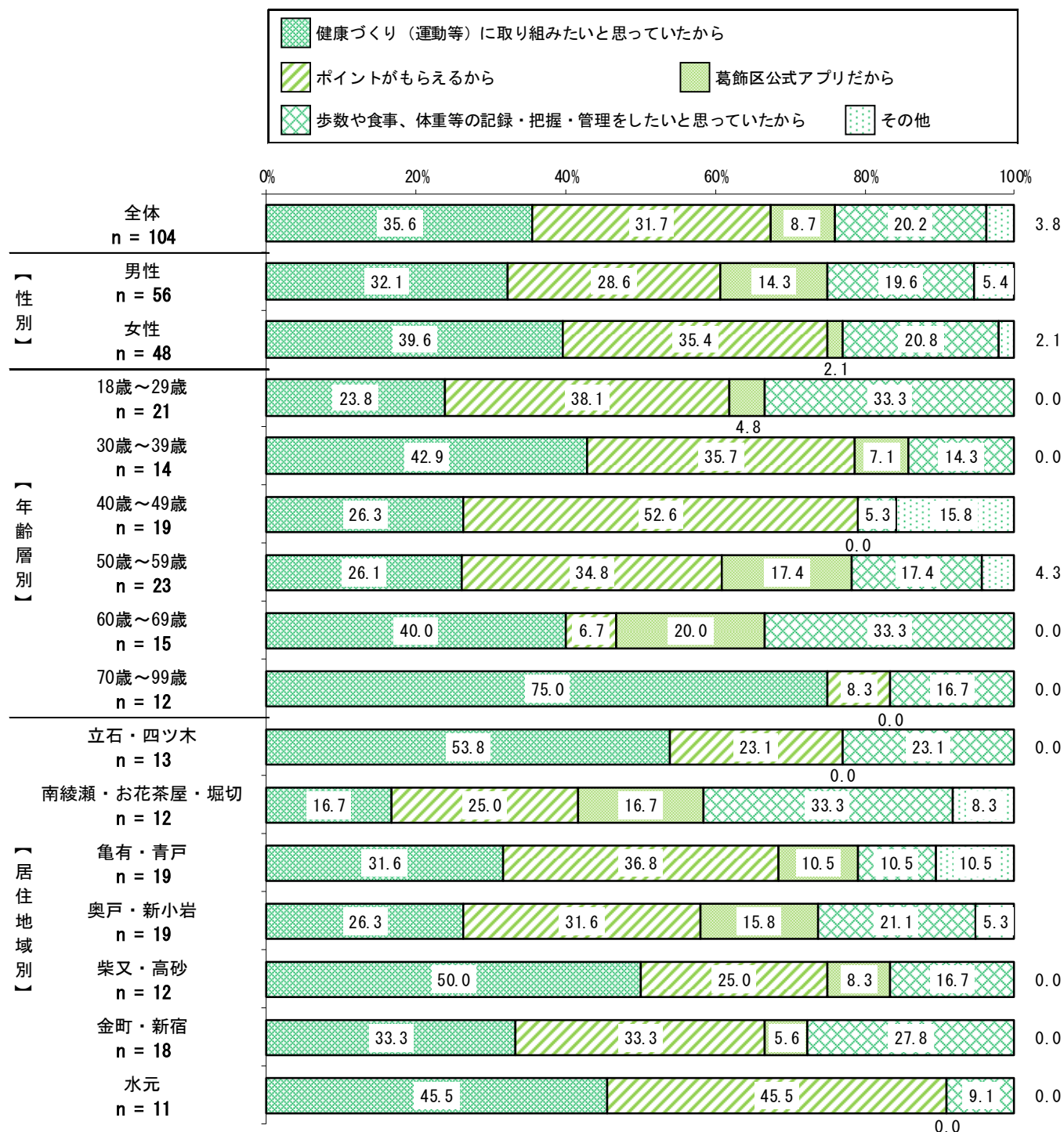
n = 104

葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」に登録を希望する理由は、「健康づくり（運動等）に取り組みたいと思っていたから」が 35.6%、「ポイントがもらえるから」が 31.7%、「歩数や食事、体重等の記録・把握・管理をしたいと思っていたから」が 20.2%となっている。

「その他」の内容としては、「どのようなものかまずは体験してみようと思ったから。」「気になった」「健康を意識はしているから」「どんなアプリか興味があるのでやってみたい」があった。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」に登録を希望する理由

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「葛飾区公式アプリだから」は【男性】が 14.3%と、【女性】（2.1%）よりも 12.2 ポイント高くなっている。

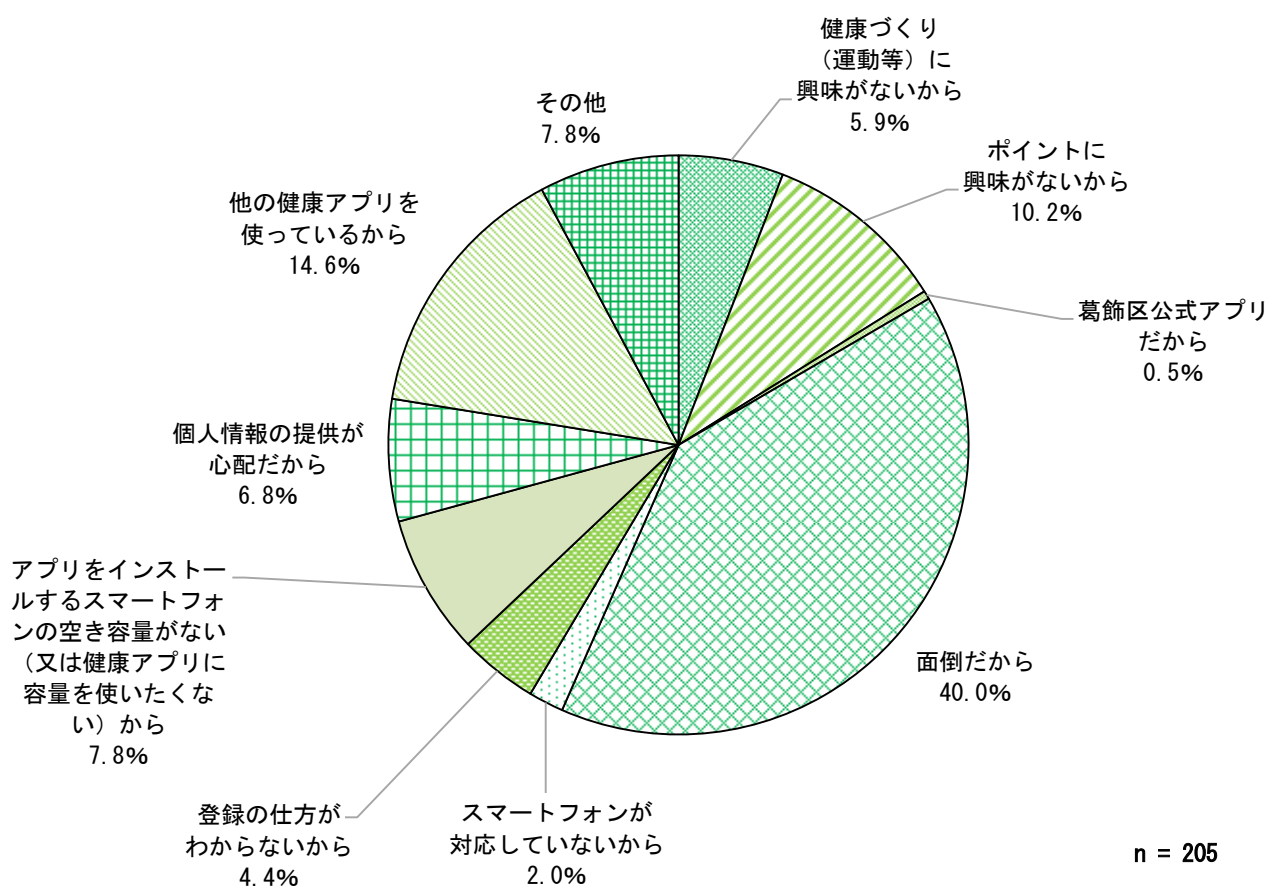
(10) 葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」に登録を希望しない理由

問10 問8で「いいえ」と答えた方に伺います。

その理由を教えてください。複数ある場合には、最も当てはまる理由を選択してください。

(1つ選択)

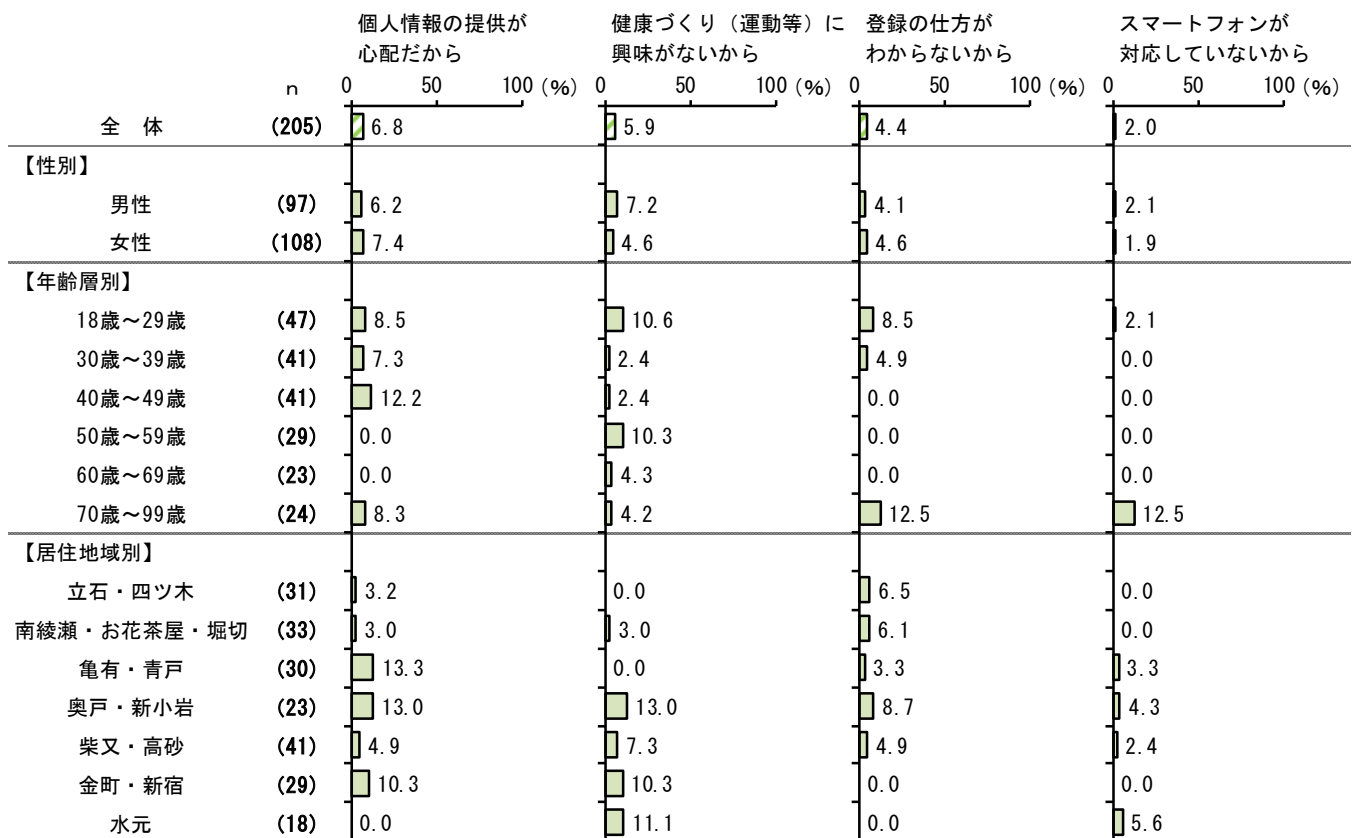
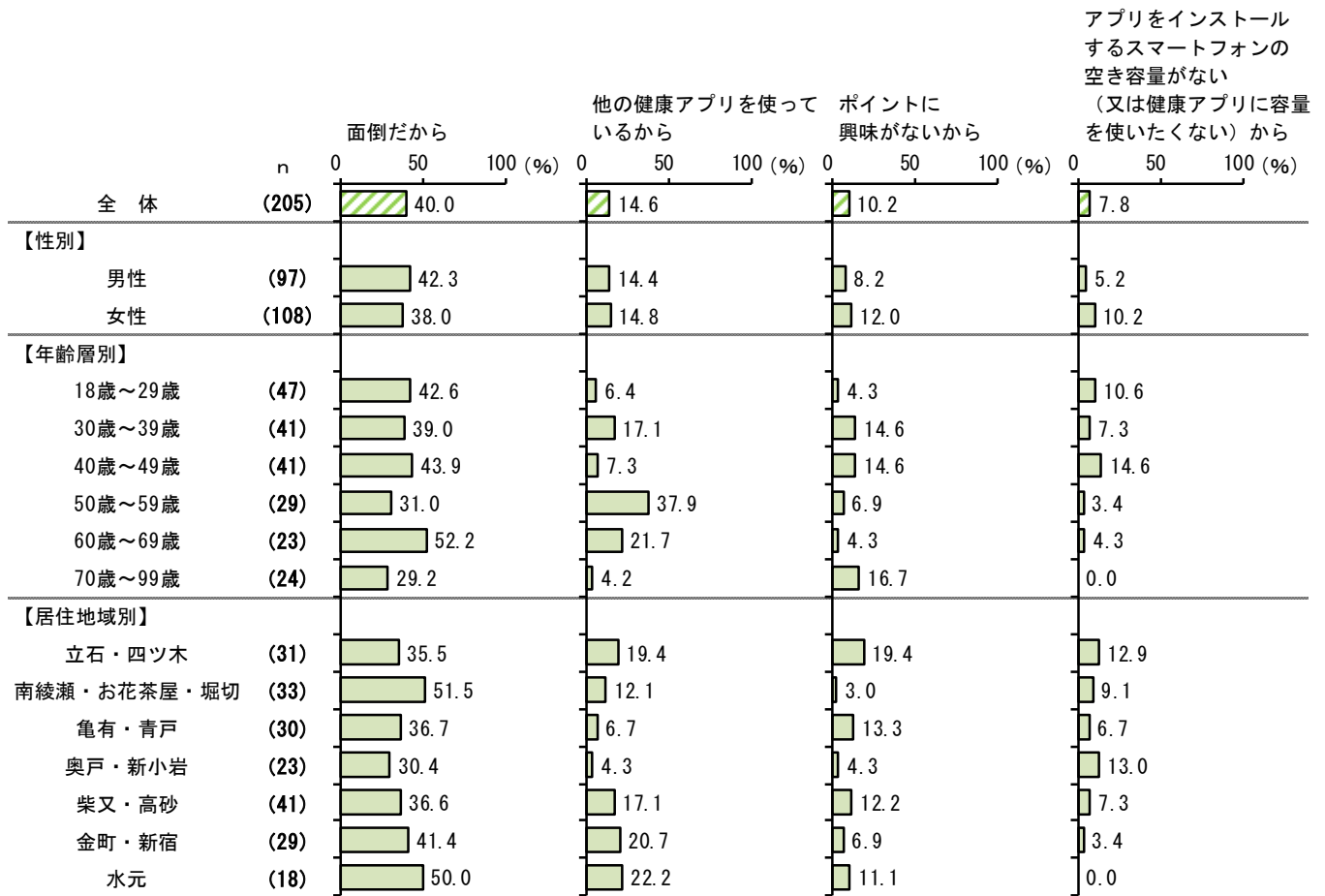
葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」に登録を希望しない理由【全体】

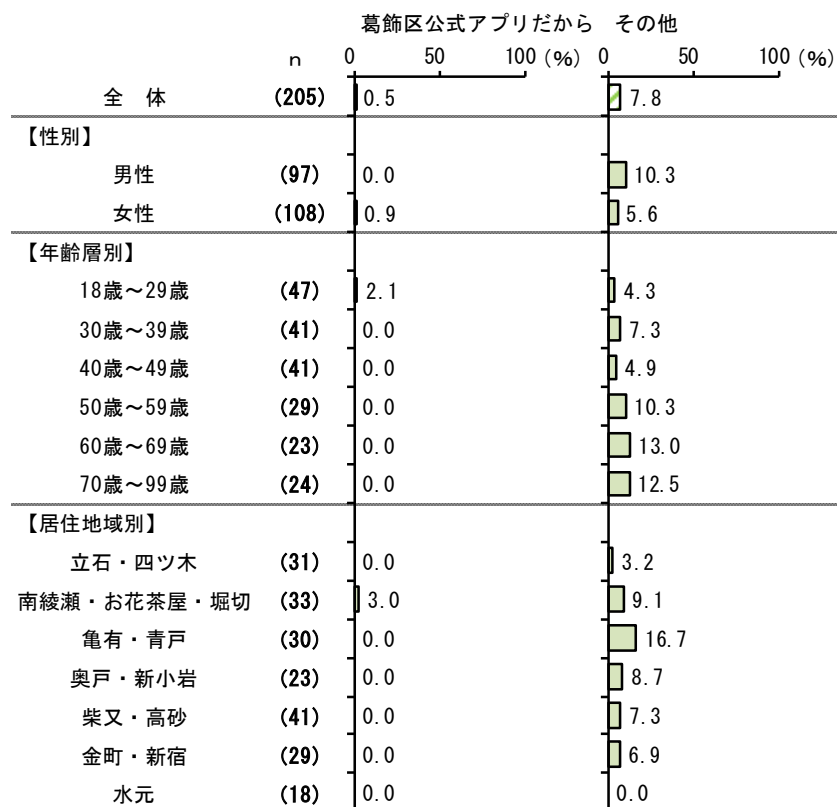


葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」に登録を希望しない理由は、「面倒だから」が 40.0%で最も高く、次いで「他の健康アプリを使っているから」が 14.6%、「ポイントに興味がないから」が 10.2%となっている。

「その他」の内容としては、「月に使用する通信量が限られているため毎日使えない。」「毎日の記入を忘れそうだから。」「モンチャレがなにか知らないから」「キャラクターがモンチャレが嫌」「これ以上おなじような用途のアプリを増やしたくない」などがあつた。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」に登録を希望しない理由
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





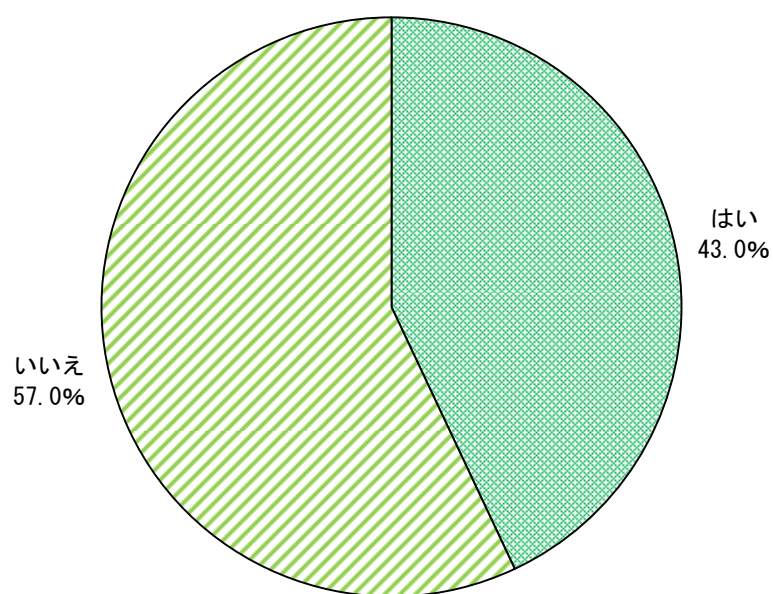
性別でみると、「アプリをインストールするスマートフォンの空き容量がない（又は健康アプリに容量を使いたくない）から」は【女性】が 10.2%と、【男性】（5.2%）よりも 5.0 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「ポイントに興味がないから」は【30 歳～39 歳】及び【40 歳～49 歳】がともに 14.6%と、【18 歳～19 歳】（4.3%）に比べ、10.3 ポイント高くなっている。

(11) 葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」以外の健康アプリの使用動向

問 11 葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」以外に健康に関するスマートフォンアプリを使用していますか。(1つ選択)

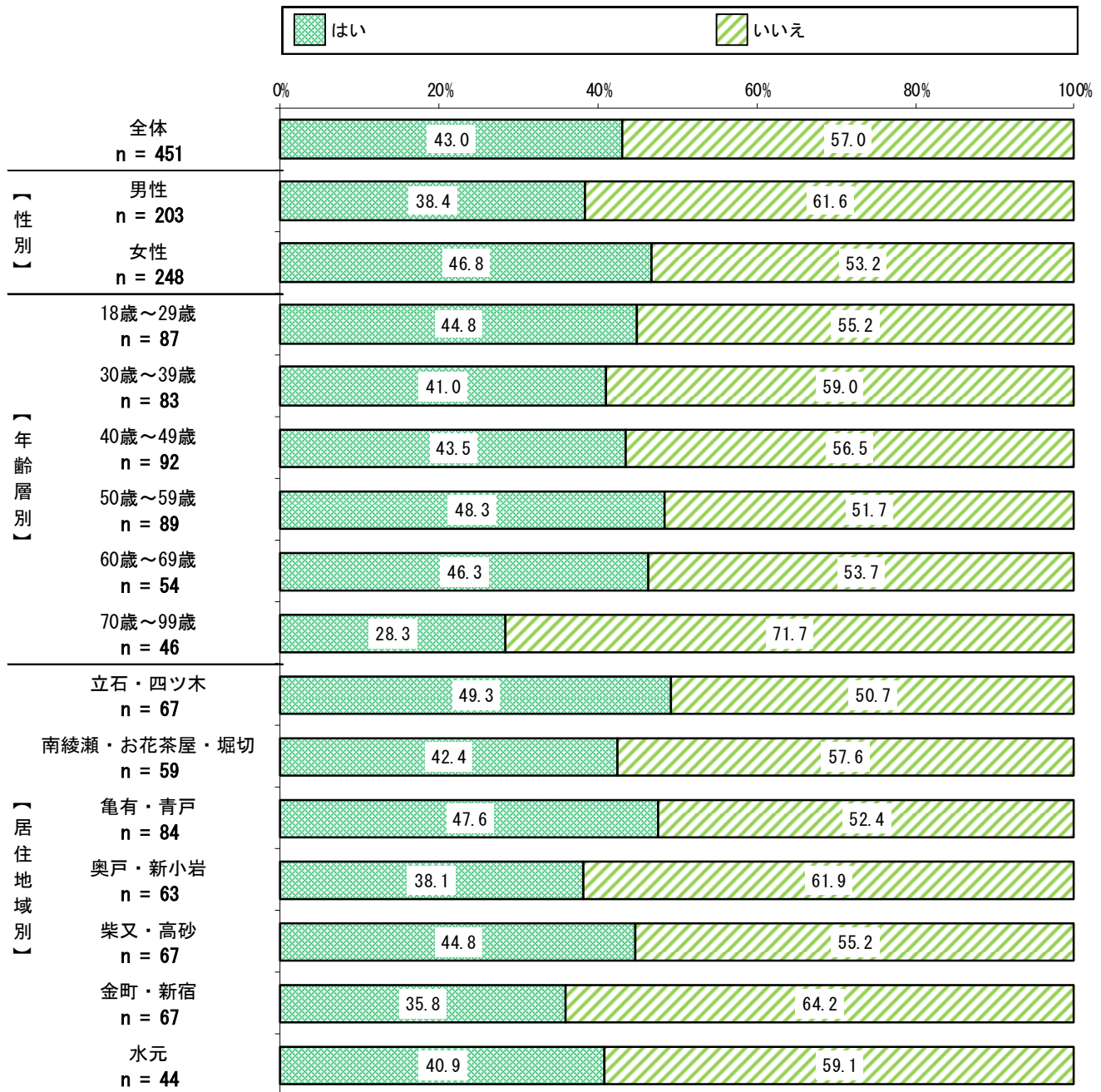
葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」以外の健康アプリの使用動向【全体】



n = 451

葛飾区健康アプリ「モンチャレ (W o L N)」以外の健康アプリの使用動向は、「はい」が 43.0%、「いいえ」が 57.0%となっている。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」以外の健康アプリの使用動向
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「はい」は【女性】が46.8%と、【男性】（38.4%）よりも8.4ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「いいえ」は【70歳～79歳】が71.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

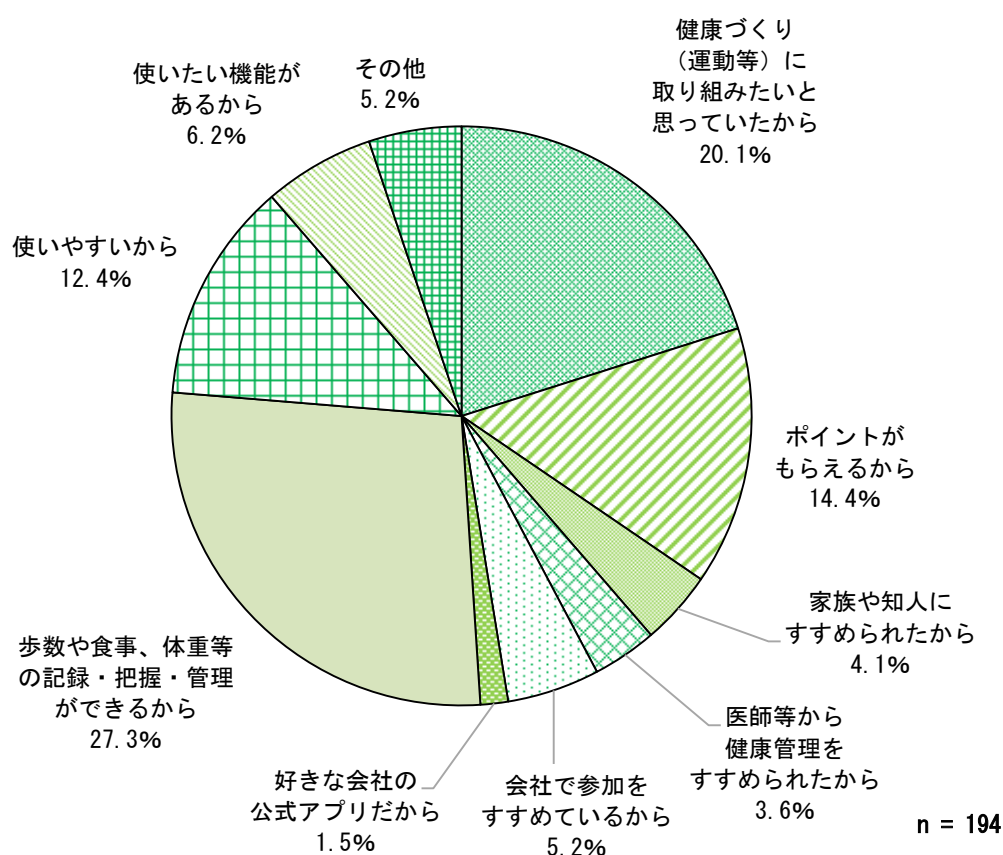
居住地域による大きな差はみられない。

(12) 葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」以外の健康アプリを使用する理由

問 12 問 11 で「はい」と答えた方に伺います。

その理由を教えてください。複数ある場合には、最も当てはまる理由を選択してください。（1つ選択）

葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」以外の健康アプリを使用する理由【全体】

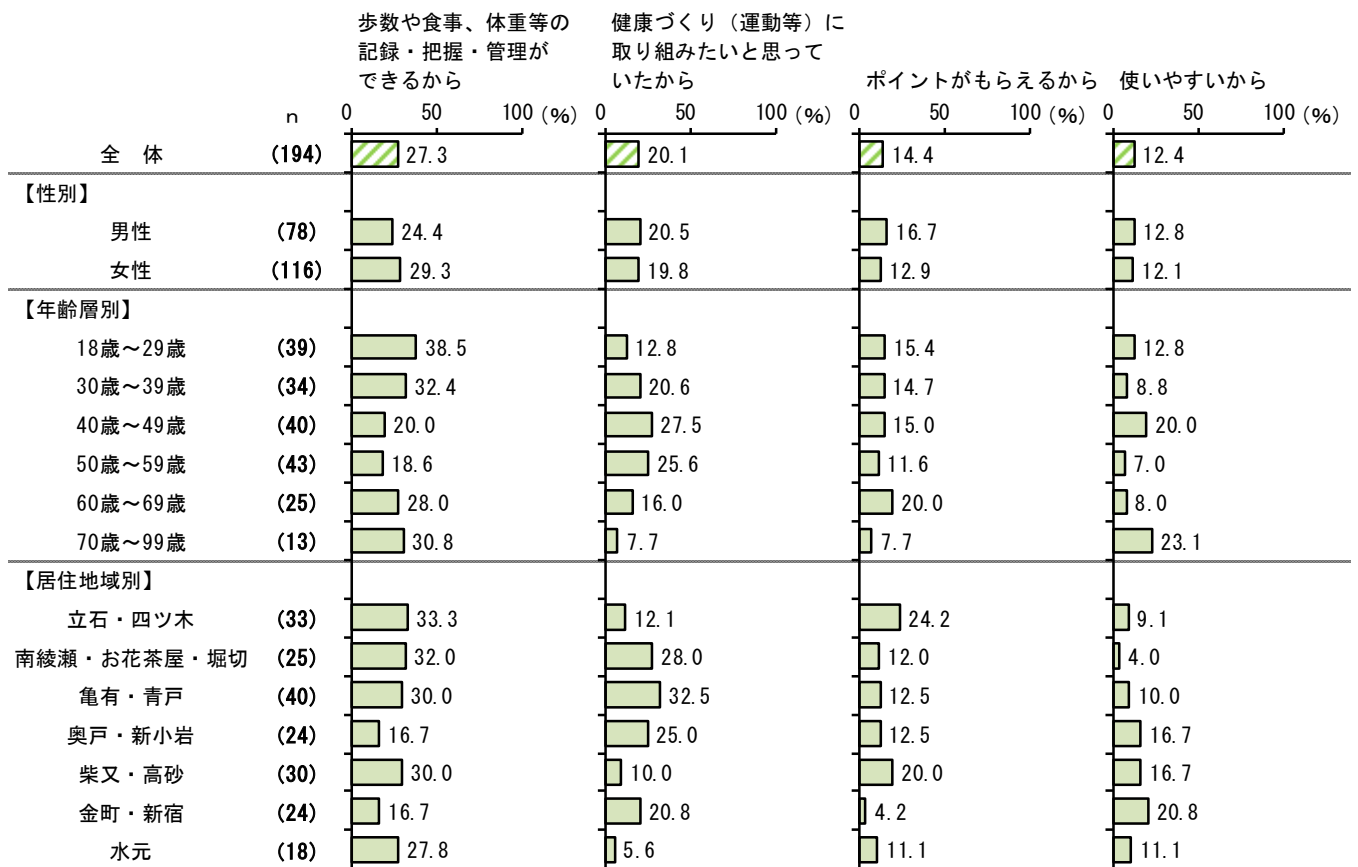


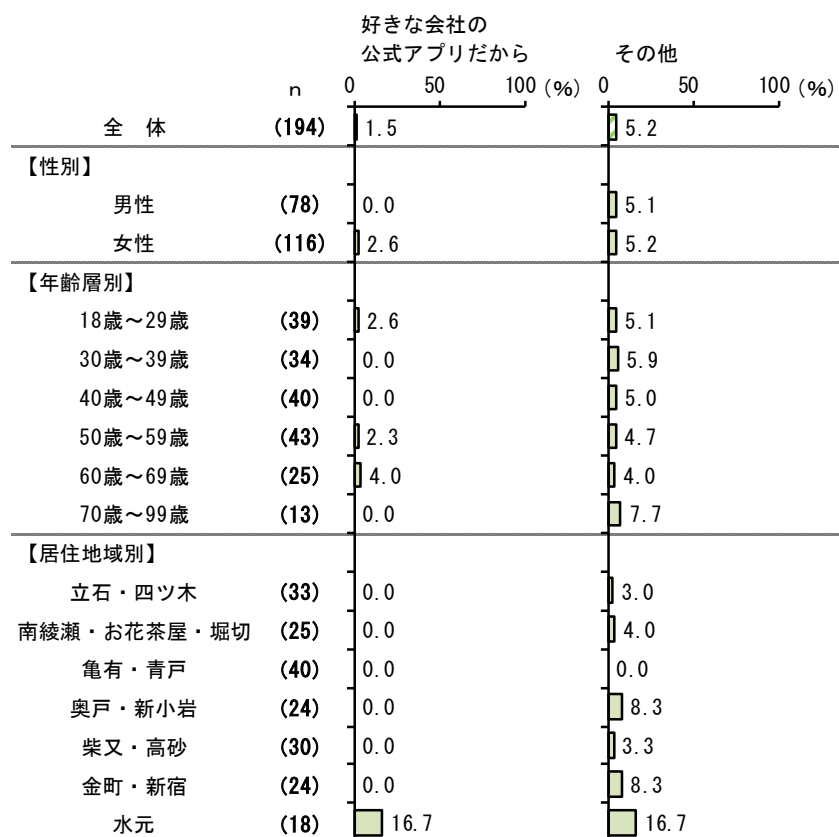
葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」以外の健康アプリを使用する理由は、「歩数や食事、体重等の記録・把握・管理ができるから」が 27.3%で最も高く、次いで「健康づくり（運動等）に取り組みたいと思っていたから」が 20.1%、「ポイントがもらえるから」が 14.4%、「使いやすいから」が 12.4%となっている。

「使いたい機能があるから」の具体的な内容としては、「心房細動の発見（アップルウォッチ）」「睡眠時間が見れるから」「健康診断の結果が履歴とともに参照できる」「毎年の保険料が安くなったり、旅行が安くなったりするメリットがあるから」「ジムにあるインボディで細かい情報が得られる」などがあつた。

「その他」の内容としては、「スマホに元々入っているから」「スマートウォッチと連動」「加入している生命保険会社のアプリ」などがあつた。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」以外の健康アプリを使用する理由
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「歩数や食事、体重等の記録・把握・管理ができるから」は【女性】が29.3%と、【男性】(24.4%)よりも4.9ポイント高くなっている。

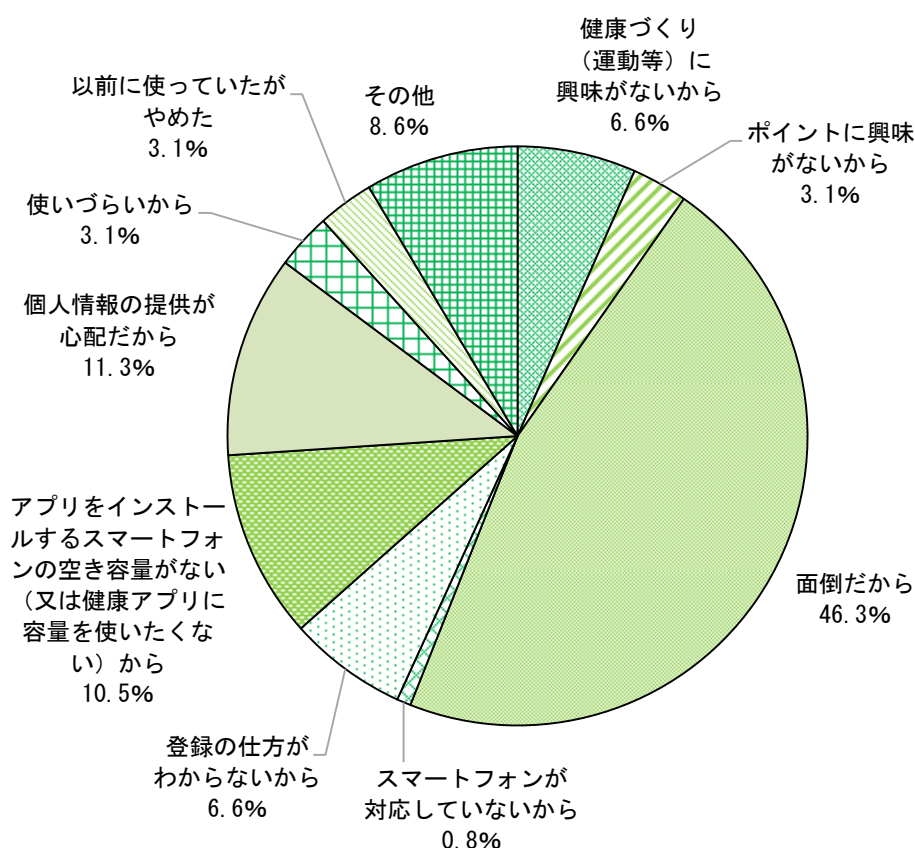
年齢層別にみると、「歩数や食事、体重等の記録・把握・管理ができるから」は【18歳～29歳】が38.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

(13) 葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」以外の健康アプリを使用しない理由

問 13 問 11 で「いいえ」と答えた方に伺います。

その理由を教えてください。複数ある場合には、最も当てはまる理由を選択してください。（1 つ選択）

葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」以外の健康アプリを使用しない理由【全体】



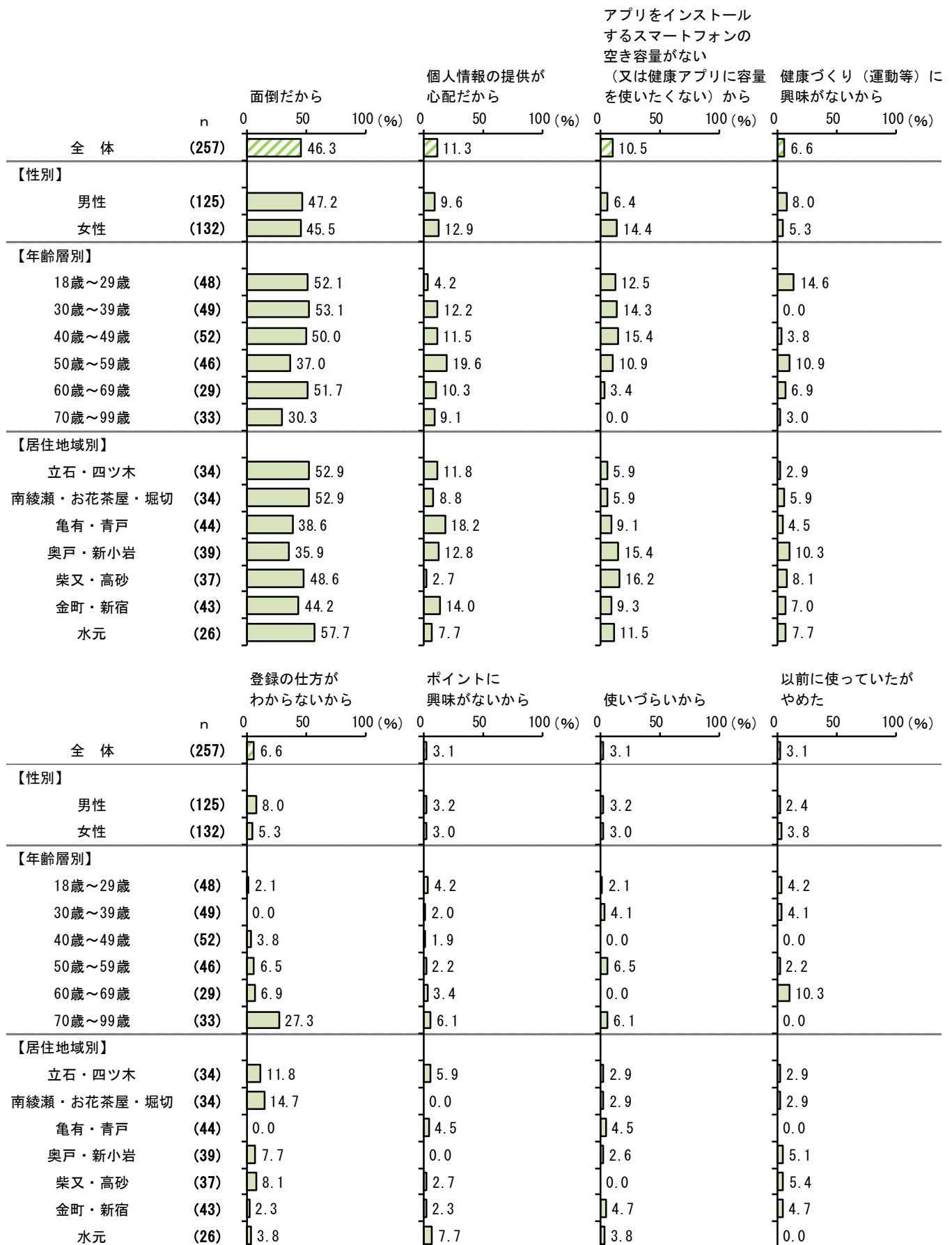
n = 257

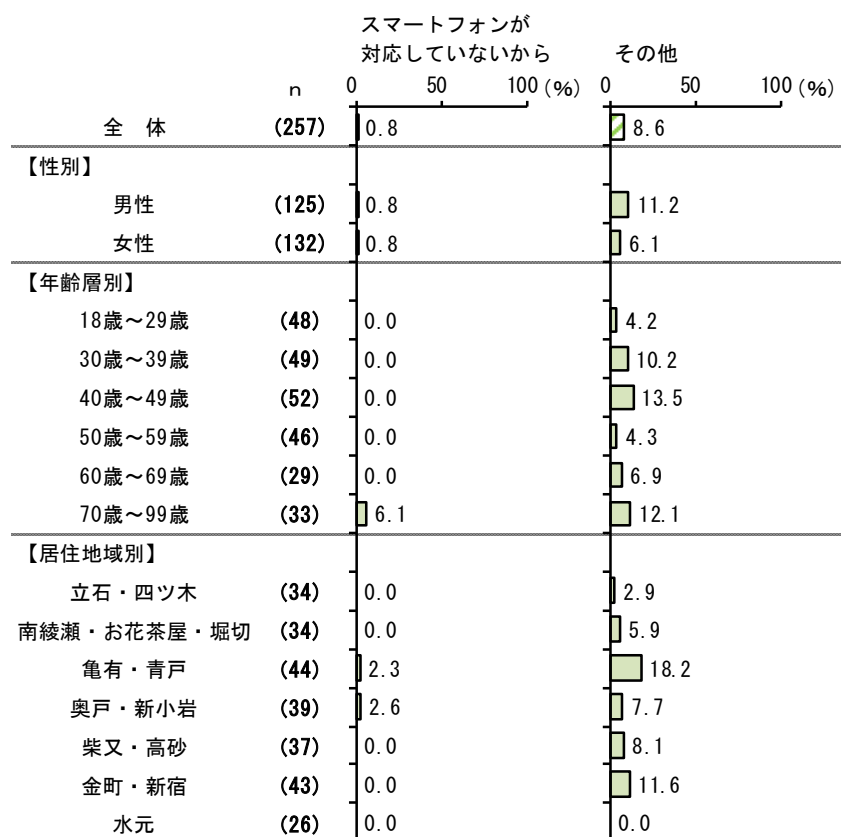
葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」以外の健康アプリを使用しない理由は、「面倒だから」が 46.3%で最も高くなっている。以下「個人情報の提供が心配だから」が 11.3%、「アプリをインストールするスマートフォンの空き容量がない（又は健康アプリに容量を使いたくない）から」が 10.5%となっている。

「以前に使っていたがやめた」の具体的な理由は、「操作が煩雑だったから。」「大してポイントがたまらないから」「鞆に入れたままなので正確に統計が取れない」などがあつた。

「その他」の内容としては、「どういったサービス・アプリなのかわからないから」「運動の時携帯は持たないから」「育児に追われてあまりログイン出来ないから」「健康とアプリがあまりわたしの中で繋がらないから。」「自力で健康を保てるので」などがあつた。

葛飾区健康アプリ「モンチャレ（W o L N）」以外の健康アプリを使用しない理由
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「アプリをインストールするスマートフォンの空き容量がない（又は健康アプリに容量を使いたくない）から」は【女性】が 14.4%と、【男性】（6.4%）よりも 8.0ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「登録の仕方がわからないから」は【70 歳～99 歳】が 27.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

第2章 調査結果（葛飾区における大規模マラソンイベントについて）

テーマ2 葛飾区における大規模マラソンイベントについて

葛飾区では、スポーツを通じて区民の健康増進、地域活性化、魅力向上を目指し、スポーツ振興に努めています。今年度第12回を迎える「かつしかふれあい RUN フェスタ」は参加ランナー並びに来場者の皆様からも好評を得ており、この功績を基に、区のさらなる発展と地域経済活性化も含め、本大会を将来的に大規模な「公道マラソンイベント」へと展開する可能性を秘めています。そこで、RUNフェスタの公道化について、将来の実現に向け区民の皆様の貴重なご意見を伺うため、本調査を実施いたします。

大会運営における課題と葛飾区での検討

公道マラソンは知名度の向上や地域経済への貢献等が期待される一方、交通規制による住民生活への影響が最大の課題です。他自治体の事例では住民の約半数が交通規制による不便を感じており、事前の詳細な情報提供と対策が不可欠です。また、ランナーと観客の安全確保、医療体制への負担軽減、ゴミ削減やリサイクルなどのSDGsへの配慮も重要な要素です。これらの動向と課題を踏まえ、将来的なコース設定に向け、以下の2通りのコース設定を検討しています。

案①：堀切水辺公園をスタート&フィニッシュとし、河川近隣の一部公道も活用するコース

メリット：交通規制や住民生活への影響を比較的少なくできる。既存の運営ノウハウを活かすことができる。

デメリット：区の魅力発信や経済効果が限定的になる可能性がある。コースの景観が単調になる可能性がある。

案②：別の場所スタート、堀切水辺公園フィニッシュとする一部公道をメインのコース

メリット：葛飾区内の名所や景観をPRできる。大会の魅力と経済効果が向上する。

デメリット：大規模な交通規制が不可避となる。コスト増大、住民の理解と協力が絶対条件となる。

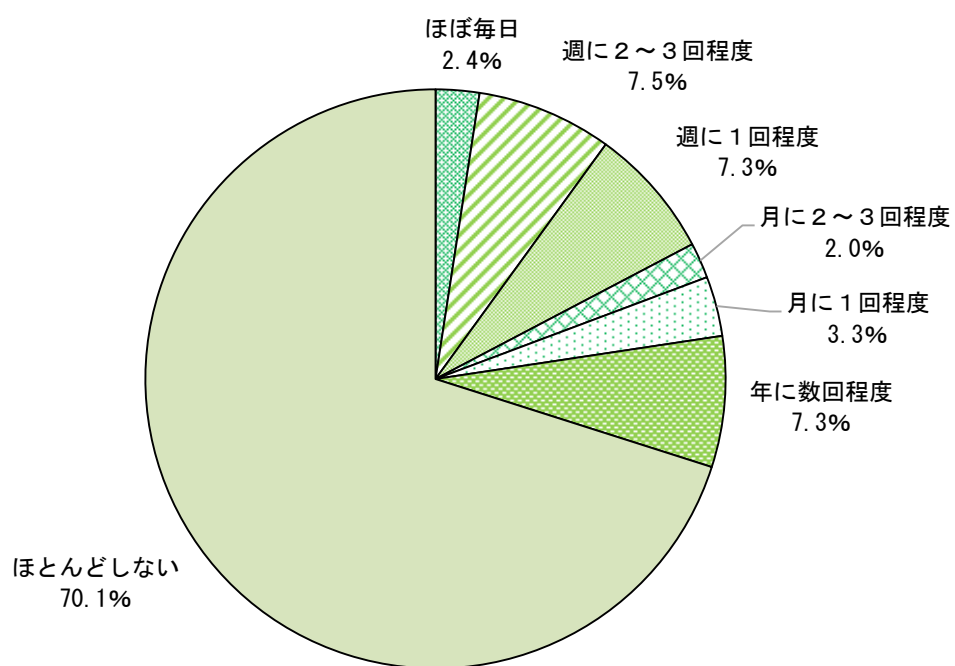
区民モニター調査へのご協力をお願い

この度の調査は、第12回かつしかふれあい RUN フェスタ 2026を含め、スポーツイベントの充実や今後の一部公道化検討に対する区民の皆様のご意見を各種事業運営に反映させることを目的として伺わせていただきます。

(14) ランニングやジョギングの頻度

問 14 あなたは、ランニングやジョギングをどのくらいの頻度で実施していますか。
(1つ選択)

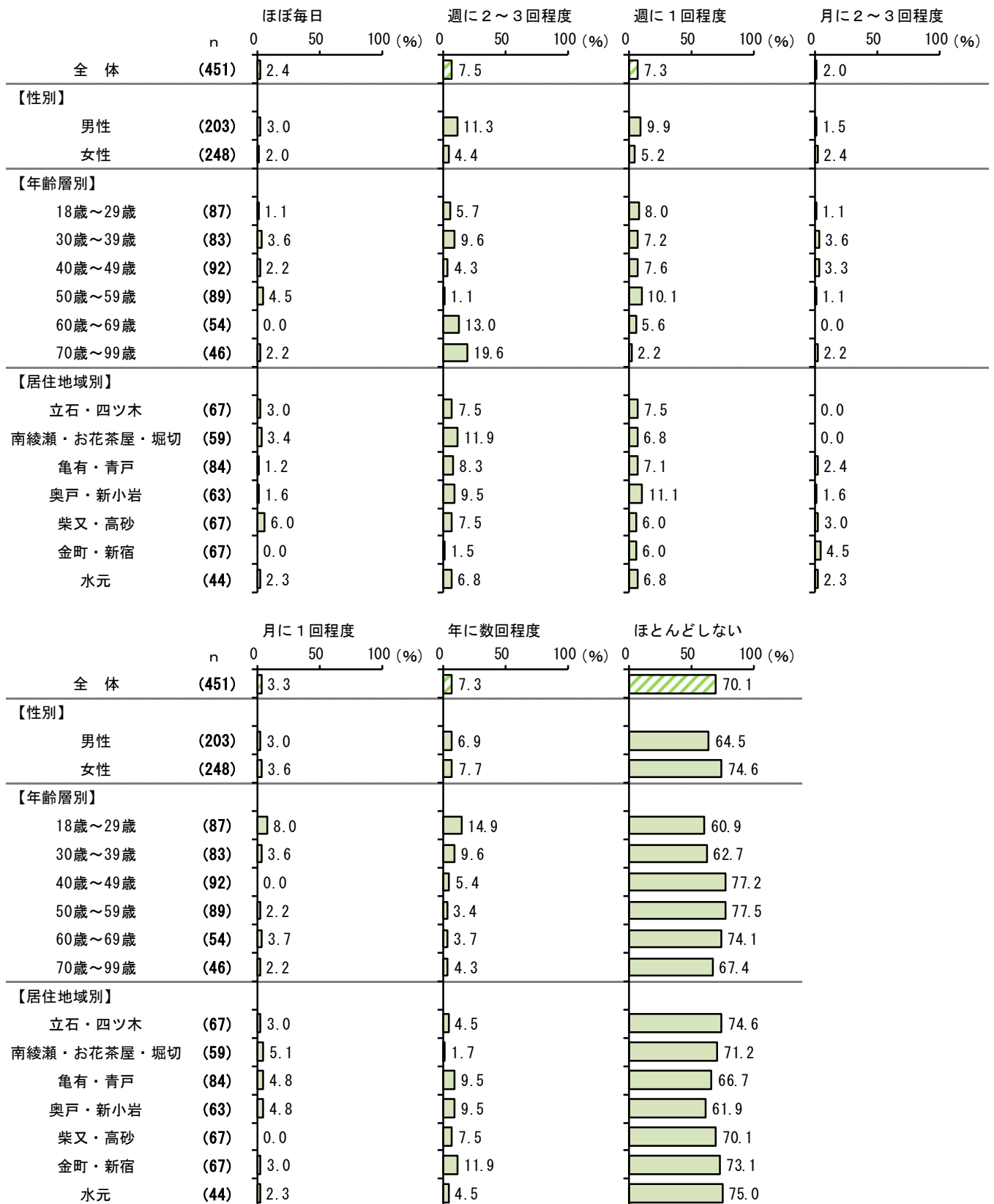
ランニングやジョギングの頻度【全体】



n = 451

ランニングやジョギングの頻度は、「ほとんどしない」が70.1%となっている。

ランニングやジョギングの頻度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



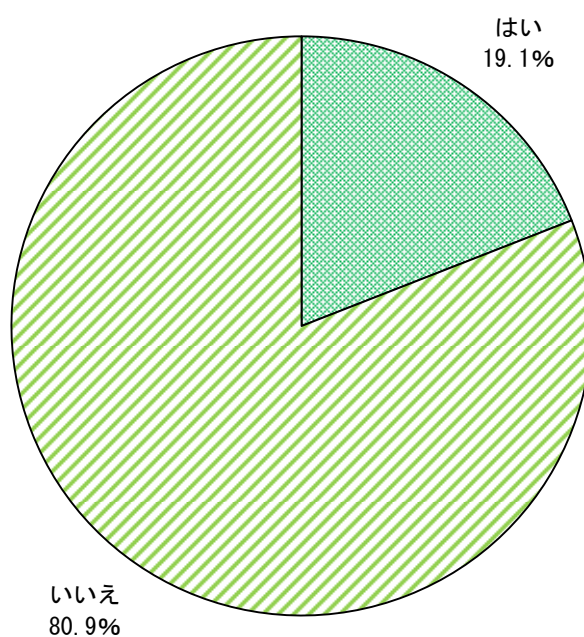
性別でみると、「ほとんどしない」は【女性】が74.6%と、【男性】(64.5%)よりも10.1ポイント高くなっている。一方、「週に2～3回程度」は【男性】が11.3%と、【女性】(4.4%)よりも6.9ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「週に2～3回程度」は【70歳～99歳】が19.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

(15) マラソン大会にランナーとして参加した経験

問 15 マラソン大会（市民マラソン含む）にランナーとして参加した経験がありますか。
（1つ選択）

マラソン大会にランナーとして参加した経験【全体】

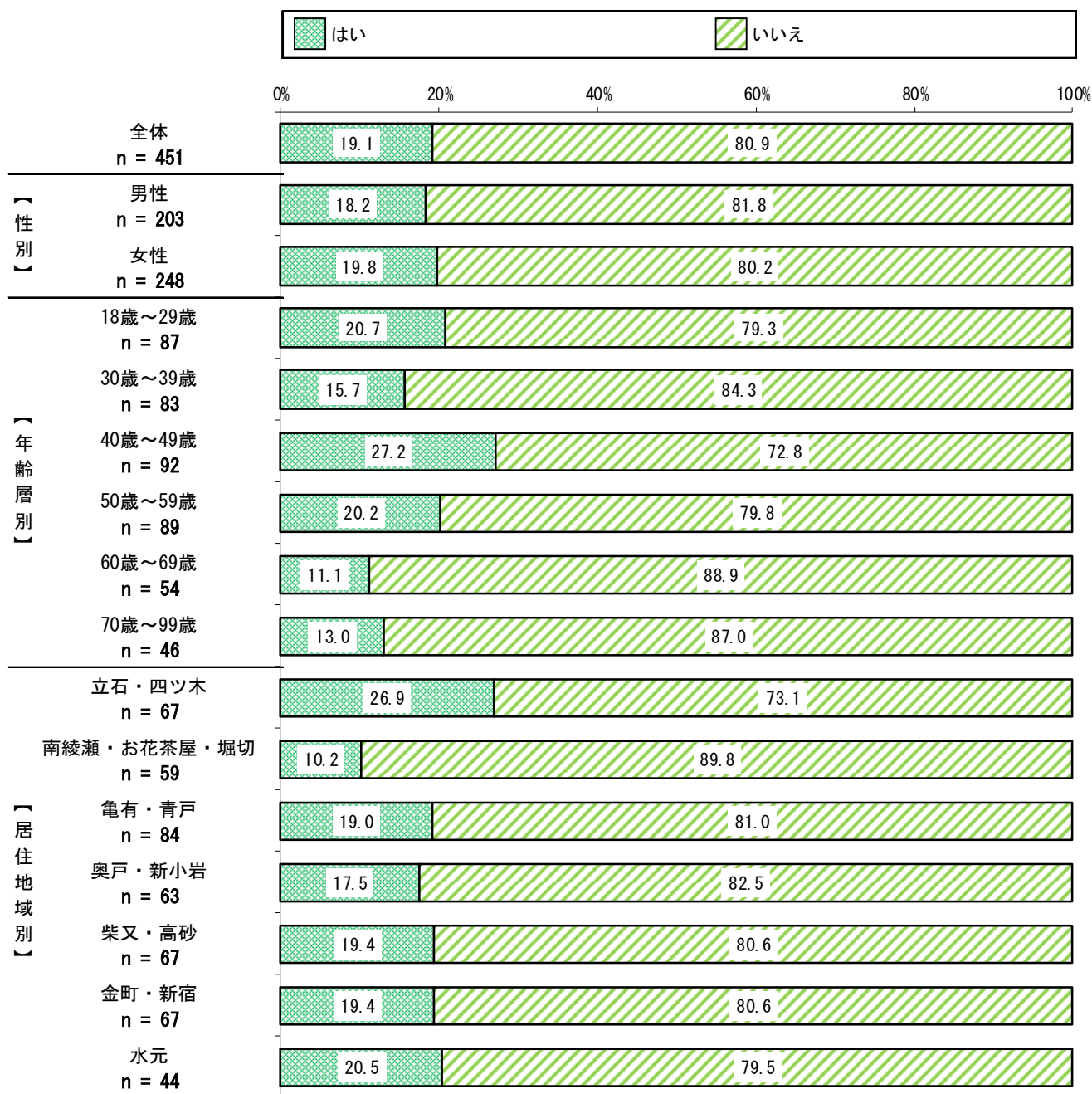


n = 451

マラソン大会にランナーとして参加した経験は、「いいえ」が 80.9%となっている。

マラソン大会にランナーとして参加した経験

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】

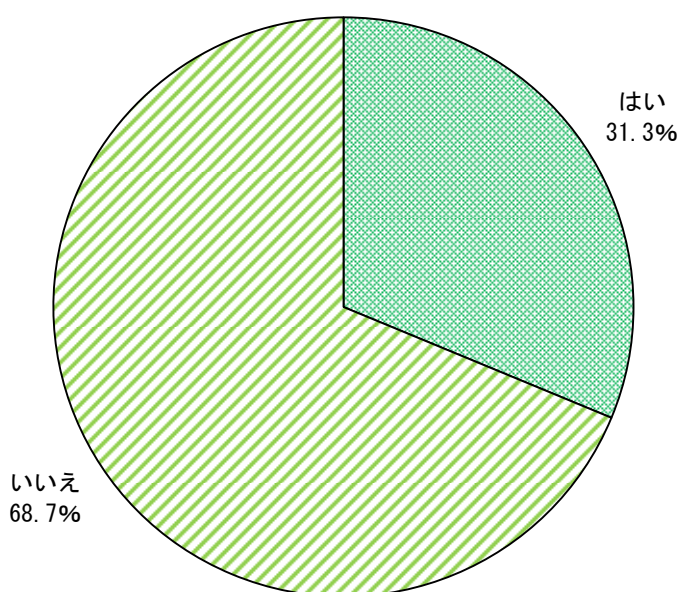


年齢層別にみると、「はい」は【40 歳～49 歳】が 27.2%と、他の区分に比べ高くなっている。

(16) マラソン大会を現地観戦した経験

問 16 マラソン大会を、沿道などで現地観戦した経験がありますか。(1つ選択)

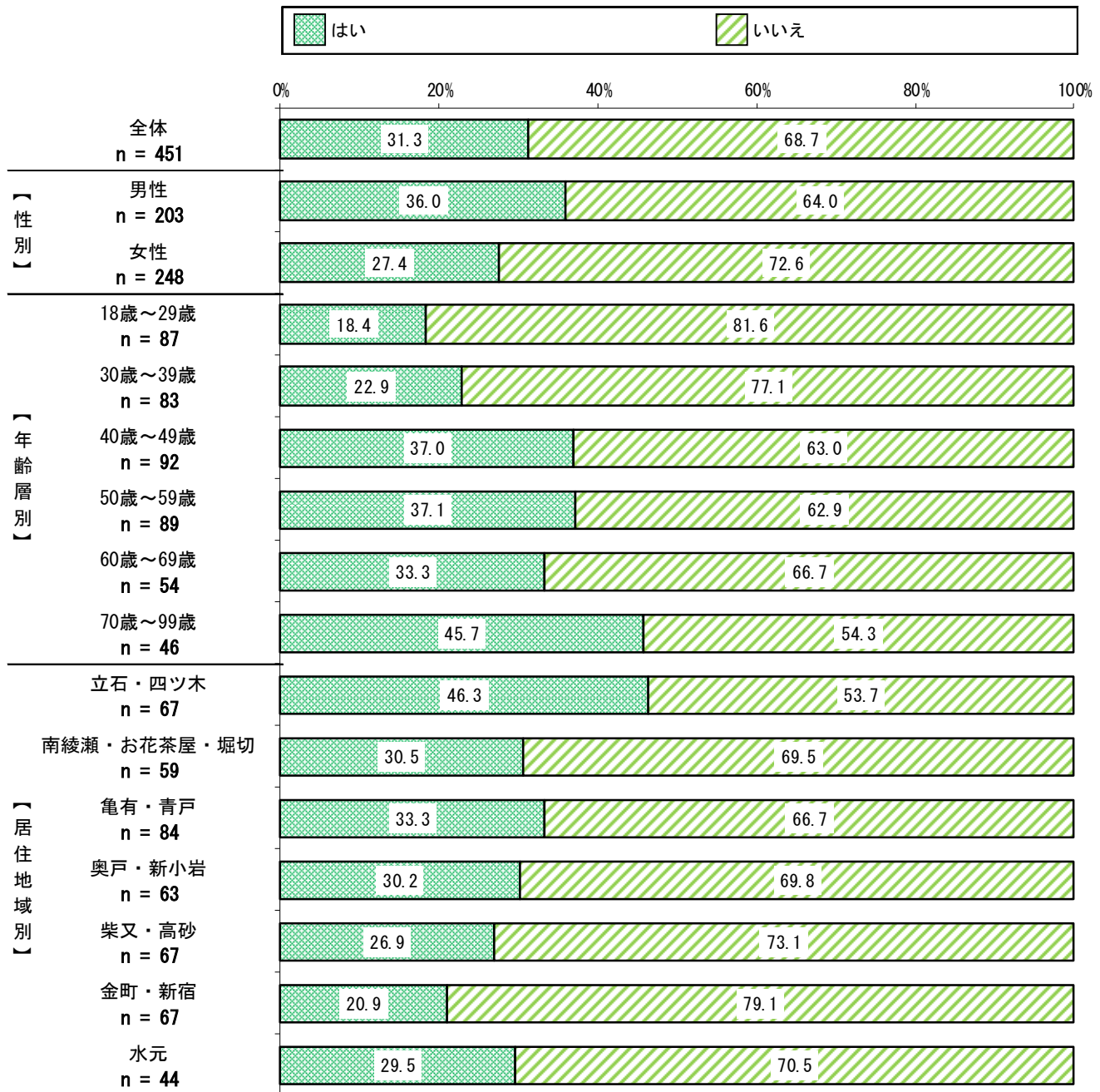
マラソン大会を現地観戦した経験【全体】



n = 451

マラソン大会を現地観戦した経験は、「いいえ」が 68.7%となっている。

マラソン大会を現地観戦した経験
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「はい」は【男性】が36.0%と、【女性】(27.4%)よりも8.6ポイント高くなっている。

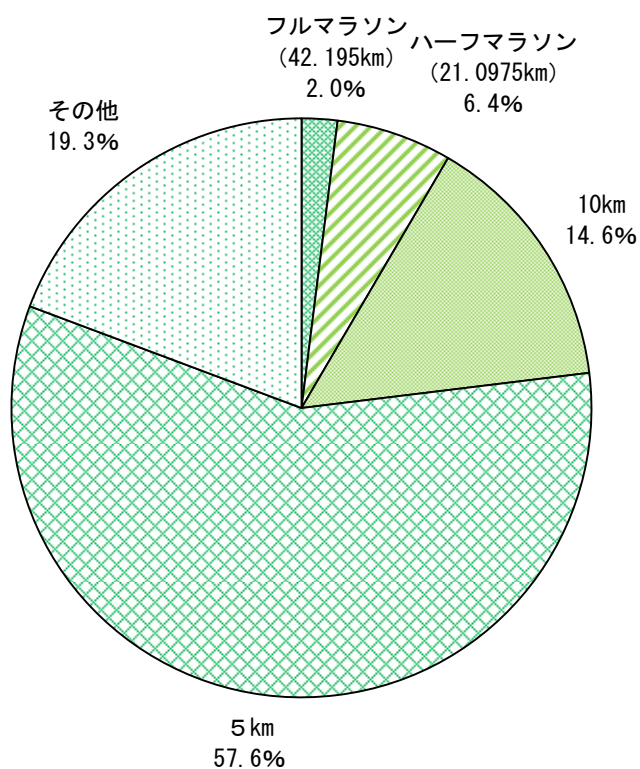
年齢層別にみると、「いいえ」は【18歳～29歳】81.6%、【30歳～39歳】の77.1%が、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「はい」は【立石・四ツ木】が46.3%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「いいえ」は【金町・新宿】が79.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

(17) 参加したいマラソンイベントの距離

問 17 今後（も）マラソンイベントにランナーとして参加するとしたら、どの距離に参加しようと思いますか。（1つ選択）

参加したいマラソンイベントの距離【全体】

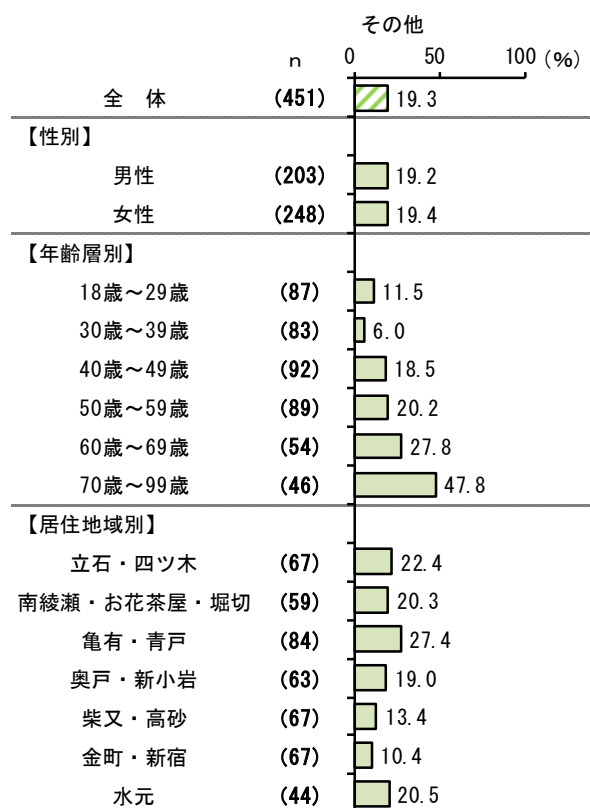
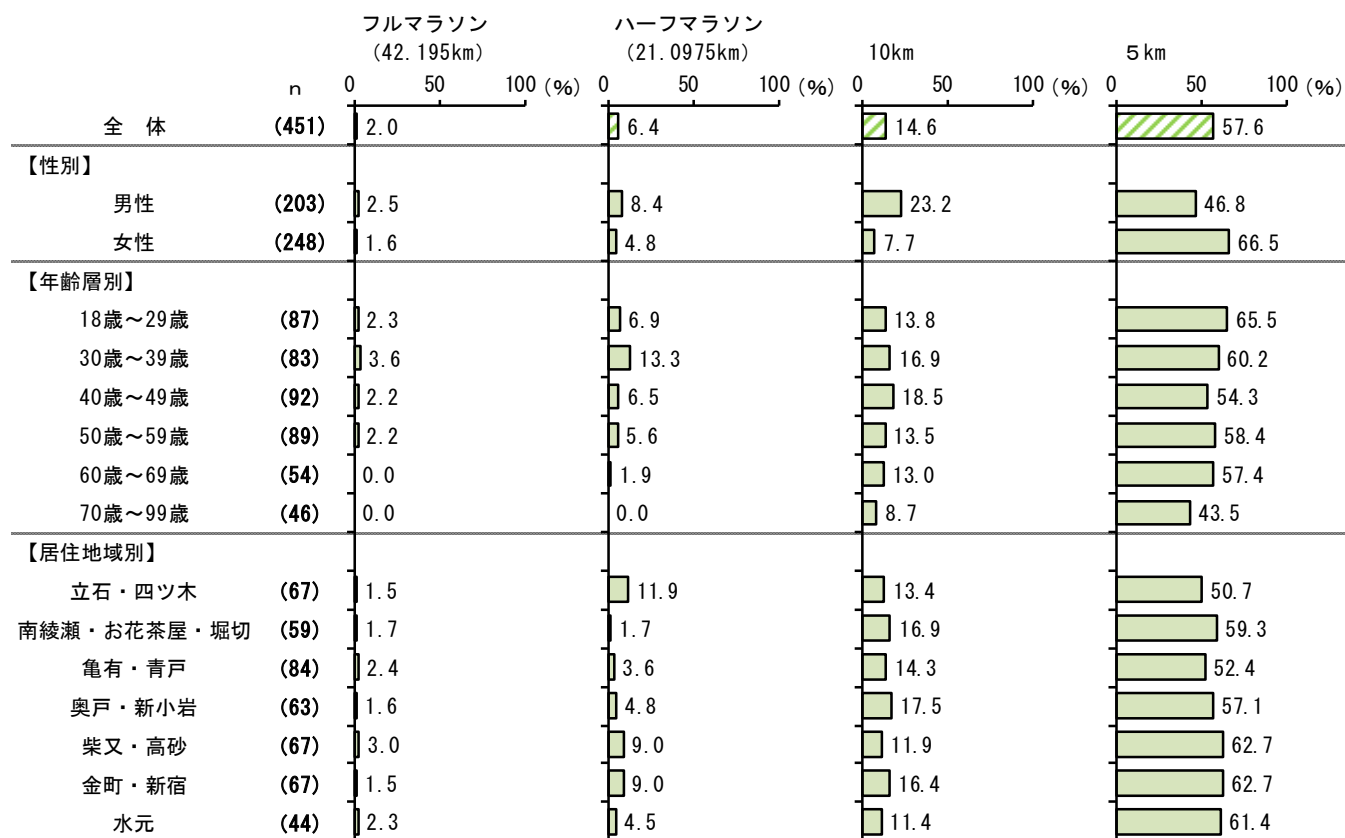


n = 451

参加したいマラソンイベントの距離は、「5 km」が 57.6%、「10 km」が 14.6%、「ハーフマラソン（21.0975 km）」が 6.4%、「フルマラソン（42.195 km）」が 2.0%となっている。

「その他」の内容としては、「2 km」「1 km」「水泳をしているので参加はしません」「もっと少ない距離（1.5 km）」「こどもと一緒に参加できる距離」などがあつた。

参加したいマラソンイベントの距離
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】

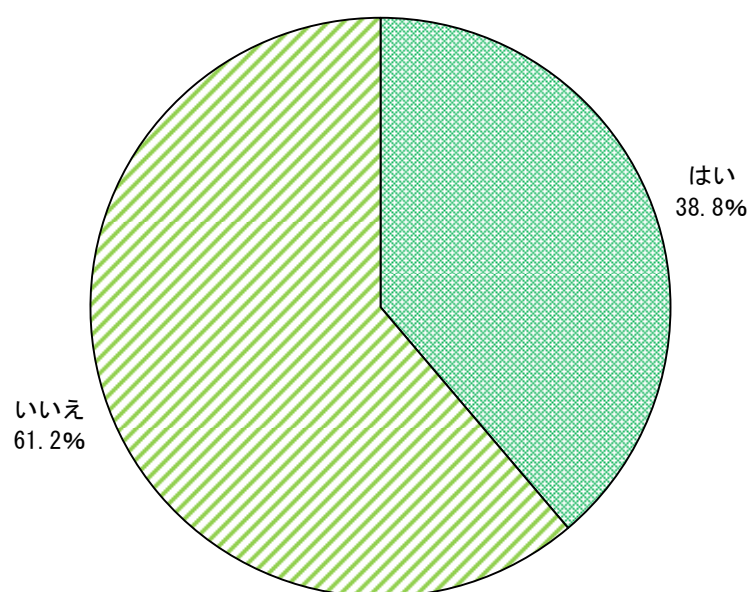


性別でみると、「5 km」は【女性】が 66.5%と、【男性】(46.8%) よりも 19.7 ポイント高くなっている。一方、「10km」は【男性】が 23.2%と、【女性】(7.7%) よりも 15.5 ポイント高くなっている。

(18) かつしかふれあいRUNフェスタの認知

問 18 かつしかふれあいRUNフェスタを知っていますか。(1つ選択)

かつしかふれあいRUNフェスタの認知【全体】

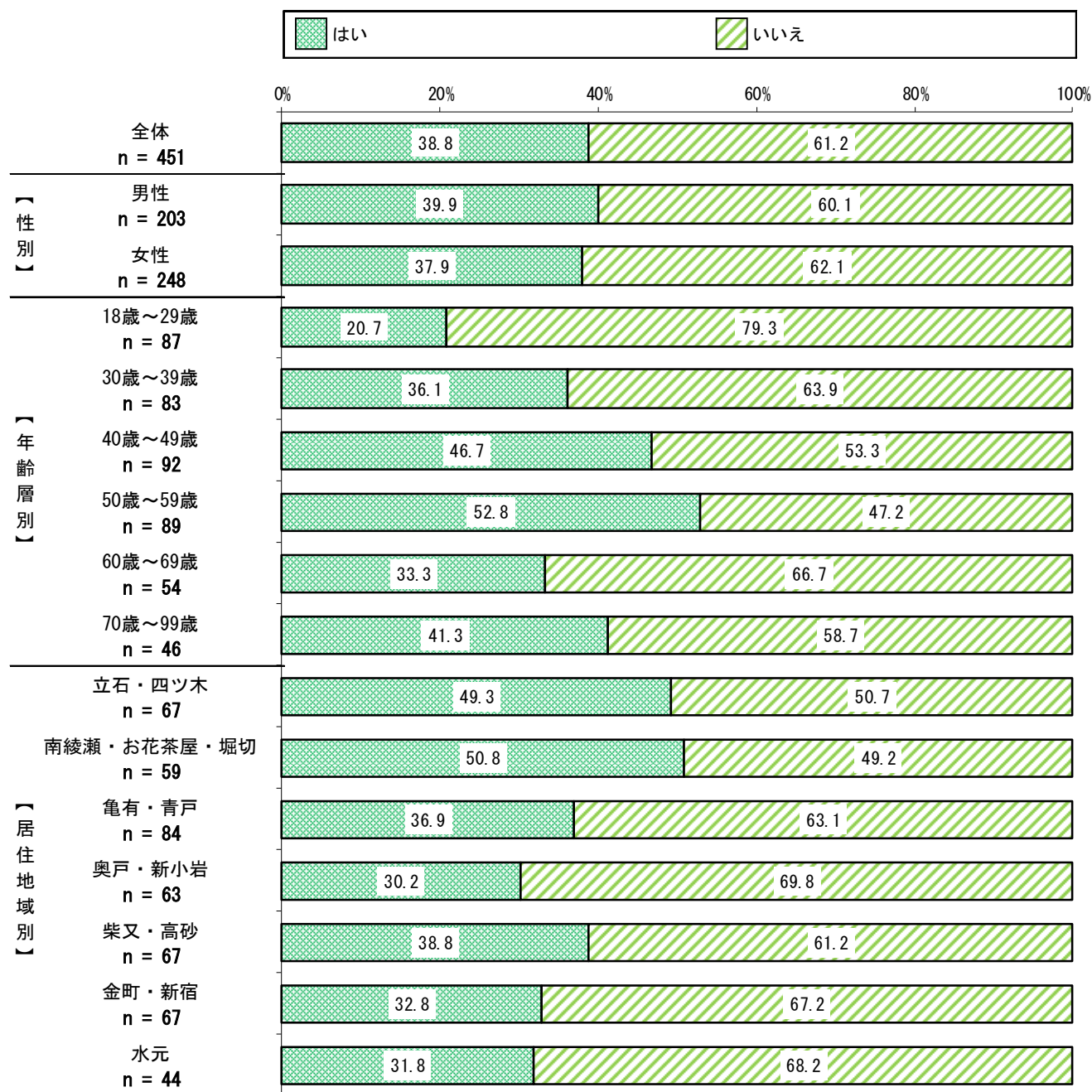


n = 451

かつしかふれあいRUNフェスタの認知は、「はい」が 38.8%、「いいえ」が 61.2%となっている。

かつしかふれあいRUNフェスタの認知

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別にみると、「はい」は【50歳～59歳】が52.8%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「いいえ」は【18歳～29歳】が79.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「はい」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が50.8%、【立石・四ツ木】が49.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

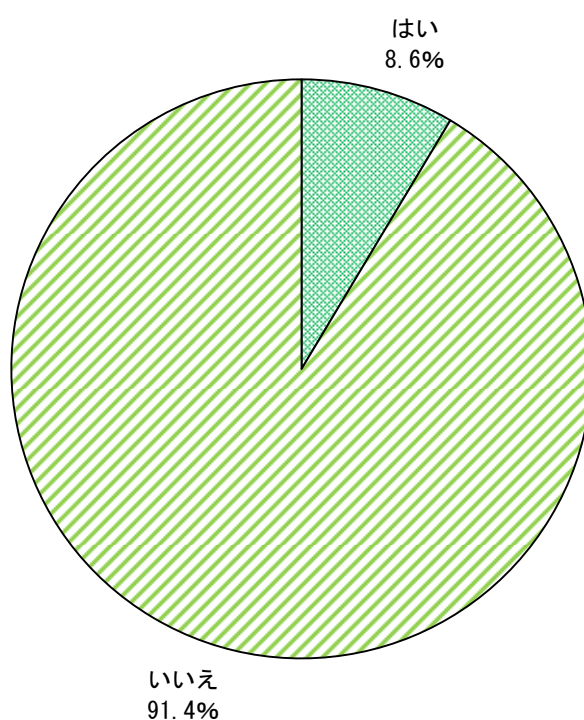
(19) かつしかふれあいRUNフェスタにランナーとして参加した経験

問 19 問 18 で「はい」と答えた方に伺います。

かつしかふれあいRUNフェスタに、ランナーとして参加したことがありますか。

(1 つ選択)

かつしかふれあいRUNフェスタにランナーとして参加した経験【全体】

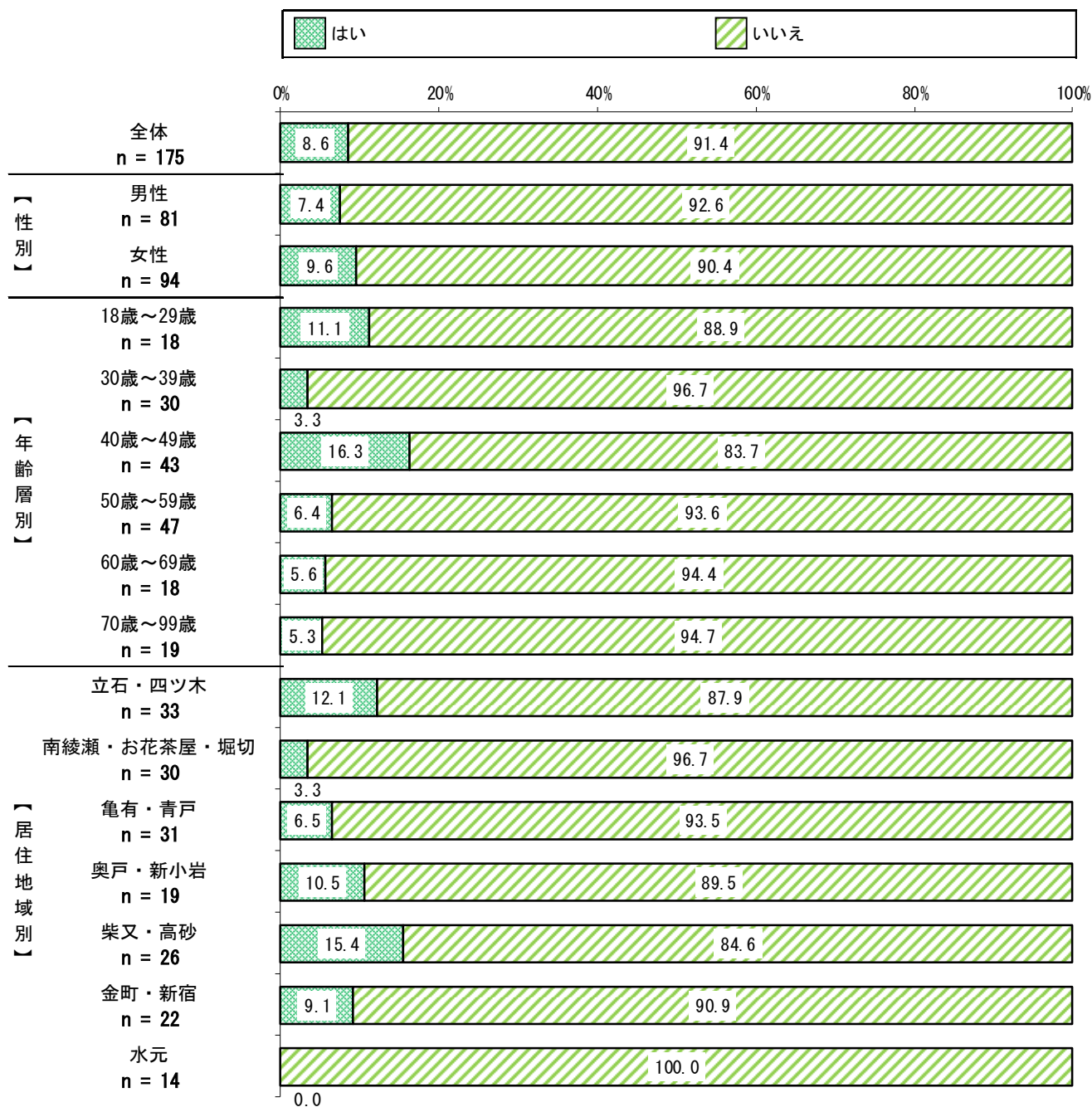


n = 175

かつしかふれあいRUNフェスタにランナーとして参加した経験は、「いいえ」が 91.4% となっている。

かつしかふれあいRUNフェスタにランナーとして参加した経験

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別、年齢層、居住地域による大きな差はみられない。

年齢層別にみると、「はい」は【40歳～49歳】が16.3%、【18歳～29歳】が11.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

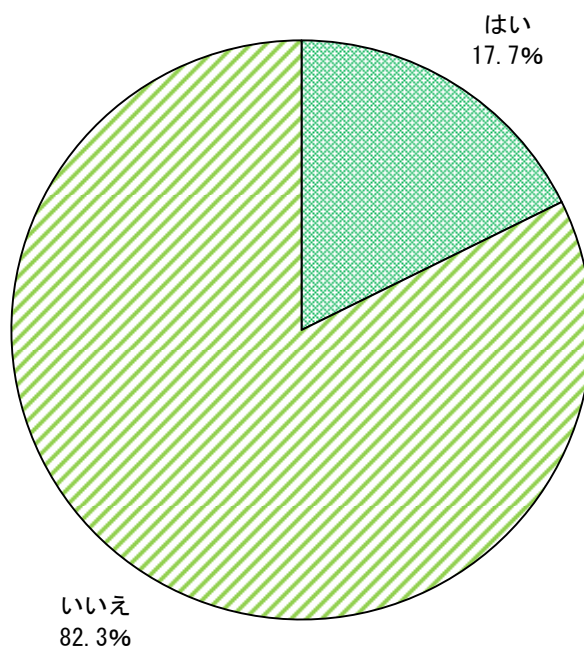
(20) かつしかふれあいRUNフェスタを現地観戦した経験

問 20 問 18 で「はい」と答えた方に伺います。

かつしかふれあいRUNフェスタを、沿道などで現地観戦した経験はありますか。

(1 つ選択)

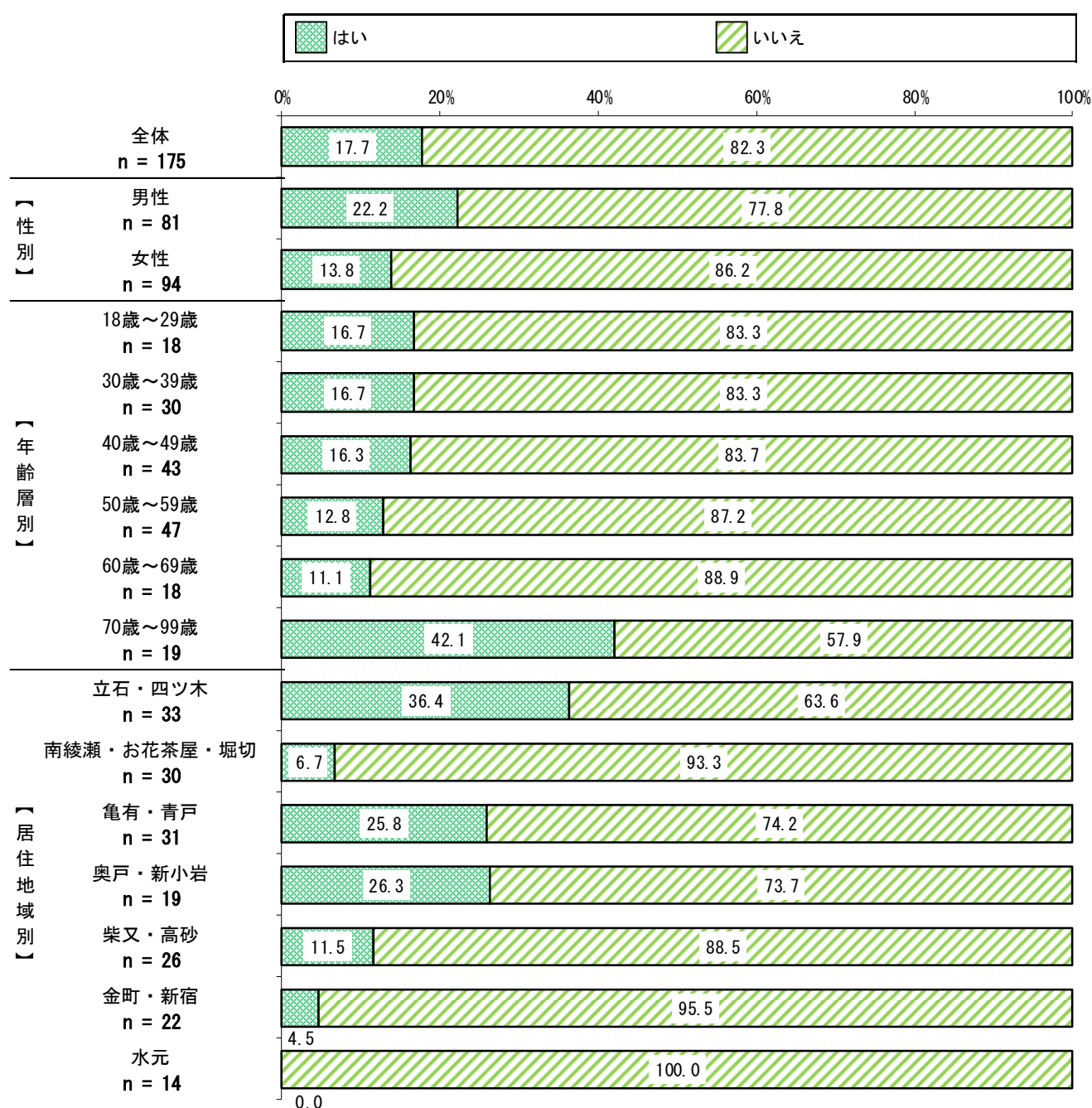
かつしかふれあいRUNフェスタを現地観戦した経験【全体】



n = 175

かつしかふれあいRUNフェスタを現地観戦した経験は、「いいえ」が 82.3%となっている。

かつしかふれあいRUNフェスタを現地観戦した経験【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「はい」は【男性】が22.2%と、【女性】(13.8%)よりも8.4ポイント高くなっている。

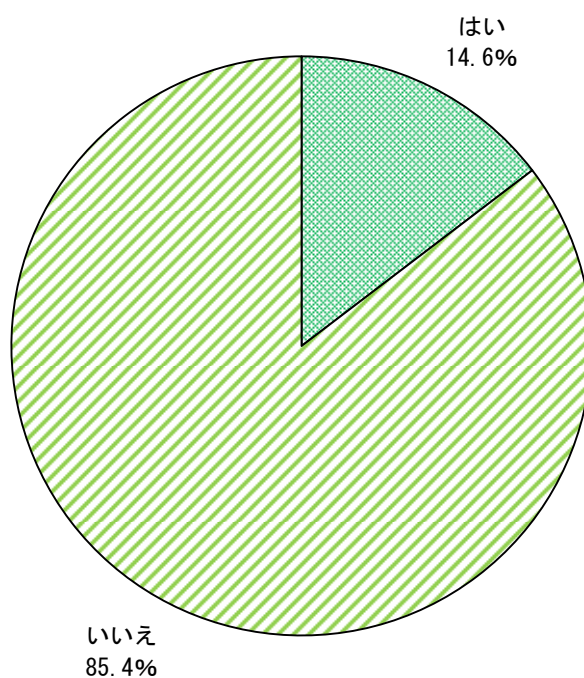
年齢層別にみると、「はい」は【70歳～99歳】が42.1%と他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「はい」は【立石・四ツ木】が36.4%、【奥戸・新小岩】が26.3%、【亀有・青戸】が25.8%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「いいえ」は【水元】が100%、【金町・新宿】が95.5%、【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が93.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

(21) かつしかふれあいRUNフェスタにランナーとしての参加意向

問 21 今後（も）、かつしかふれあいRUNフェスタに、ランナーとして参加したいと思いますか。（1つ選択）

かつしかふれあいRUNフェスタにランナーとしての参加意向【全体】

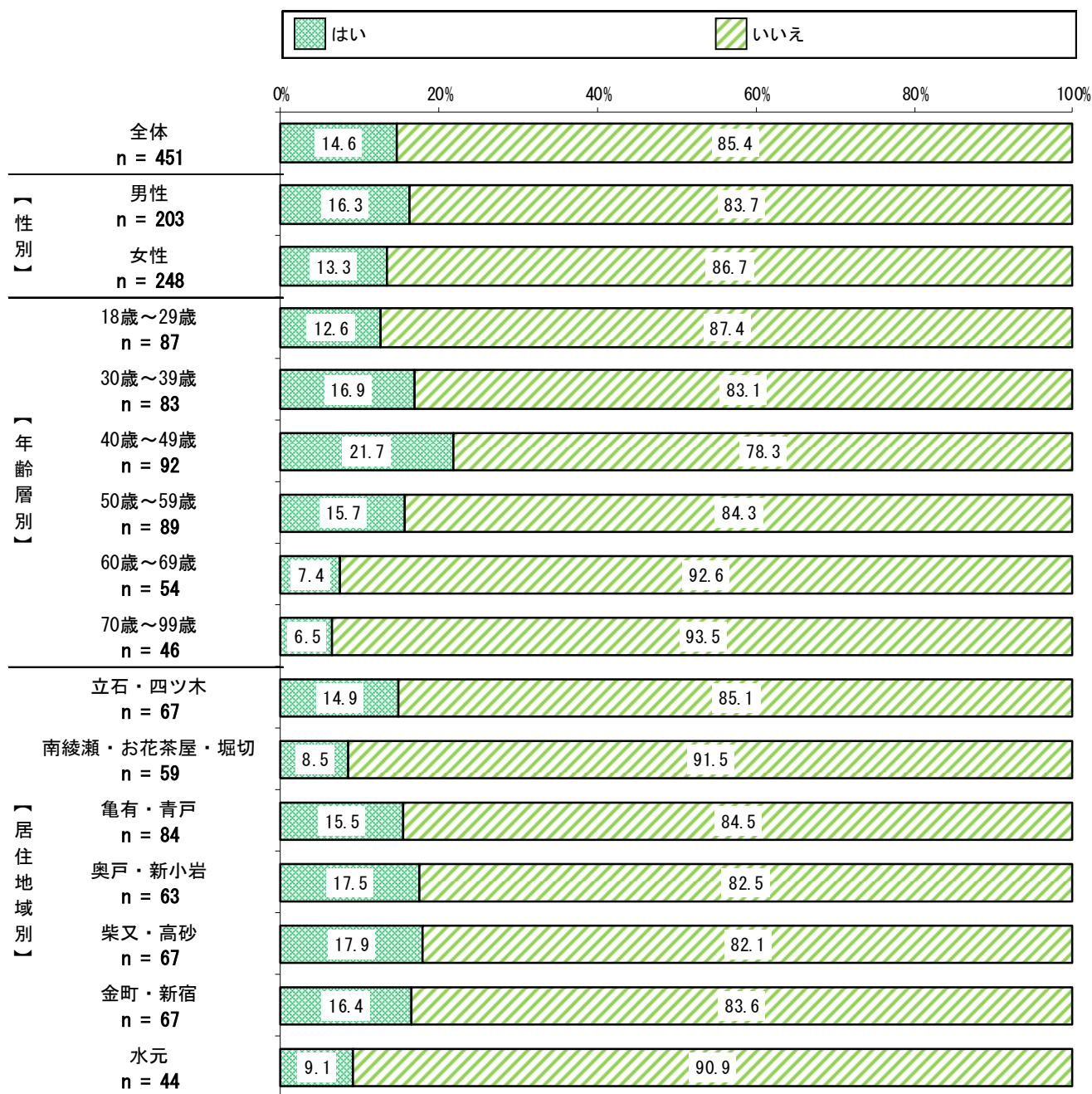


n = 451

かつしかふれあいRUNフェスタにランナーとしての参加意向は、「いいえ」が85.4%となっている。

かつしかふれあいRUNフェスタにランナーとしての参加意向

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】

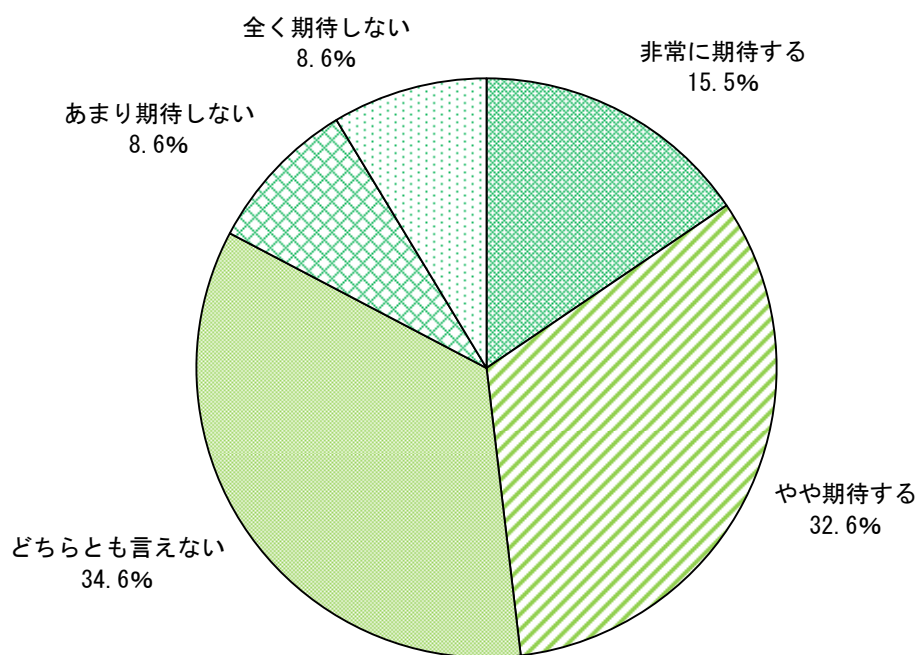


年齢層別にみると、「はい」は【40歳～49歳】が21.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

(22) 葛飾区内で大規模な公道マラソンイベントが開催されることの期待

問 22 葛飾区内で大規模な公道マラソンイベントが開催されることについて、どのように感じますか。(1つ選択)

葛飾区内で大規模な公道マラソンイベントが開催されることの期待【全体】

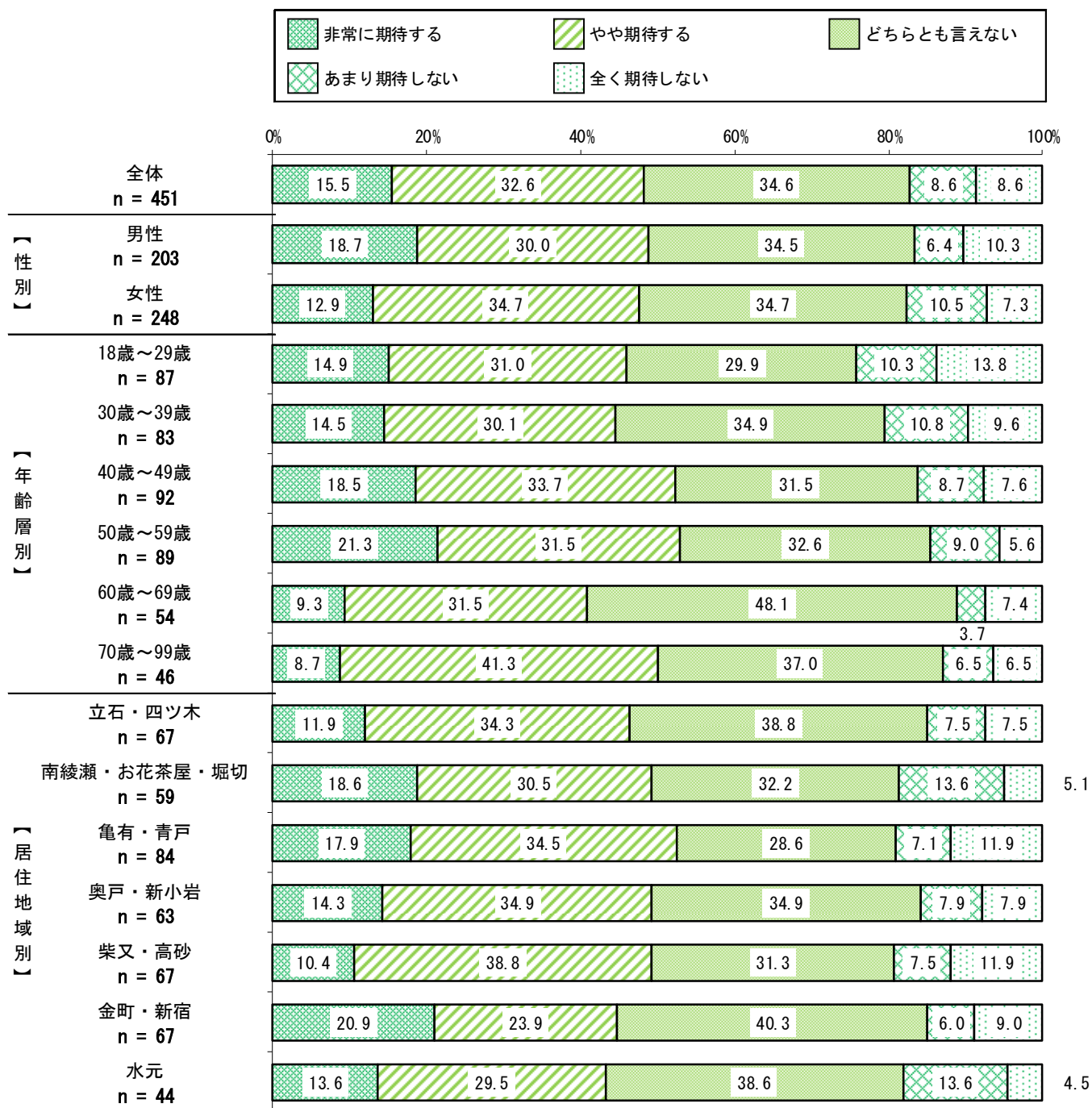


n = 451

葛飾区内で大規模な公道マラソンイベントが開催されることの期待は、「非常に期待する」(15.5%)と「やや期待する」(32.6%)を合わせた『期待あり』が48.1%、「全く期待しない」(8.6%)と「あまり期待しない」を合わせた『期待なし』が17.2%となっている。

葛飾区内で大規模な公道マラソンイベントが開催されることの期待

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



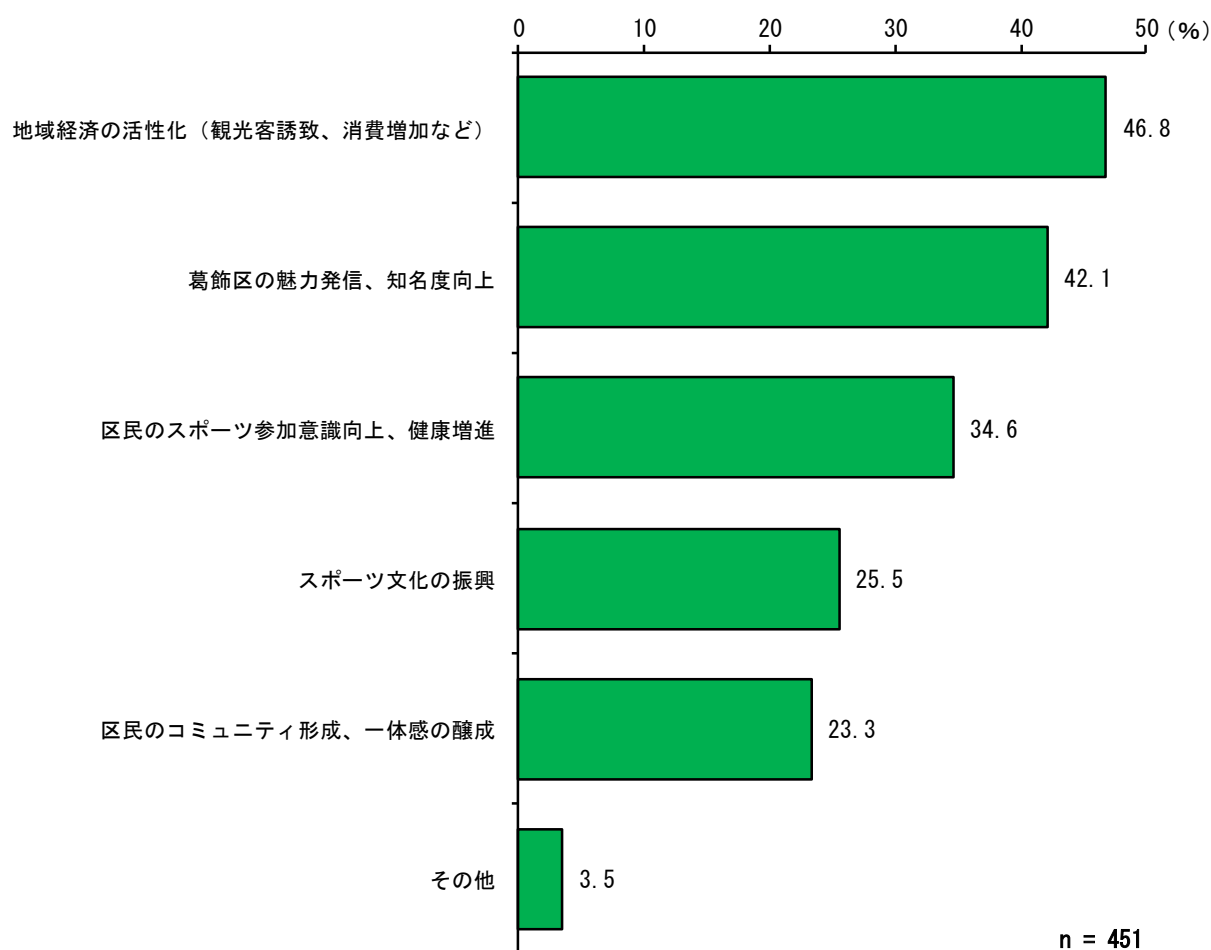
性別でみると、「非常に期待する」は【男性】が 18.7%と、【女性】（12.9%）よりも 5.8 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「どちらとも言えない」は【60 歳～69 歳】が 48.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

(23) 公道を利用したマラソン大会が地域にもたらすメリット

問 23 公道を利用したマラソン大会が地域にもたらすメリットとして、特に重要だと感じるものは何ですか。（複数選択可）

公道を利用したマラソン大会が地域にもたらすメリット【全体】

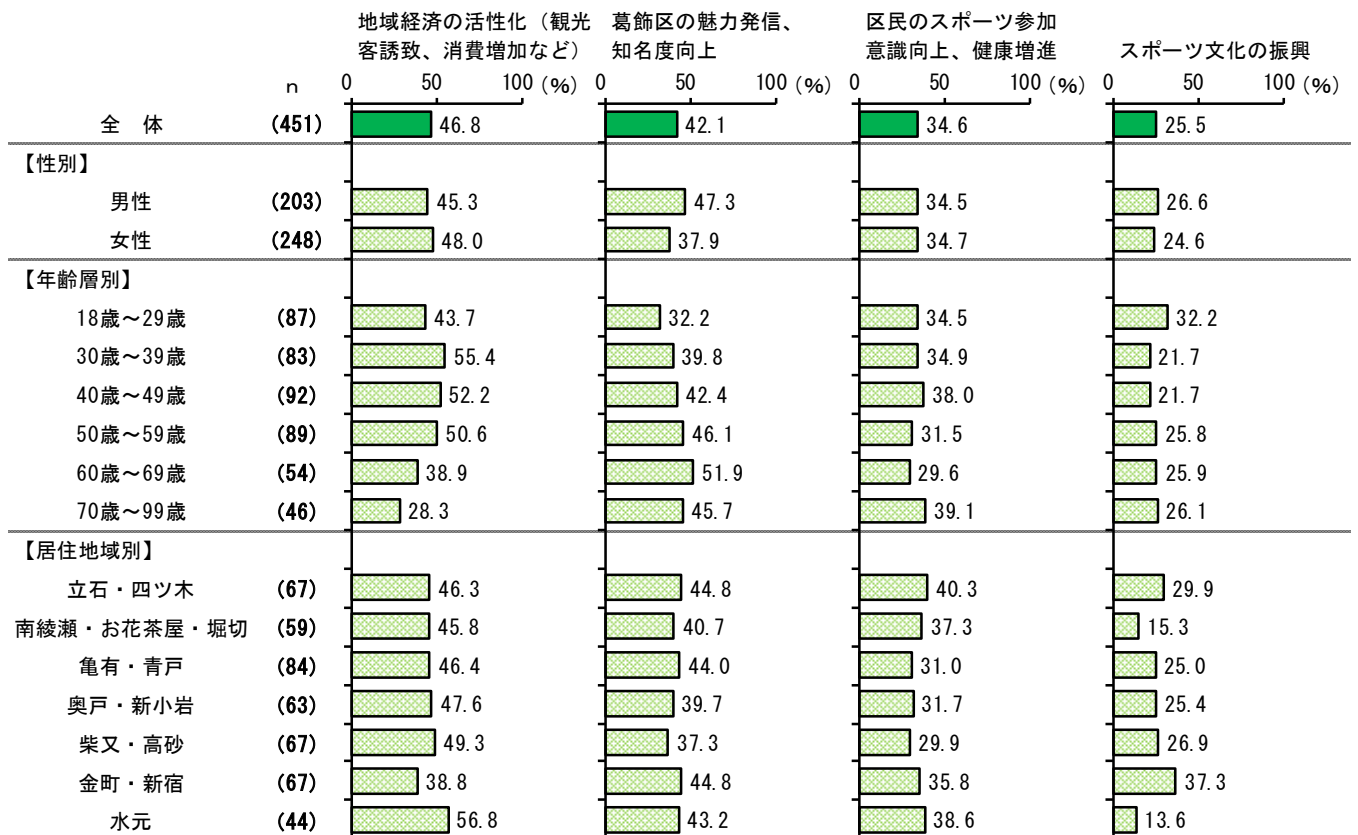


公道を利用したマラソン大会が地域にもたらすメリットは、「地域経済の活性化（観光客誘致、消費増加など）」が46.8%で最も高く、次いで「葛飾区の魅力発信、知名度向上」が42.1%、「区民のスポーツ参加意識向上、健康増進」が34.6%、「スポーツ文化の振興」が25.5%、「区民のコミュニティ形成、一体感の醸成」が23.3%となっている。

「その他」の内容としては、「地域との関連」「友達同士で参加したり、沿道に露店などでたら楽しそう」などがあった。

公道を利用したマラソン大会が地域にもたらすメリット

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「葛飾区の魅力発信、知名度向上」は【男性】が 47.3%と、【女性】(37.9%) よりも 9.4 ポイント高くなっている。一方、「区民のコミュニティ形成、一体感の醸成」は【女性】が 26.2%と、【男性】(19.7%) よりも 6.5 ポイント高くなっている。

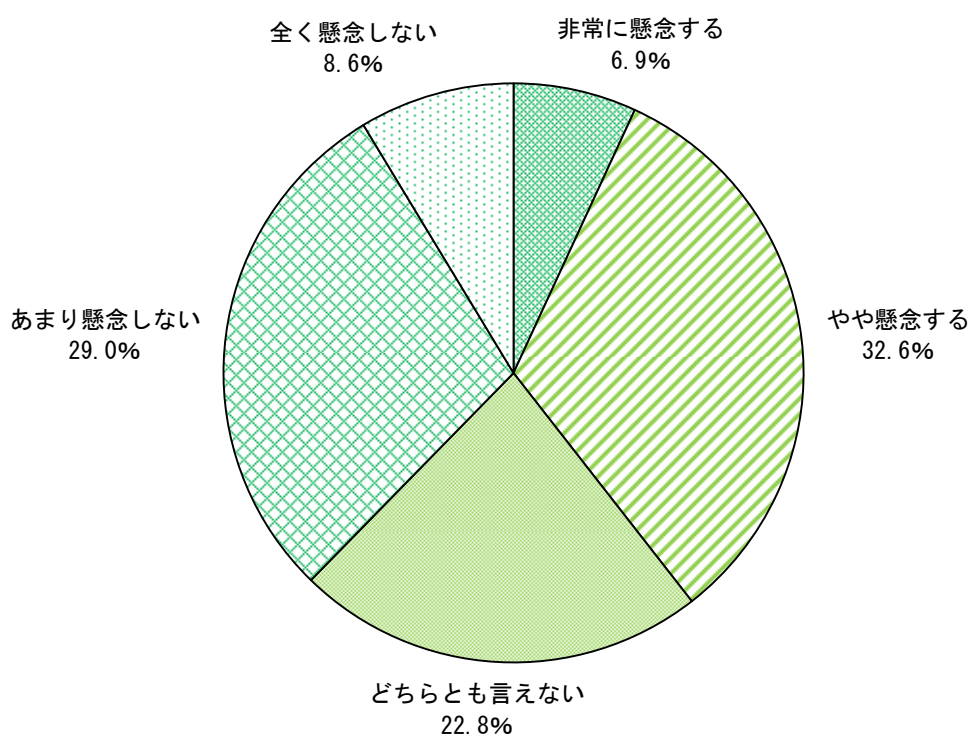
年齢層別にみると、「地域経済の活性化（観光客誘致、消費増加など）」は【70 歳～99 歳】が 28.3%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「地域経済の活性化（観光客誘致、消費増加など）」は【水元】が 56.8%と、他の区分に比べ高くなっている。

(24) 公道を利用したマラソン大会開催に対しての懸念

問 24 公道を利用したマラソン大会が開催されることに對し、区民の日常生活への影響について、どの程度懸念していますか。(1つ選択)

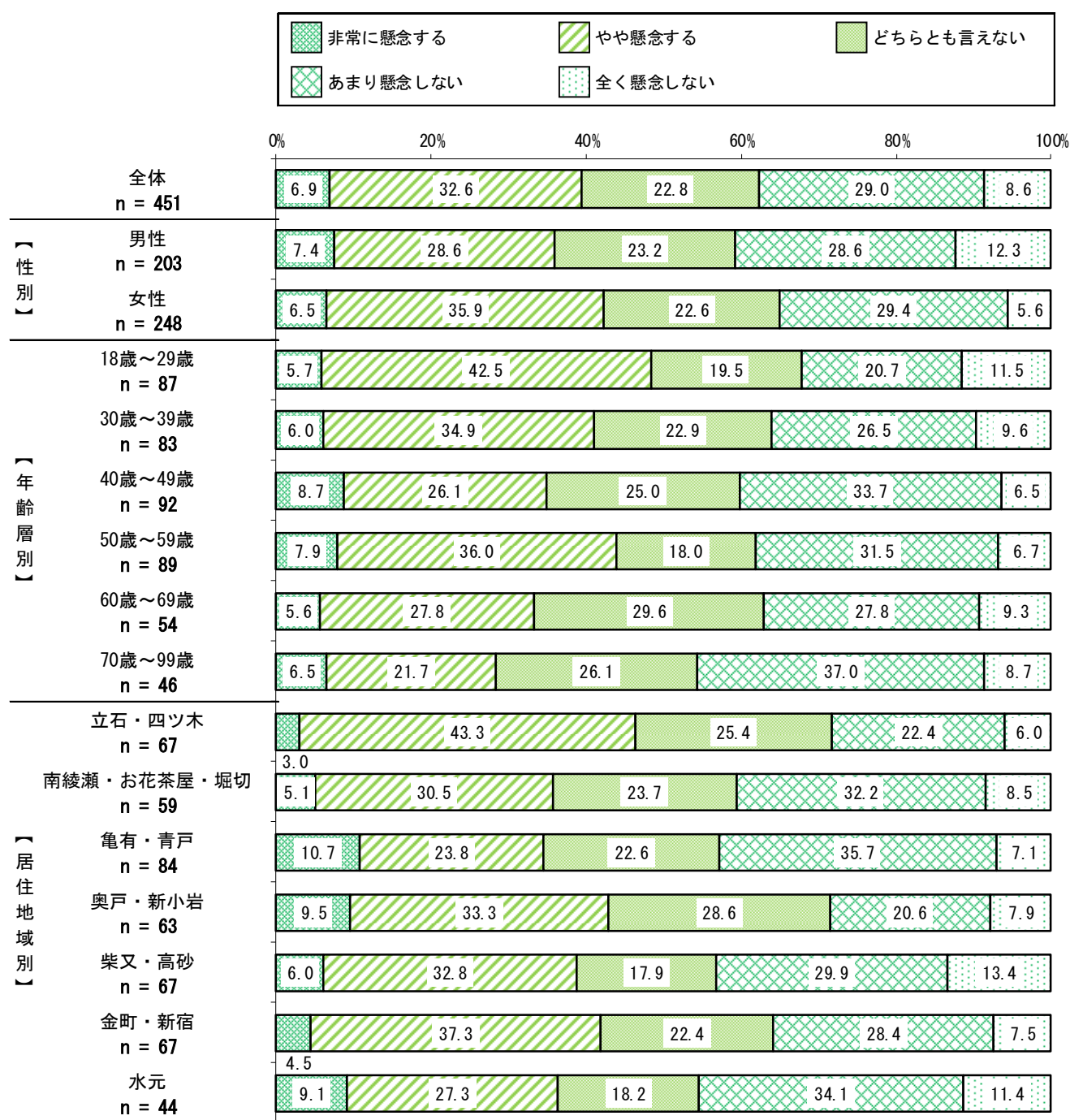
公道を利用したマラソン大会開催に対しての懸念【全体】



n = 451

公道を利用したマラソン大会開催に対しての懸念は、「非常に懸念する」(6.9%)と「やや懸念する」(32.6%)を合わせた『懸念あり』が39.5%、「全く懸念しない」(8.6%)と「あまり懸念しない」(29.0%)を合わせた『懸念なし』が37.6%となっている。

公道を利用したマラソン大会開催に対しての懸念【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



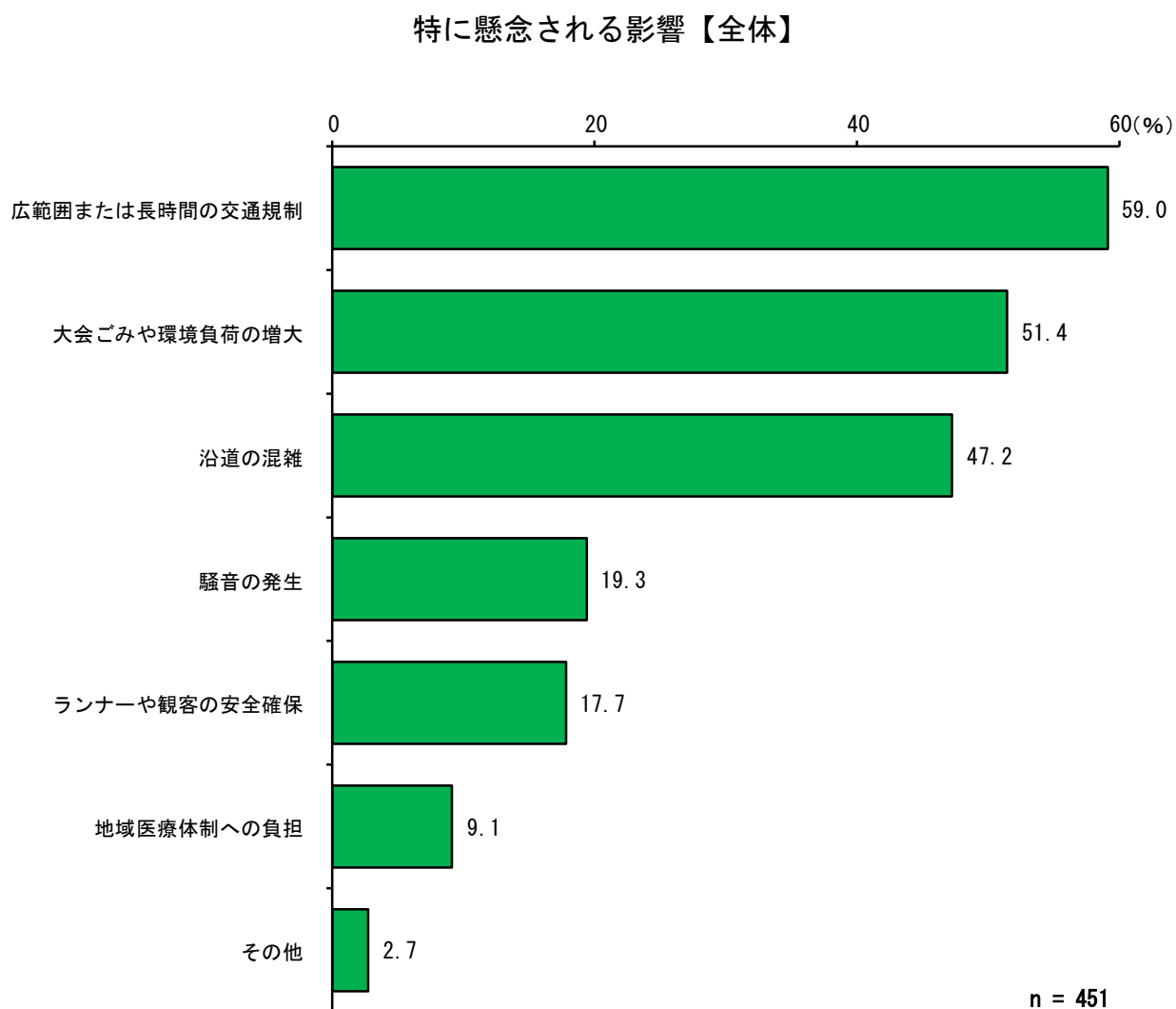
性別でみると、「非常に懸念する」と「やや懸念する」を合わせた『懸念あり』は【女性】が42.4%と、【男性】(36.0%)よりも6.4ポイント高くなっている。一方、「全く懸念しない」と「あまり懸念しない」を合わせた『懸念なし』は【男性】が40.9%と、【女性】(35.0%)よりも5.9ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「やや懸念する」は【18歳～29歳】が42.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「やや懸念する」は【立石・四ツ木】が43.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

(25) 特に懸念される影響

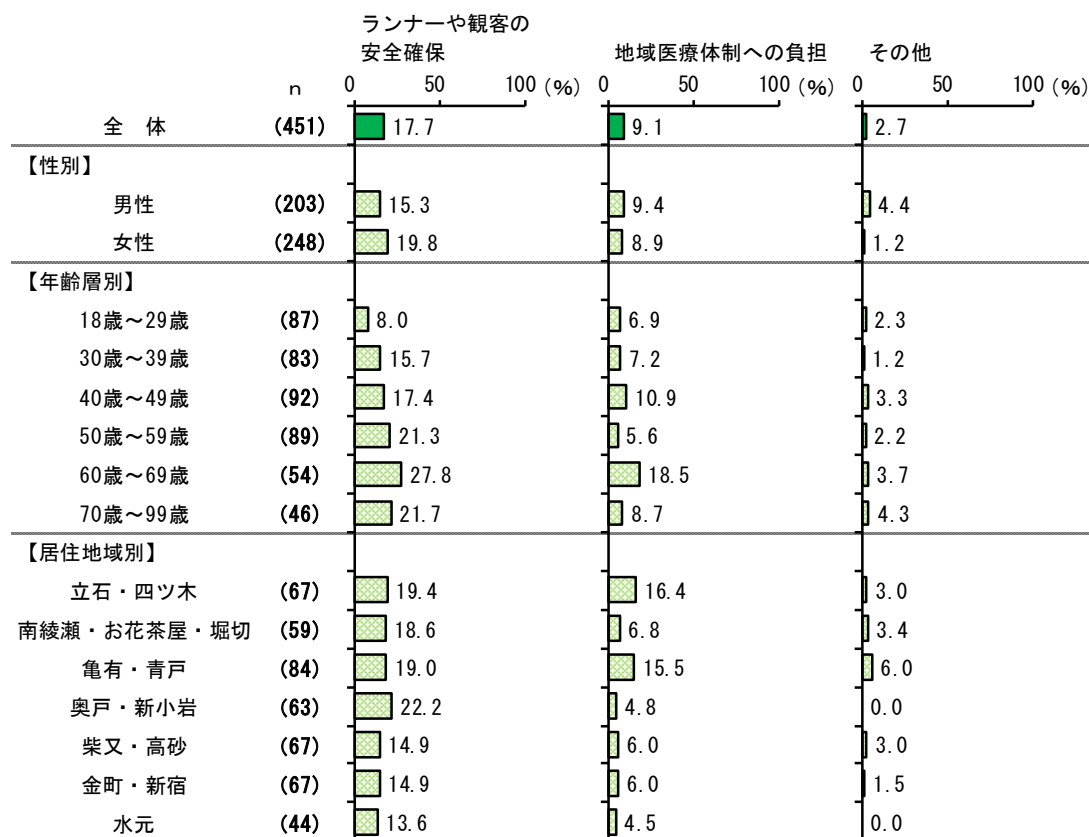
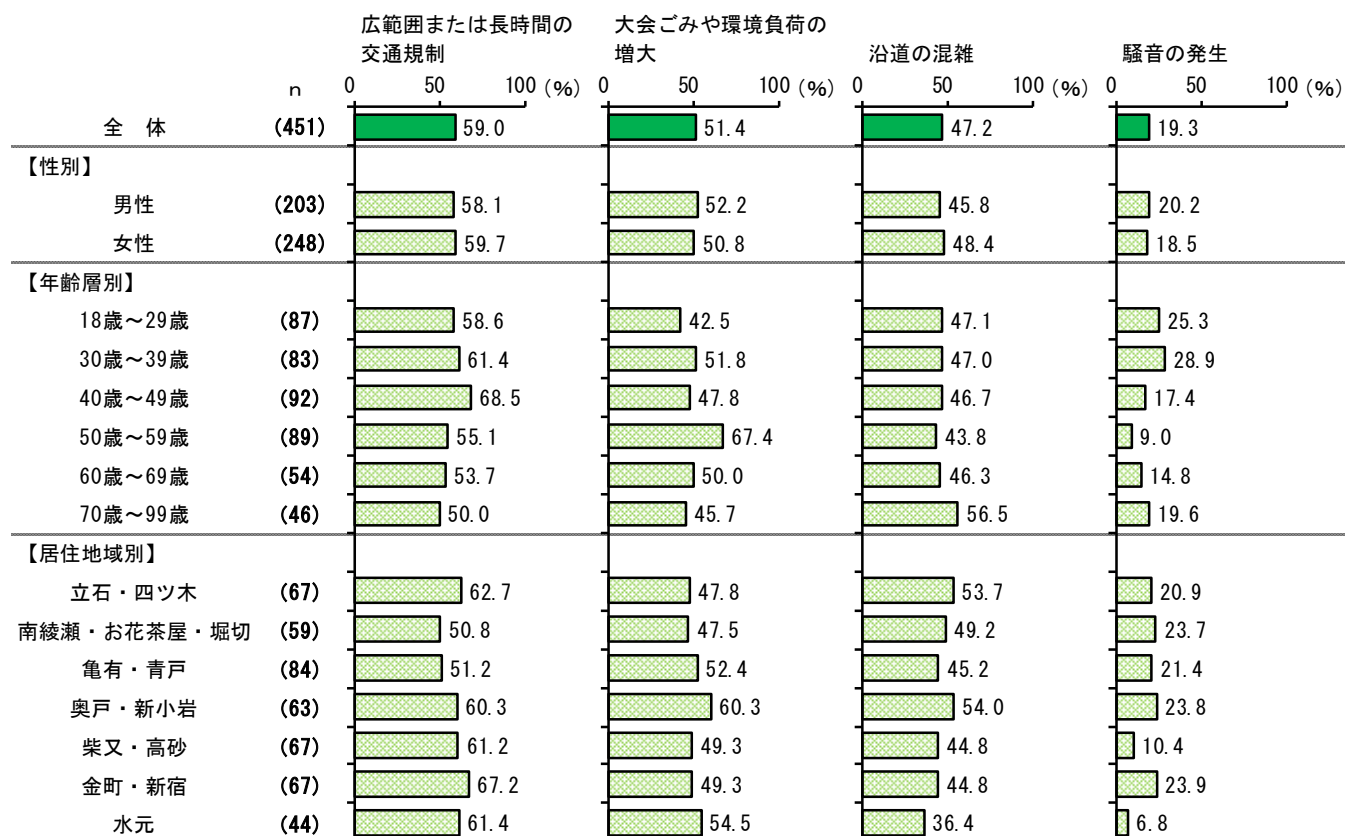
問 25 特に懸念される影響は何ですか。(複数選択可)



特に懸念される影響は、「広範囲または長時間の交通規制」が 59.0%で最も高く、次いで「大会ごみや環境負荷の増大」が 51.4%、「沿道の混雑」が 47.2%と続いている。

「その他」の内容としては、「参加者のマナー（特に大会前後の開催者で把握が難しい部分）」「マラソン途中のトイレ問題」「選手や観客の健康確保（熱射病等）。」「運営体制」「開催経費の増大」などがあつた。

特に懸念される影響【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

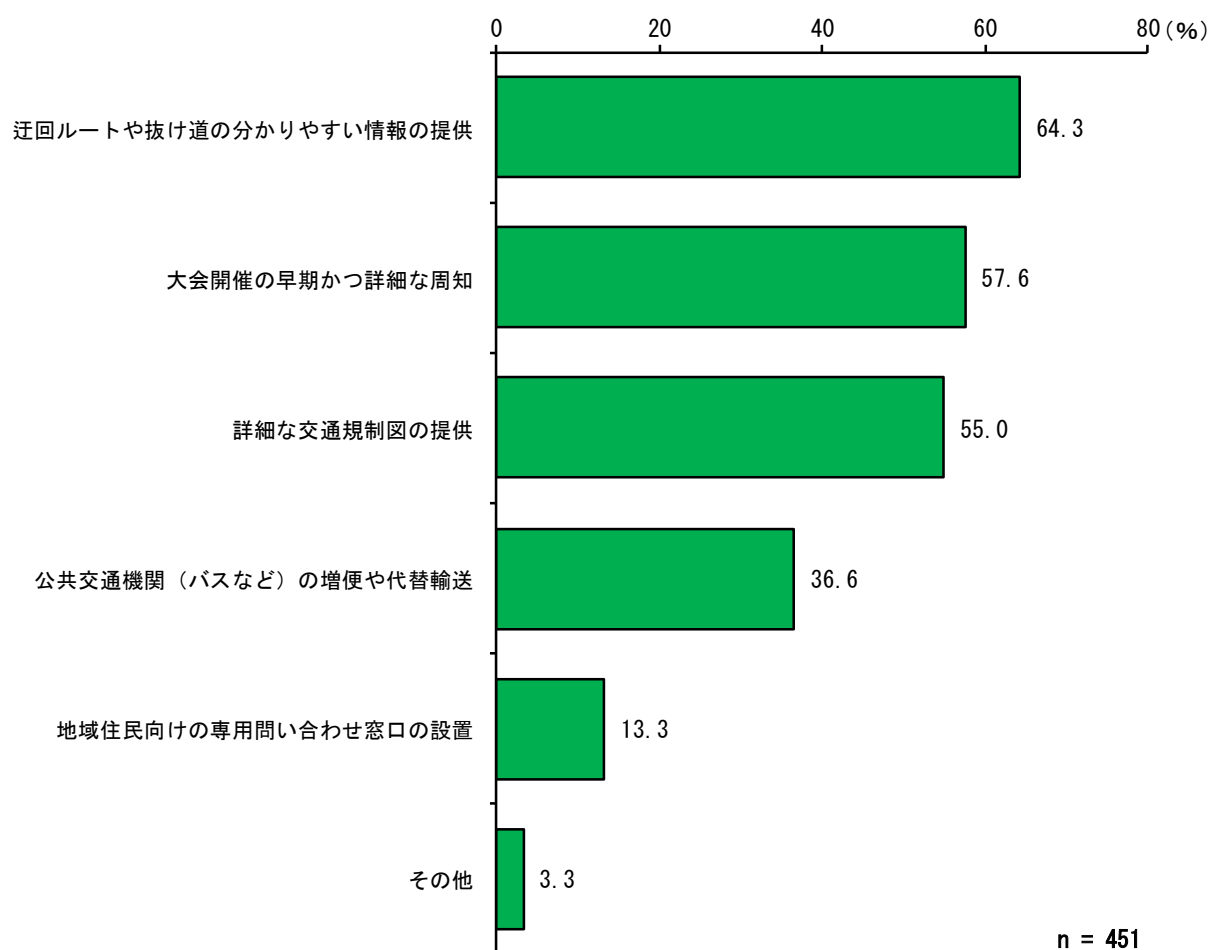
年齢層別にみると、「大会ごみや環境負荷の増大」は【50 歳～59 歳】が 67.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「騒音の発生」は【柴又・高砂】が 10.4%、【水元】が 6.8%と、他の区分に比べ低くなっている。

(26) マラソン大会開催に伴う交通規制に許容できると思う情報提供や対策

問 26 マラソン大会開催に伴う交通規制について、どのような情報提供や対策があれば、不便を許容できますか。(複数選択可)

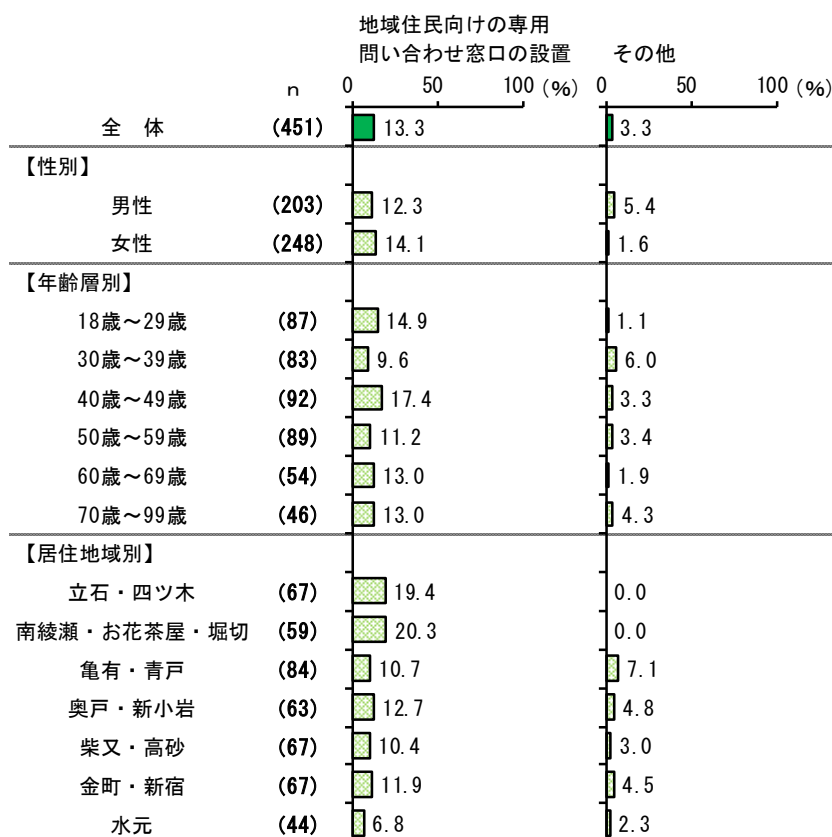
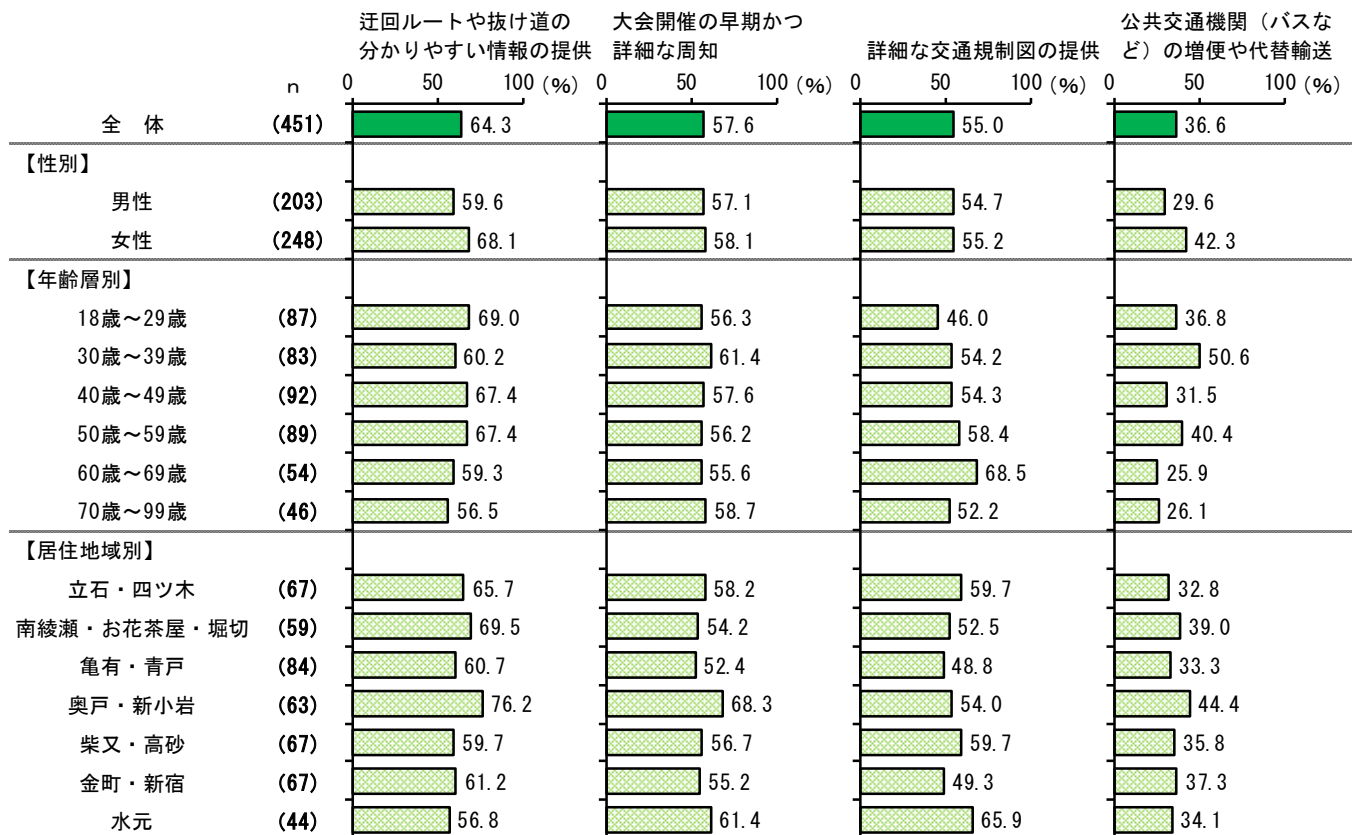
マラソン大会開催に伴う交通規制に許容できると思う情報提供や対策【全体】



マラソン大会開催に伴う交通規制に許容できると思う情報提供や対策は、「迂回ルートや抜け道の分かりやすい情報の提供」が 64.3%で最も高く、次いで「大会開催の早期かつ詳細な周知」が 57.6%、「詳細な交通規制図の提供」が 55.0%と続いている。

「その他」の内容としては、「宅配便などの物流対策」「運営人員の確保」「場所場所の閉鎖時間を明確化し情報提供」「交通規制のないルートの確保」「主要道路は使用しない」などがあつた。

マラソン大会開催に伴う交通規制に許容できると思う情報提供や対策
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「公共交通機関（バスなど）の増便や代替輸送」は【女性】が 42.3%と、【男性】（29.6%）よりも 12.7 ポイント高くなっている。また、「迂回ルートや抜け道の分かりやすい情報の提供」は【女性】が 68.1%と、【男性】（59.6%）よりも 8.5 ポイント高くなっている。

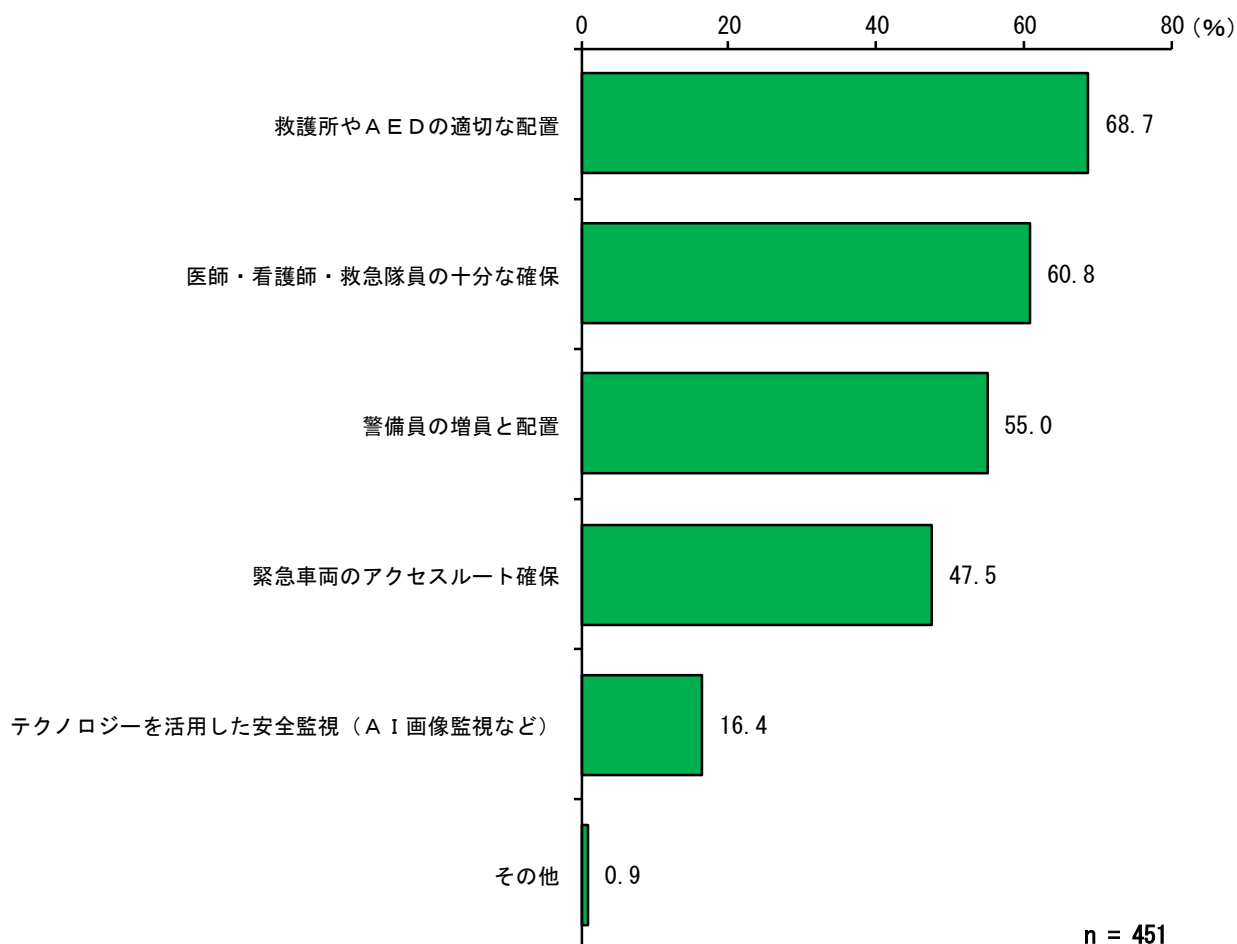
年齢層別にみると、「詳細な交通規制図の提供」は【60 歳～69 歳】が 68.5%、「公共交通機関（バスなど）の増便や代替輸送」は【30 歳～39 歳】が 50.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、【奥戸・新小岩】は「迂回ルートや抜け道の分かりやすい情報の提供」が 76.2%、「大会開催の早期かつ詳細な周知」が 68.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

(27) 特に重視すべき大規模マラソン大会の安全・医療体制

問 27 大規模マラソン大会の安全・医療体制について、特に重視すべき点は何だと思いますか。(複数選択可)

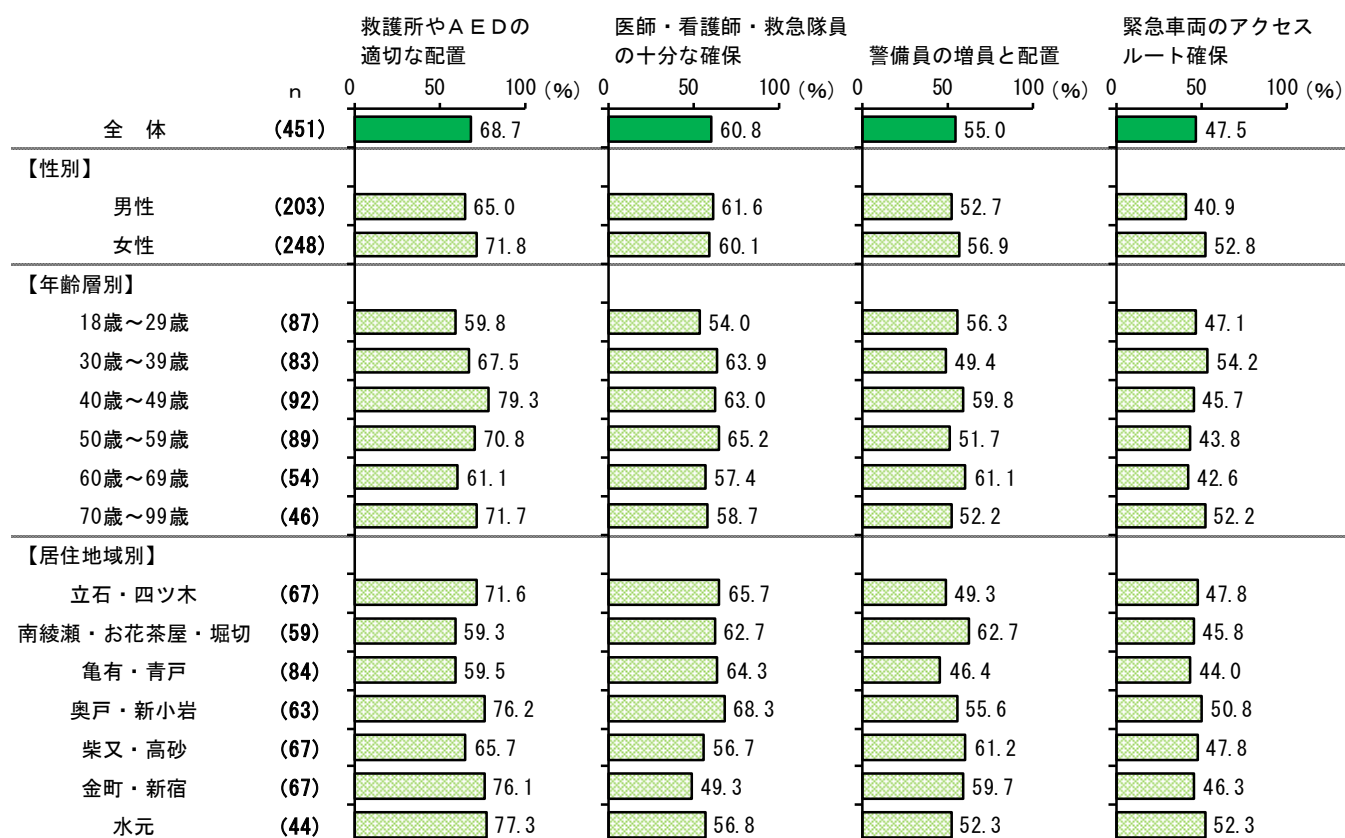
特に重視すべき大規模マラソン大会の安全・医療体制【全体】



特に重視すべき大規模マラソン大会の安全・医療体制は、「救護所やAEDの適切な配置」が 68.7%で最も高く、次いで「医師・看護師・救急隊員の十分な確保」が 60.8%、「警備員の増員と配置」が 55.0%、「緊急車両のアクセスルート確保」が 47.5%と続いている。

「その他」の内容としては、「係の方たちやボランティアスタッフの方たちが、緊急時の対応を、自ら進んで出来ること。」「ドローンなどでの体調管理」「犯罪等増えているため、観戦客の手荷物検査」などがあった。

特に重視すべき大規模マラソン大会の安全・医療体制【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「緊急車両のアクセスルート確保」は【女性】が 52.8%と、【男性】(40.9%) よりも 11.9 ポイント高くなっている。また、「救護所やAEDの適切な配置」は【女性】が 71.8%と、【男性】(65.0%) よりも 6.8 ポイント高くなっている。

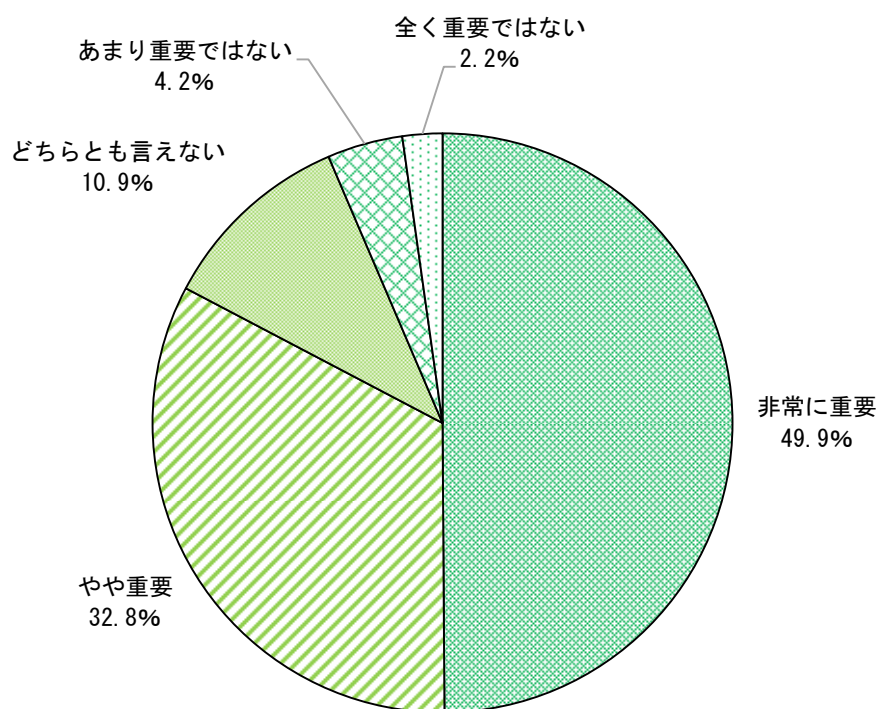
年齢層別にみると、「救護所やAEDの適切な配置」は【40 歳～49 歳】が 79.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「医師・看護師・救急隊員の十分な確保」は【金町・新宿】が 49.3%と、他の区分に比べ低くなっている。

(28) 大会運営における SDGs への配慮の重要性

問 28 大会運営において、SDGs（持続可能な開発目標）への配慮（例：ゴミ削減、リサイクル、環境負荷の少ない素材利用など）はどの程度重要だと考えますか。
（1 つ選択）

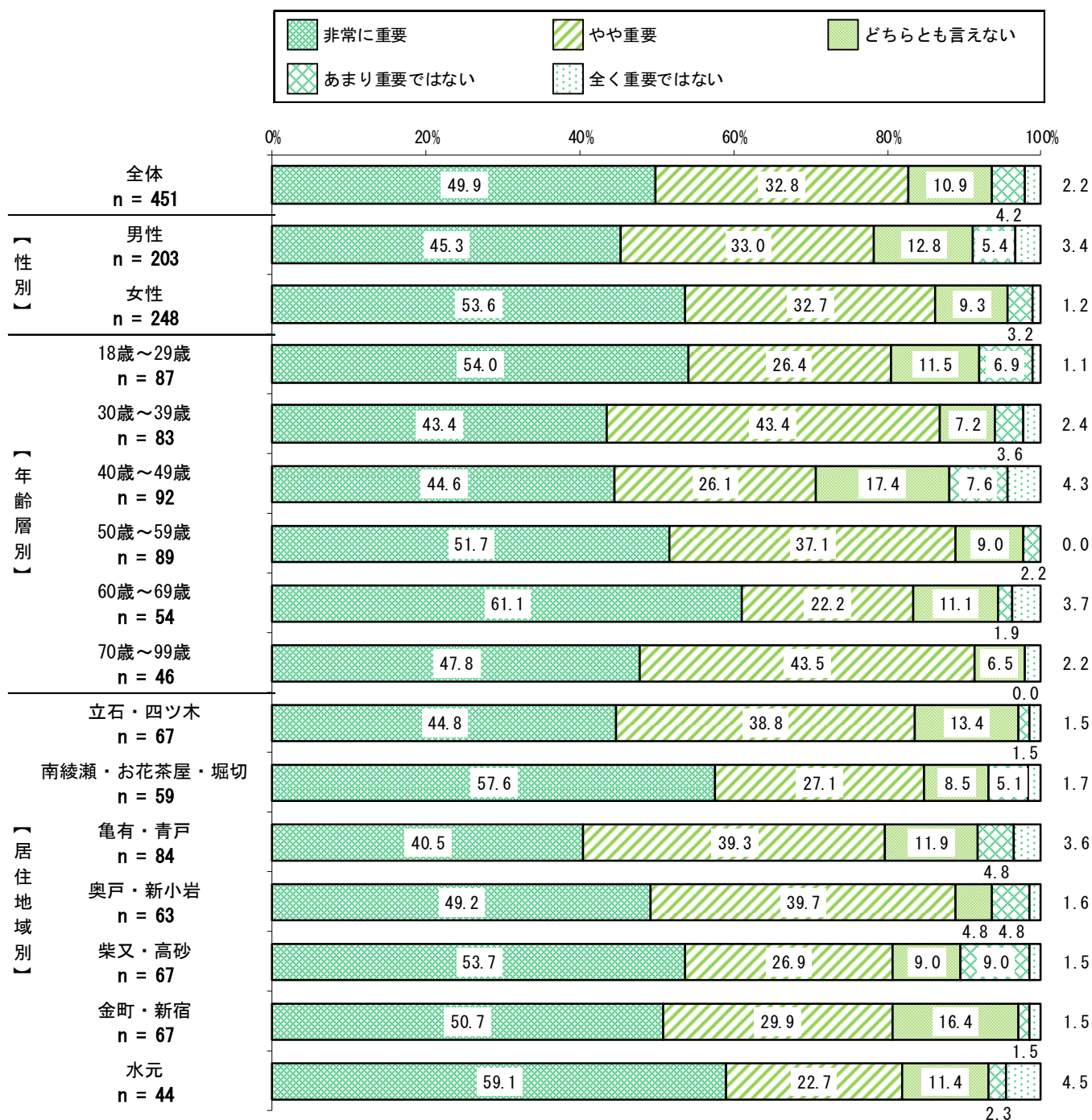
大会運営における SDGs への配慮の重要性【全体】



n = 451

大会運営における SDGs への配慮の重要性は、「非常に重要」（49.9%）と「やや重要」（32.8%）を合わせた『重要と考える』が 82.7%となっている。

大会運営における SDGs への配慮の重要性【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要と考える』は【女性】が 86.3%と、【男性】(78.3%) よりも 8.0 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「非常に重要」は【60 歳～69 歳】が 61.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「非常に重要」は【水元】が 59.1%、【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 57.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

(29) 葛飾区における大規模公道マラソンイベントのコース案

問 29 葛飾区における大規模公道マラソンイベントのコース案について、以下の2通りの案のうち、どちらがより望ましいと思いますか。(1つ選択)

案①：堀切水辺公園をスタート&フィニッシュとし、河川近隣の一部公道も活用するコース（河川敷を長く走る、交通規制の影響が少ないコース）

メリット：交通規制や住民生活への影響を比較的少なくできる。

既存の運営ノウハウを活かすことができる。

デメリット：区の魅力発信や経済効果が限定的になる可能性がある。

コースの景観が単調になる可能性がある。

案②：別の場所スタート、堀切水辺公園フィニッシュとする一部公道をメインのコース（公道を長く走る、交通規制の影響が大きいコース）

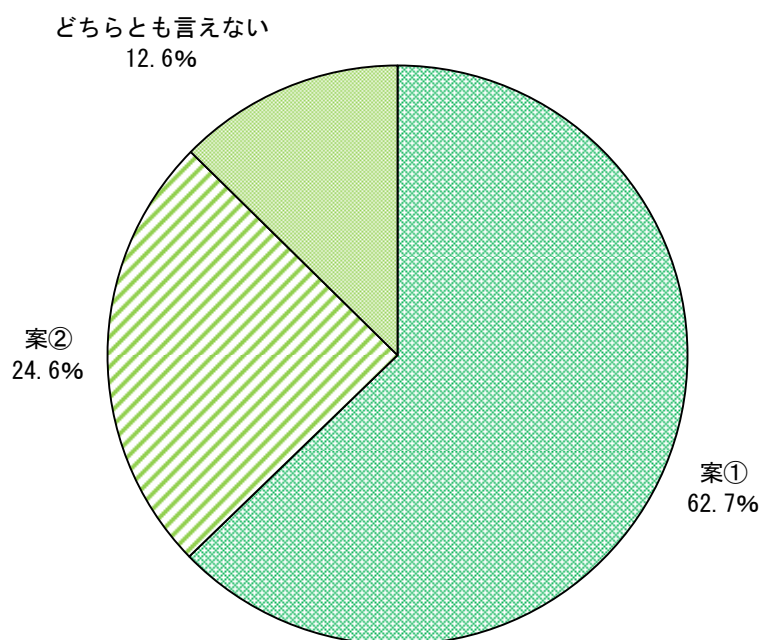
メリット：葛飾区内の名所や景観をPRできる。

大会の魅力と経済効果が向上する。

デメリット：大規模な交通規制が不可避となる。

コスト増大、住民の理解と協力が絶対条件となる。

葛飾区における大規模公道マラソンイベントのコース案【全体】

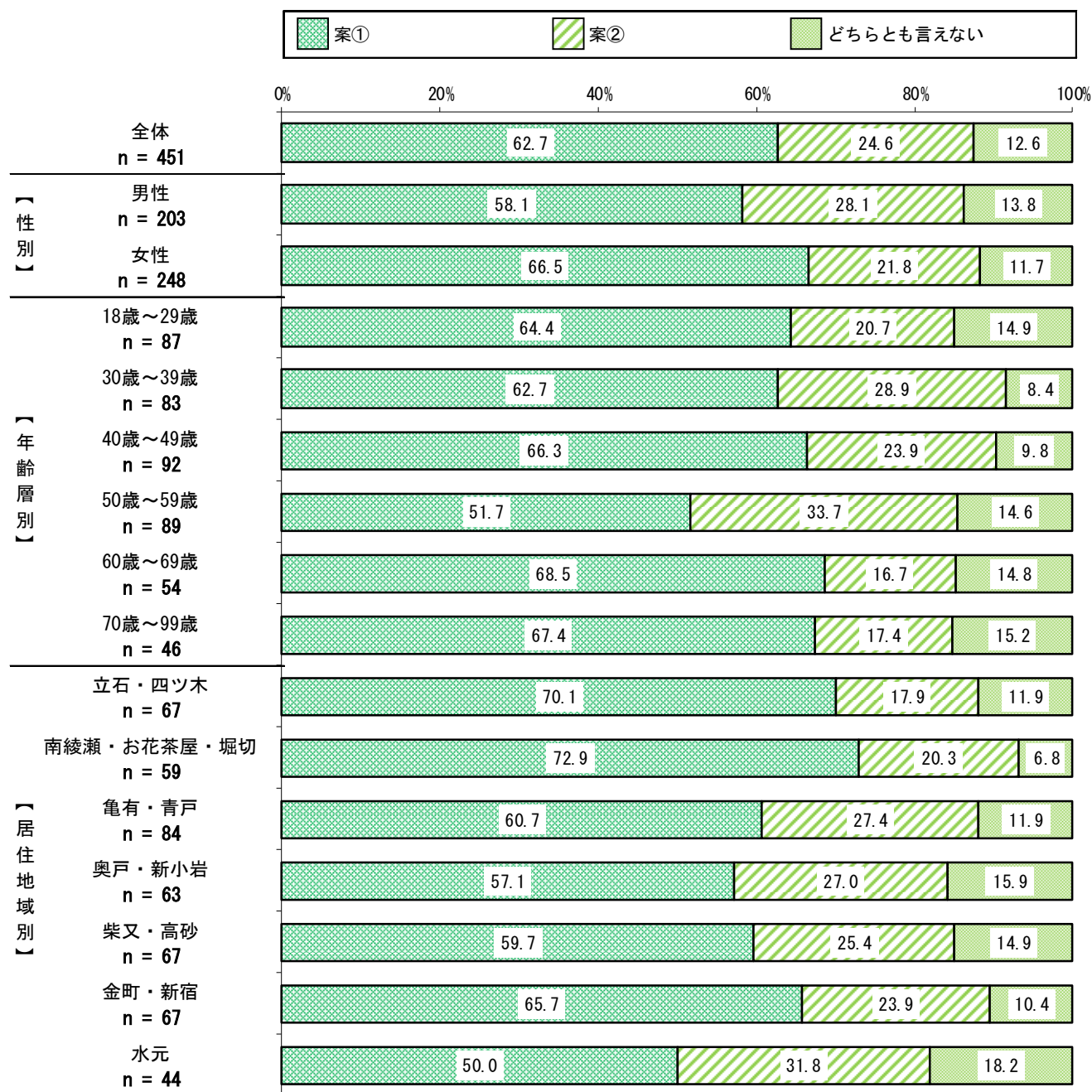


n = 451

葛飾区における大規模公道マラソンイベントのコース案は、「案①」が 62.7%、「案②」が 24.6%、「どちらとも言えない」が 12.6%となっている。

葛飾区における大規模公道マラソンイベントのコース案

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「案①」は【女性】が66.5%と、【男性】(58.1%) よりも8.4ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「案①」は【50歳～59歳】が51.7%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「案①」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が72.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

(30) 葛飾区における大規模公道マラソンイベントのコース案を選んだ理由

問 30 選択した理由を具体的にお聞かせください。

(案①を選んだ方)：案①のどのような点が良いですか？

(案②を選んだ方)：案②のどのような点が良いですか？

(どちらとも言えない方)：その理由をお聞かせください。

【主な意見】

案①：堀切水辺公園をスタート&フィニッシュとし、河川近隣の一部公道も活用するコース

- 新たなコース選択が葛飾区内では難しいと思います。道路状況がわるい、込み合ってる、一通など複雑なため。メインの道路は交通量が多く、規制をかければ途端に渋滞や混乱を引き起こすため
- 区の名所などのアピールや経済効果は少ないが、近年問題になっているイベント開催後のゴミ問題や公道・近隣住民への影響が抑えられる。
- 既存の運営ノウハウが活かせるとのことで、近隣住民の方の負担を少なく開催する方法を考えやすいのかなと思った。区の魅力をアピールするため有名店の出店などがあると楽しいかも？
- 交通規制が少なくて済み、見学者の安全も確保しやすいため。初めての試みであり、コスト増大や区の魅力発信は二の次にするべきと思います。
- 多くの方が負担なく、楽しくエンジョイ出来ることを希望致します。安全安心感を強く感じます。
- 既存のルートでも開催前後に駅周辺などで参加者を多数見かけます。無理に区内コースにしなくてもまずは葛飾区に足を運んでもらえる事が重要だと思います。駅周辺などに名所マップ等を用意することで参加者の興味のある場所に赴いてもらえると思います。
- 開催初期は、比較的デメリットの少ない、堀切公園近辺利用が無難かと思われます。知名度が上がるにつれて、柴又帝釈天や両津像ツアーなど、コースを変えていくと区民からの関心を得られるかもしれません。
- 無理に道路を規制してやらなくもいいと思ったから。楽しみたい人、興味ある人が気兼ねなく参加できるほうがいいと思う。
- PR も大切だが、まず1番に交通規制や住民の生活への影響などが重視させるべきだと思う
- 河川敷は交通規制が少なく、ランナー、地域住民に負担が少ない。河川敷を走ることで、ランナーに爽快感を持ってもらい、自然と一体となってもらう。ランナーに非日常を体験してもらおう。
- 周辺への影響が比較的少ないことにより、マラソンイベントにネガティブな意見が上がる確率が低い。特に大きな問題なく開催できた際は今後も開催しやすくなるのではないかなと思う。
- 交通規制が少ないのは大切だと思う。江戸川の河川敷も使ってほしい。
- 交通規制が大規模になるとPRどころかマイナスのイメージ拡散したり、事故が増えたりするかもしれないから。
- 大会に参加しない区民のことを考慮すると、影響は最小限に抑えて開催するのが望ましいから

- 河川敷をコースとする事を魅力として開催が可能だと考えるから 河川敷を利用した大会をする事で河川敷でイベントを開く情報発信する事が魅力発信に繋がると考えるから
- 規模の大きな大会をいきなり開催すれば、慣れてない区民の方々は多分戸惑いを感じるだろう 大会は年々 徐々に大きくしていけばいい、先ずはお試しの大会からスタートするのが 賢い選択 だろうと感じる。
- 公道を避けることにより、 葛飾区以外の方から都中心部への移動への影響削減。
- 一番は交通規制や住民への影響が少ないことが良いです。 何かイベントを行うことは街を盛り上げる機会としてとても良いことですが、イベントの影響によって交通規制などいつも通りの環境がなくなれば住民のストレスが増えれば今後イベントを作り上げる時に協力したい気持ちが減る気がします。 また、葛飾区は落ち着きのある住みやすい地域だと感じています。公園などを自然を映し出すのは葛飾区の魅力を提示できるいい機会だと思います。
- 交通規制と住民に対して少ない影響で出来る事が良い 今後はイベントが定着したら 次のステップとして街並みや景観を見せられるようになってほしい。
- 既存の運営コースを中心に構成することで、イベントの予算を他のアピールに使えるから
- 参加者含め外部の人間にイベントに来ていただくことが経済効果をもたらすと思うので、公道を追加し負担増しなくても良いと思う。
- 公道よりも河川敷を走る方がランナーにとっても安全なコースであり、交通規制も少ないのが良いと思う。
- 河川敷は道幅も広く道もまっすぐでランナーにとっても走りやすいと思いますし、交通に対する制限も最小限で済むと思います。河川敷の付近の道は交通量が多いので、通行制限をすると大きな影響があると懸念されます。
- マラソン大会は、区民にもまだ浸透していないと思うので、コストや交通規制が少ないことから良い。
- 物流や一般車両への影響は極力小さくしてほしい
- 公道を走っても両側に応援者がいたら周りはよく見えないだろうし、走りながら魅力感じるほど走るのは楽では無い気がする。参加者にクーポンや引換券を渡して大会終了後に参加者が足を伸ばして葛飾区の魅力を感じてもらえばいい気がします
- 通常通り働いている人にとって、大規模な交通規制は迷惑だと思う
- 交通規制が少なく、沿道を走るよりも暑さ対策になりそう。 沿道も活用するのであれば、地域発信も十分では。
- 交通規制や生活環境の影響が少ないのが一番良い 区の魅力発信は物販だけではなくて葛飾出身著名人などゆかりの人達がアピール活動やイベントなど参加する事で魅力発信になるのではないかと 葛飾にはキャプテン翼やこち亀やフーテンの寅さん、モンチッチやリカちゃんなどの人気のキャラクターがいる事を利用して参加記念品として参加した人へプレミアムグッズを作るのはいかがでしょうか
- 交通規制の影響が小さい。 空気が悪い公道よりも、河川敷のほうが空気が良いのではないかと考えるため
- 近くにくれば、その他の場所にも訪れると思うから。SNS で、マラソン以外の情報も流せばいいのではないかと。
- 区民への影響、運営側、参加者の負担など、最も少なく抑えられると思えるから。
- まずはデメリットの規模が小さいものから取り組み、次回に活かしていけると良いのでは

ないでしょうか？ PDCA を回して改善しながら規模の拡大をしていけると、地域住民の協力も得やすいかと思います。

- 清掃、交通整理、等の人員確保や緊急時対応に関する経費削減。 荒川土手の宣伝効果。
- ランナーにとって河川敷を長く走る方が気持ち良く楽しめると思います。 葛飾区の名所や景観を PR 紹介することよりもランナーや応援する人が楽しめることを優先させた方が良いでしょう。
- 現状は経済効果よりもコストや影響を抑え、区民の理解を得られる方がいいと判断した
- 主要な国道もあり、災害時には規制がかかるので交通規制がない方がいい
- コースは単調になりますが ランナー、観戦者、大会運営メンバーも対応がわかりやすく、安全が確保されているように思えるから。

案②：別の場所スタート、堀切水辺公園フィニッシュとする一部公道をメインのコース

- 比較的全国レベルで知られている、名所、観光地(亀有、柴又)が水元含め隣接するような立地にあるので、そこを通して走ることができるのは、東京マラソンに雰囲気似た大会みたいで、アピールもしやすいと思いました。(SMALL東京マラソンIN葛飾みたいな)
- せっかく開催するのであれば大々的にやっていただきたい。 葛飾区のイメージが少しでも良くなるきっかけにしてほしい。
- 沿道で応援がしやすい 街路樹や建物の陰といった日差しを避けられるゾーンがあり、公環境への意識が高まることが期待できる
- 河川敷だと景色があまり変わらないので飽きてしまいそう。 区内の名所を巡るコースであればマラソンに初めて参加する方も楽しみながら走ることができ応援する側も楽しめる。
- 葛飾の名所を通りながら葛飾の魅力をアピールできる。そのことによって、協賛が増えて葛飾の経済効果がうまれる。葛飾区に商売を考える人が増えて街がより活性化することができそうだから。
- 交通規制等、大変な取り組みだとは思いますが、沿道で応援する方にも葛飾区には、こんな店が有る、こんな観光名所があると認識してもらい葛飾区の活性化に繋げて欲しい。
- 葛飾区の観光資源をアピールできるのは魅力的だと感じました。大会運営に住民ボランティアなどを受け入れて下されば、地域の一体感もますのではないかと思います。
- ずっと同じ場所走ってるのはランナー側からしても飽きるし、公道でやった方が観客も箱根マラソンみたいな感じでワクワクだし盛り上がると思う
- 公道を活用し盛んに盛り上げる事で地域住民のコミュニティとしての繋がりや地元愛が生まれそうな気がするから。また、近隣や遠方から観にくる人の誘致によって葛飾区の PR に繋がると思うから。
- 葛飾区の名所旧跡を通るコースにすれば PR につながるし、沿道の店舗の売上に貢献できる可能性がある。
- 大会を開催するにあたり、他との差別化がなければ、わざわざ葛飾区以外の区民や県民が走りに来てくれることは難しいと思います。

どちらとも言えない

- 同じアスファルトを走るのであれば、交通規制がない方が低コストで開催できると考える。ランナーにとっては目標値がある公道の方がペース配分しやすい成績はよくなると考えます。対象者と目的次第ではないかと思います。
- 堀切エリア開催で定着しているのなら 無理に変えなくてもとは 思う 道路混雑の状況などは 各自治体で対策をとっていると思うので 視察に行ってみてはどうかなと感じる
- ①は、堀切地域が観光スポットなどあまりなく、魅力発信にならないと感じる。②は大々的な交通規制を伴うので、どちらとも言えない。
- 具体的なコースを提示されないと判断できない。板橋シティマラソンのフルや最初の頃の東京マラソン、周辺自治体のハーフにも参加したことがあるが、確かに河川敷だけのコースでは飽きてしまい参加意欲が上がらない事は理解できる。しかしながら、他の自治体の成功例があるからと言って、具体的なコース、運営を提示せずに安易に公道コースの長短二つを対象とした調査すること自体がナンセンス、調査結果を恣意的に利用される事を危惧する。
- 土日祝にやるなら良いかもしれない。平日はやらないほうが良い
- 河川敷など規制がしやすい方が住民としてはありがたいが、区外の参加者が増えなさそう。帝釈天の参道や商店街などをコースにする方が区外の参加者は増えそうだが、周囲の規制が増えると警備員ごとに認識が異なったり臨機応変な対応が困難になったりする可能性があるそう。

(31) かつしかふれあいRUNフェスタのエントリー費用感

問 31 現在のかつしかふれあいRUNフェスタのエントリー費用はどう思いますか。
(1つ選択)

参考：第11回かつしかふれあいRUNフェスタ 2025 エントリー費用

チャレンジRUN ハーフ：5,500円 10km：4,500円

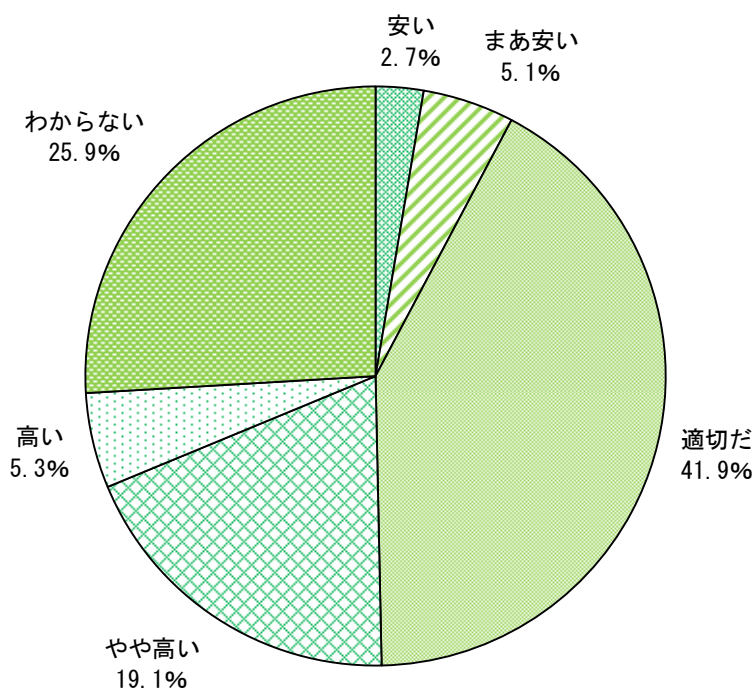
ふれあい健康RUN 5km：2,500円 3km：2,000円

1km：1,000円

ファミリーRUN 2km：1,500円/人

※区民の方は、先行エントリーで全部門500円割引になります。

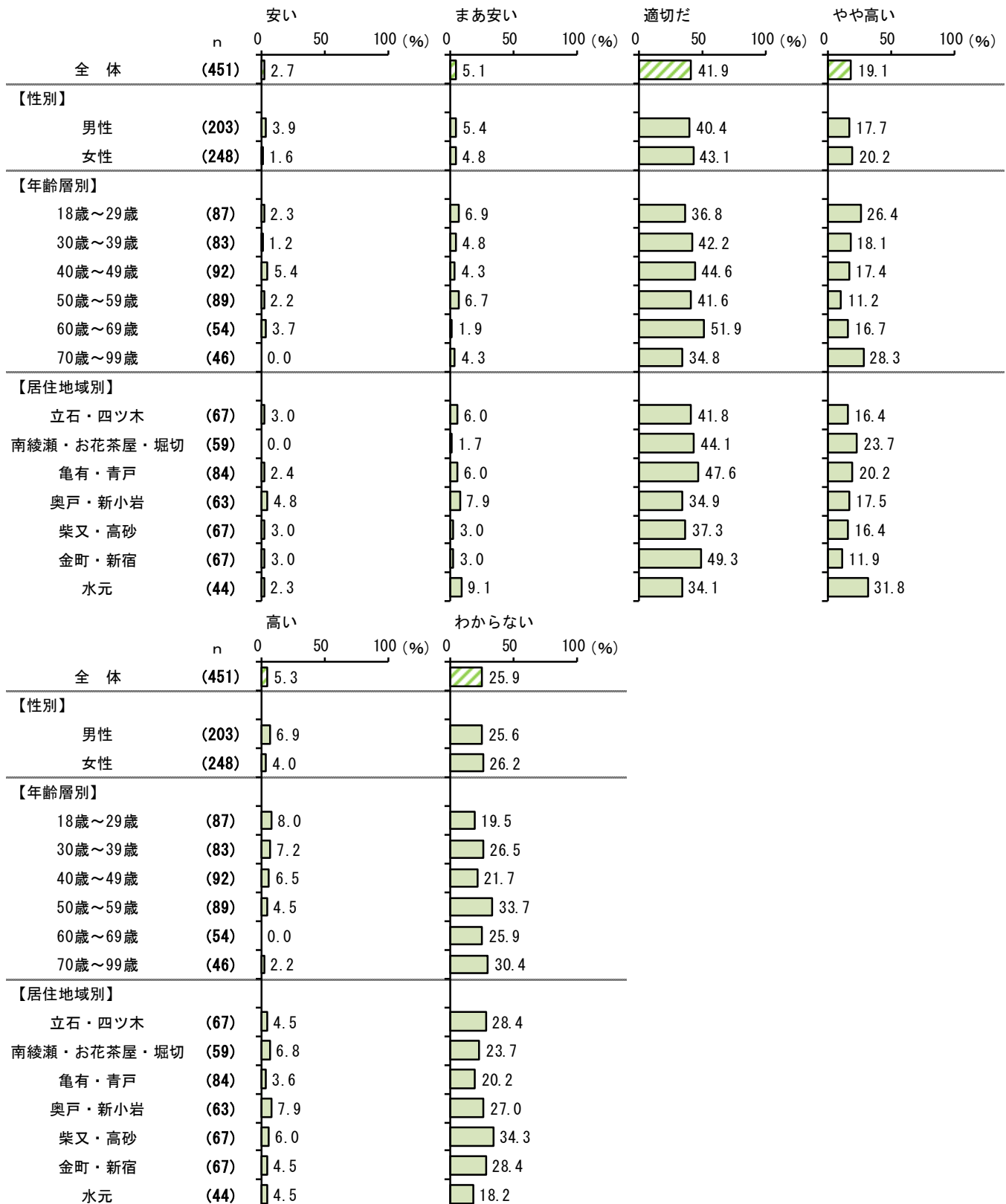
かつしかふれあいRUNフェスタのエントリー費用感【全体】



n = 451

かつしかふれあいRUNフェスタのエントリー費用感は、「適切だ」が41.9%、「高い」(5.3%)と「やや高い」(19.1%)を合わせた『高いと思う』が24.4%となっている。

かつしかふれあいRUNフェスタのエントリー費用感
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別にみると、「適切だ」は【60歳～69歳】が51.9%。「高い」と「やや高い」を合わせた『高いと思う』は【18歳～29歳】が34.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「高い」と「やや高い」を合わせた『高いと思う』は【水元】が36.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

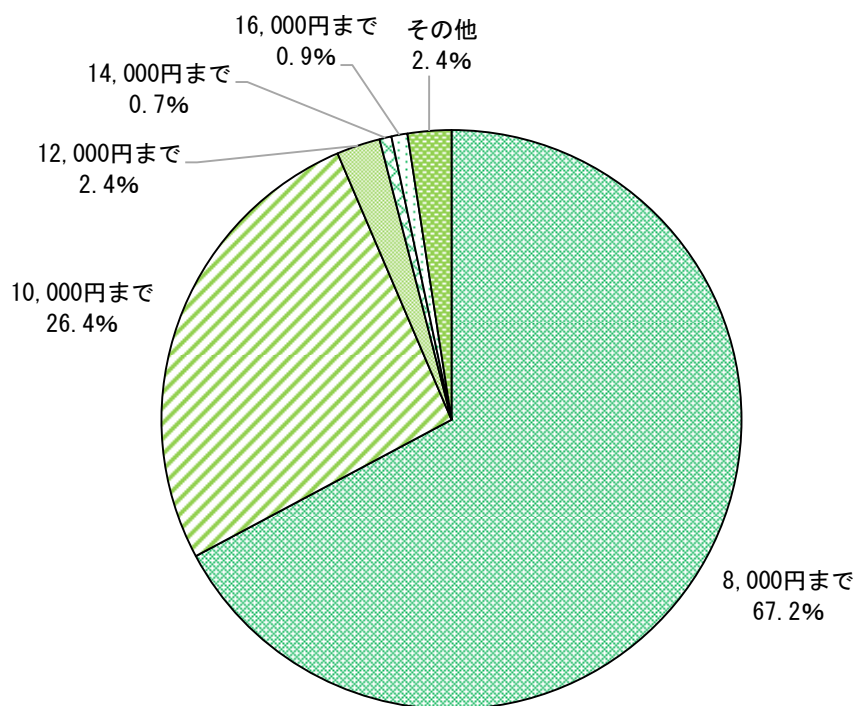
(32) かつしかふれあいRUNフェスタのハーフマラソンのエントリー費用の上限

問 32 かつしかふれあいRUNフェスタのハーフマラソン（21.0975km）を、一部公道を使用したコースで開催する場合に、参加したいと思えるエントリー費用は、どれくらいが上限ですか。（1つ選択）

【参考】 近隣のマラソン大会エントリー費用

東京レガシーハーフマラソン	一般 13,200 円、学生 6,600 円
新宿シティーハーフマラソン	一般 11,000 円
MINATOシティーハーフマラソン	一般 10,000 円
練馬こぶしハーフマラソン	一般 7,700 円、高校生 3,300 円
東京ニューイヤーハーフマラソン	一般 8,000 円
湘南国際マラソン（ハーフ）	一般 8,000 円
所沢シティーハーフマラソン	一般 5,500 円
東京マラソン（フルマラソン）	一般 16,500 円（令和7年度 19,500 円）

かつしかふれあいRUNフェスタのハーフマラソンのエントリー費用の上限【全体】

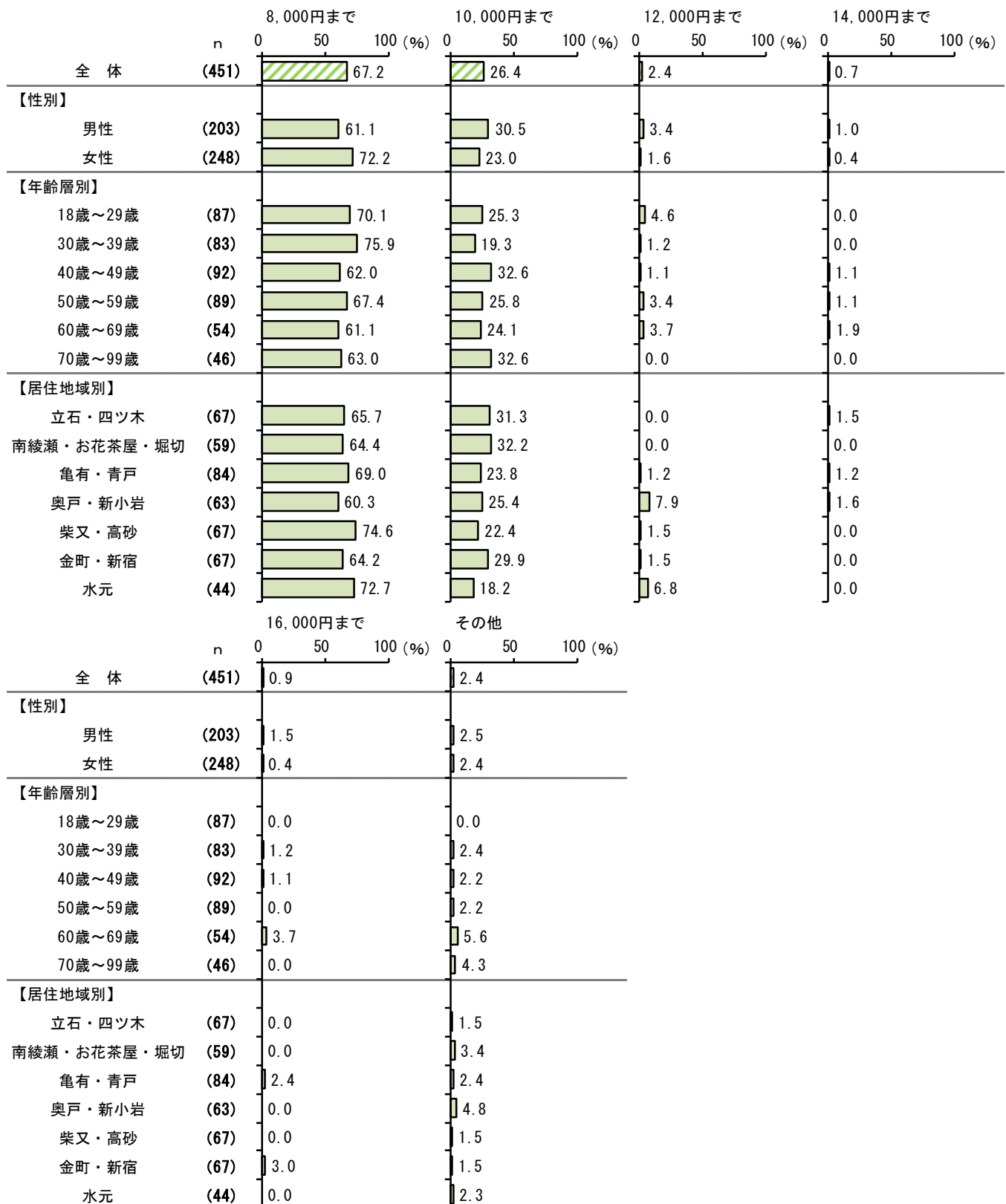


n = 451

かつしかふれあいRUNフェスタのハーフマラソンのエントリー費用の上限は、「8,000円まで」が67.2%となっている。

「その他」の内容としては、「無料」などがあった。

かつしかふれあいRUNフェスタのハーフマラソンのエントリー費用の上限
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「8,000円まで」は【女性】が72.2%と、【男性】（61.1%）よりも11.1ポイント高くなっている。

第3章 調査結果（多文化共生について）

テーマ3 多文化共生について

葛飾区では「人権・平和・多様性の尊重」を理念の一つとして掲げた「葛飾区基本構想」を令和3年にまとめ、国や東京都と連携しながら、外国人区民との共生社会実現に向けて取り組んでおります。多文化共生の更なる促進を目指すに当たり、区内の日本人及び外国人区民の皆さまの貴重なご意見をお伺いするため、本調査を実施いたします。

現在、区ではさまざまな多文化理解講座や国際交流イベントを実施しています。

令和6年度には、多文化理解講座として、「エチオピアコーヒー文化講座」、日本文化体験として「和菓子」作り体験などを実施しました。毎年11月には、国際交流イベントとして「国際交流まつり」を開催し、さまざまな国の文化を通じて交流を楽しんでいただいています。

また、「やさしい日本語講座」の実施や、出前講座などを通じて、「やさしい日本語」の普及にも努めています。

※ 「やさしい日本語」とは、「普段私たちが使っている日本語を、わかりやすい簡単な言葉に言い換えたもの」です。

「やさしい日本語」の始まりは、1995年の阪神・淡路大震災でした。震災が発生した時、英語だけでは対応できない外国人が大勢いたことで混乱する中、「日本語をわかりやすく言い換えれば、かなり伝わる」ということが分かりました。こうして「やさしい日本語」は、日本で広まりました。

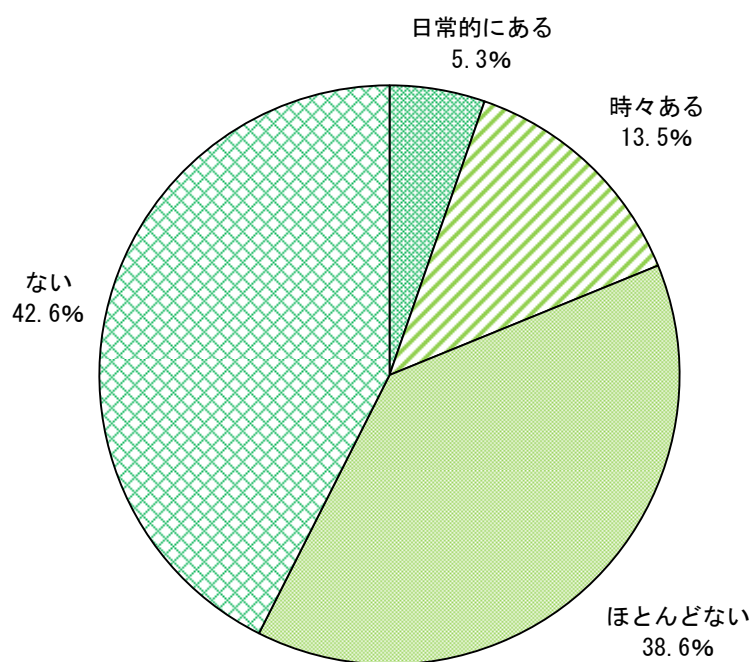
また、「やさしい日本語」は、外国人だけではなく、高齢者や子どもなどにも分かりやすい言葉として、注目を集めています。

※ 区民モニターにおける「外国人区民」とは、「日本以外の国で育ち、日本語を母語としない人」です。

(33) 地域の外国人区民との交流はあるか

問 33 地域の外国人区民（回答者が外国人の場合は日本人）との交流はありますか。
（1つ選択）

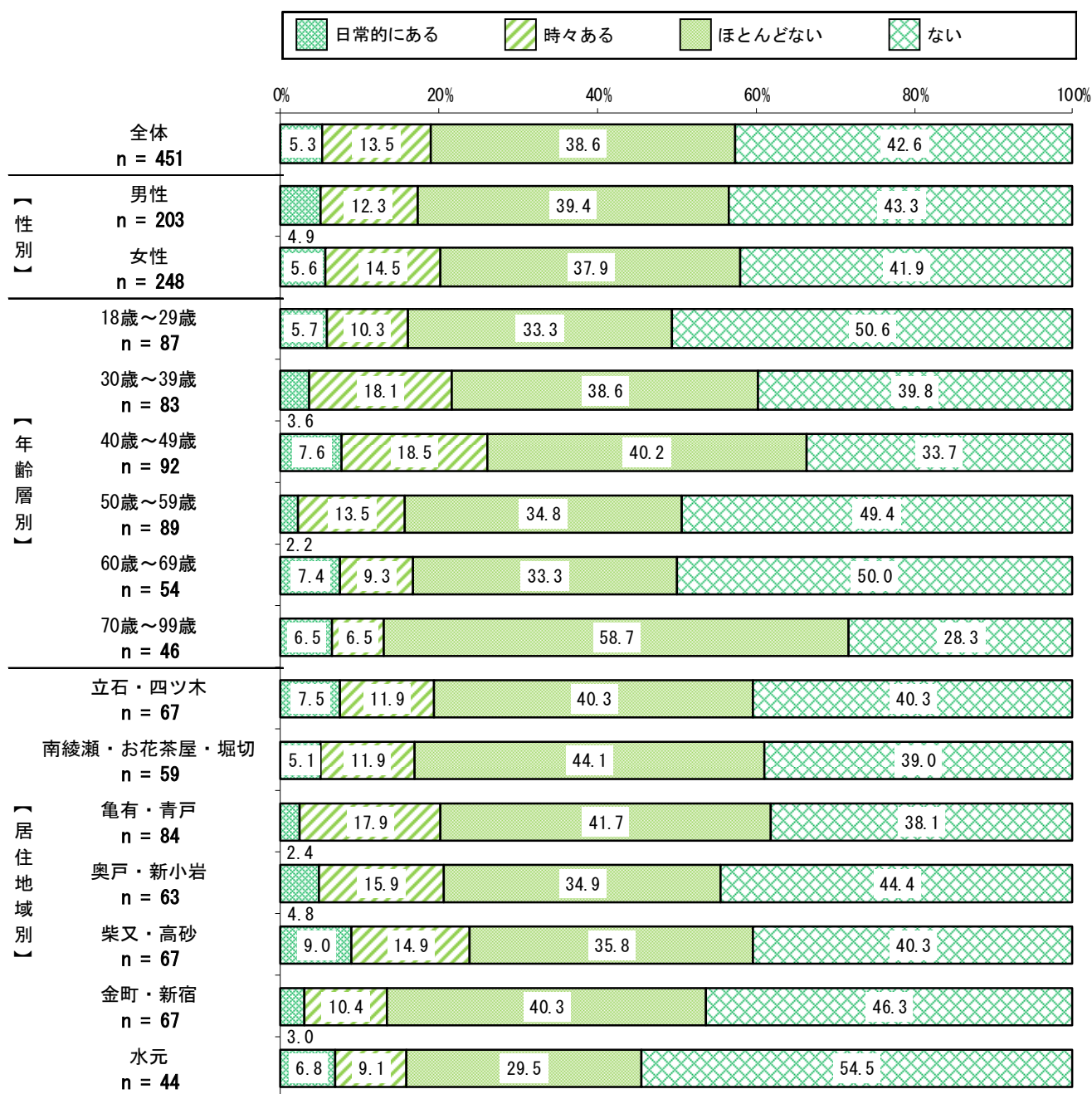
地域の外国人区民との交流はあるか【全体】



n = 451

地域の外国人区民との交流はあるか、「ない」（42.6%）と「ほとんどない」（38.6%）を合わせた『交流なし』が81.2%となっている。

地域の外国人区民との交流はあるか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

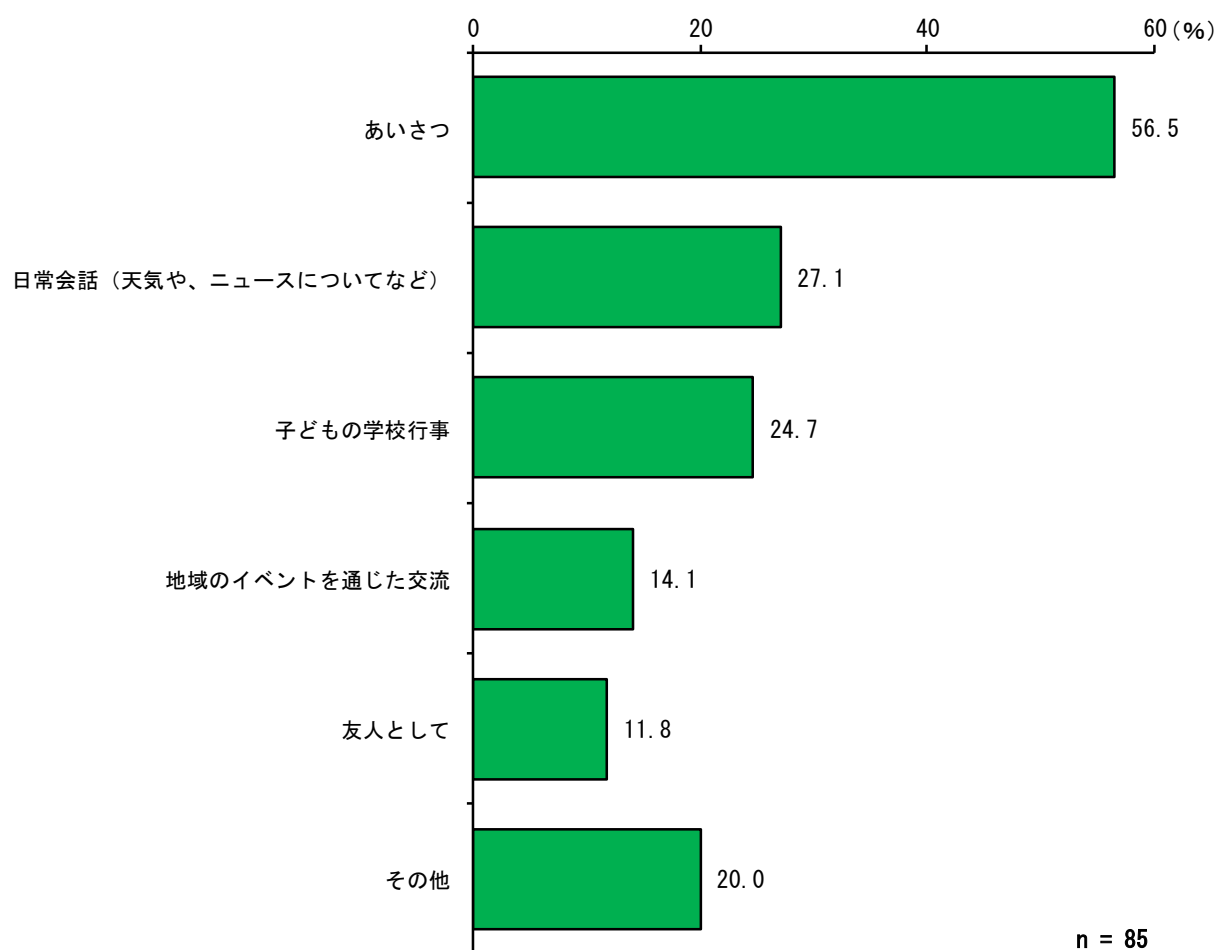
年齢層別にみると、「ほとんどない」は【70 歳～99 歳】が 58.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「ない」は【水元】が 54.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

(34) 地域の外国人区民との交流

問 34 問 33 で「日常的にある」「時々ある」と答えた方に伺います。
どのような交流をしていますか。(複数選択可)

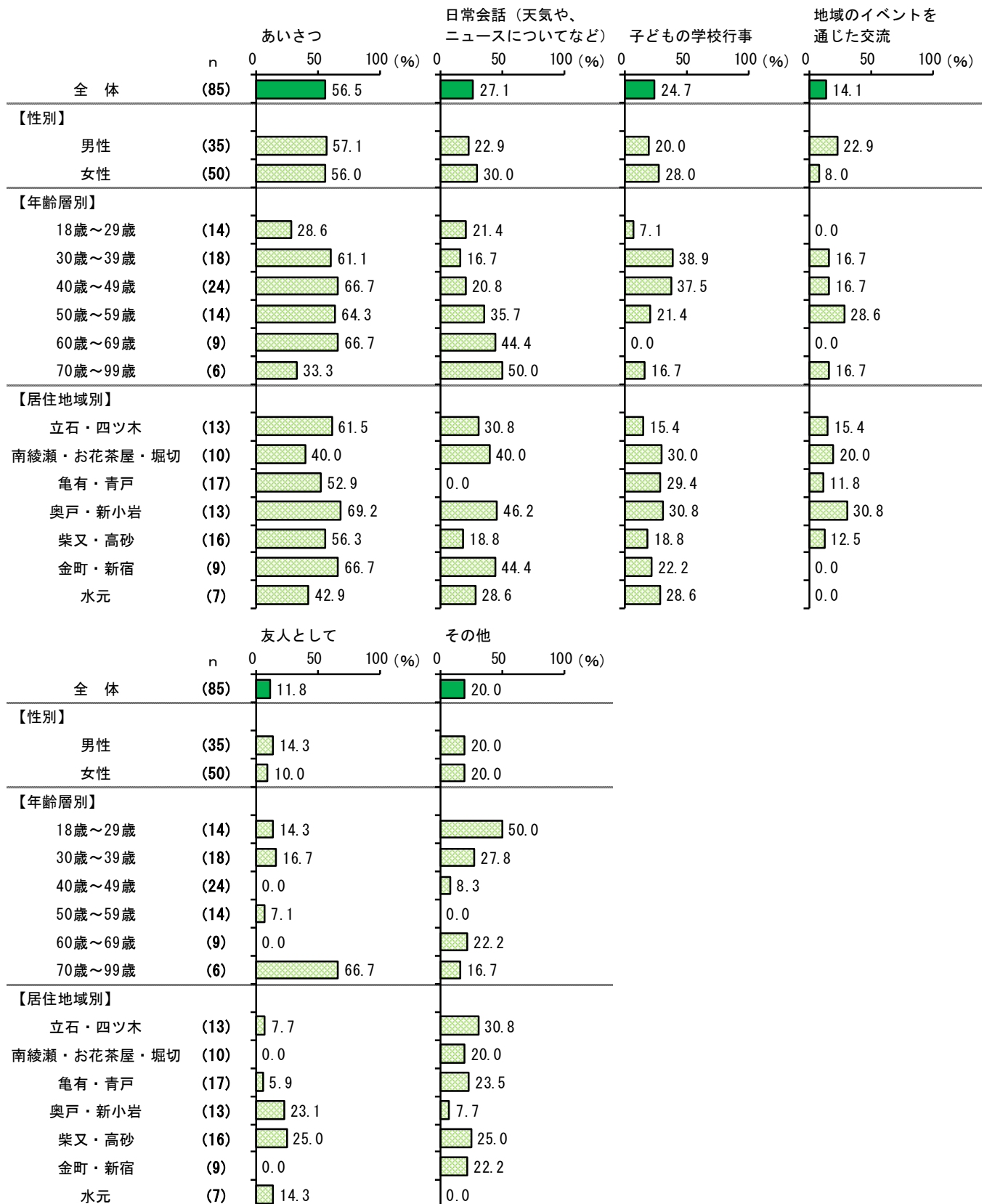
地域の外国人区民との交流【全体】



地域の外国人区民との交流は、「あいさつ」が 56.5% で最も高く、次いで「日常会話 (天気や、ニュースについてなど)」が 27.1%、「子どもの学校行事」が 24.7% となっている。

「その他」の内容としては、「職場の利用者」「仕事」「よく行く飲み屋の常連」「店員の方」「職場の同僚」などがあつた。

地域の外国人区民との交流【全体、性別、年齢層別、居住地域別】

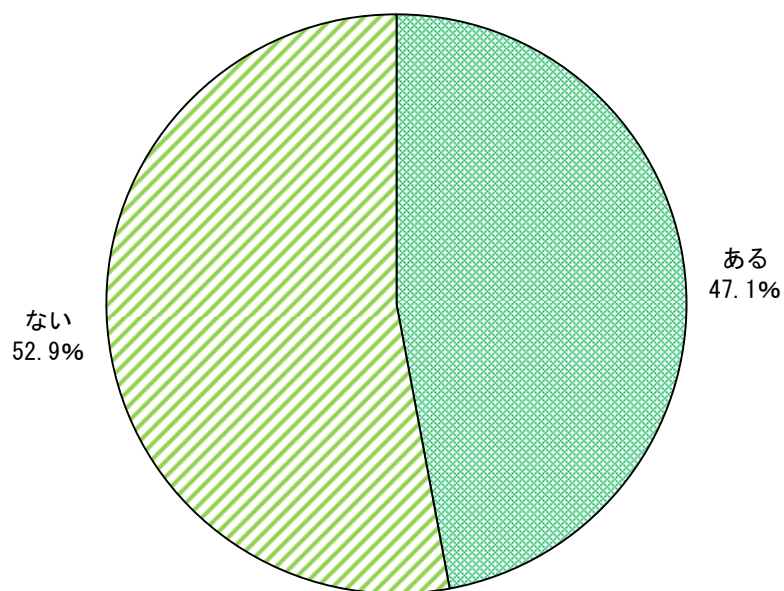


性別でみると、「地域のイベントを通じた交流」は【男性】が 22.9%と、【女性】（8.0%）よりも 14.9 ポイント高くなっている。

(35) 地域の外国人区民との交流する中で困ったことはあるか

問 35 問 33 で「日常的にある」「時々ある」と答えた方に伺います。
交流する中で、困ったことはありますか。(1つ選択)

地域の外国人区民との交流する中で困ったことはあるか【全体】

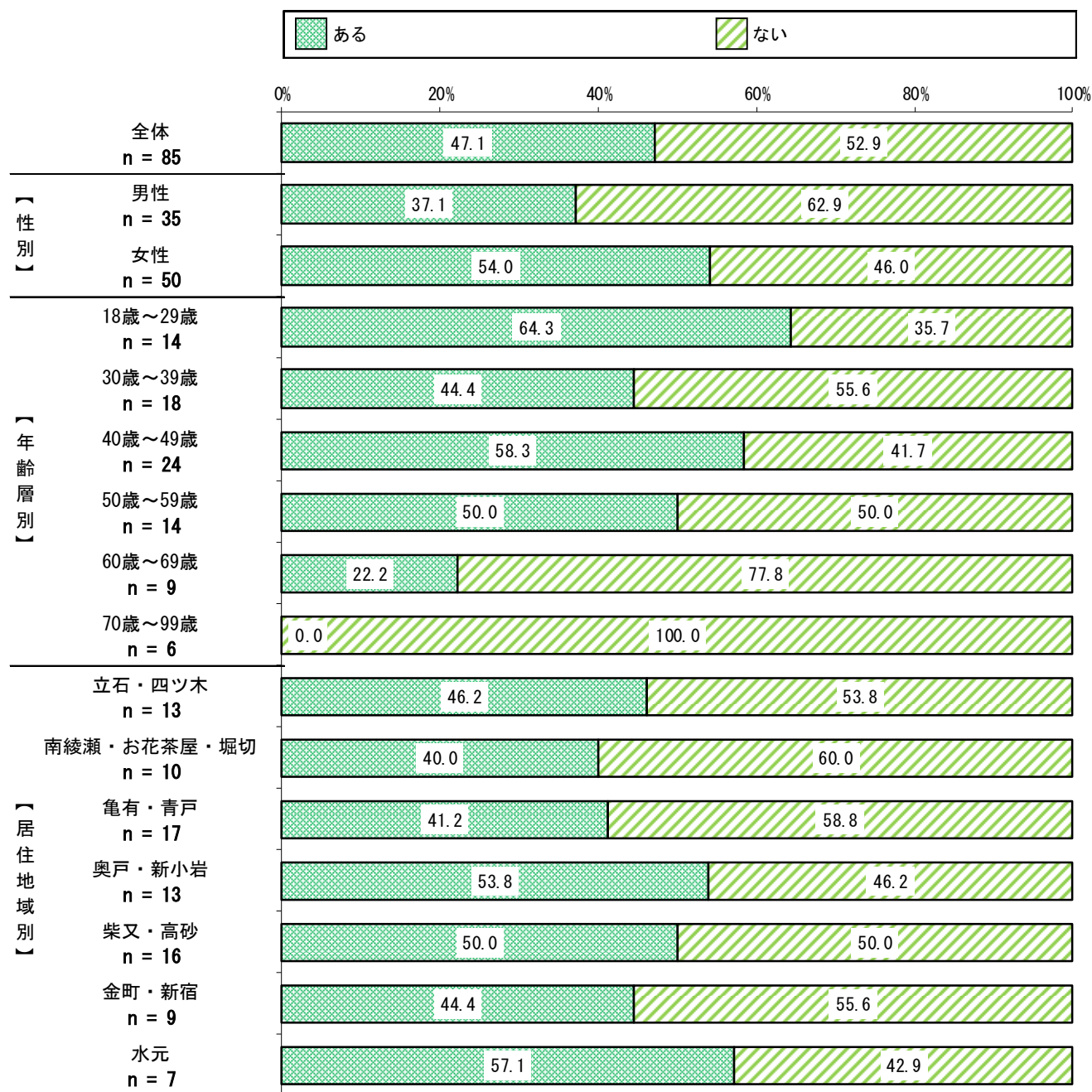


n = 85

地域の外国人区民との交流する中で困ったことはあるか、「ある」が 47.1%、「ない」が 52.9%となっている。

地域の外国人区民との交流する中で困ったことはあるか

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



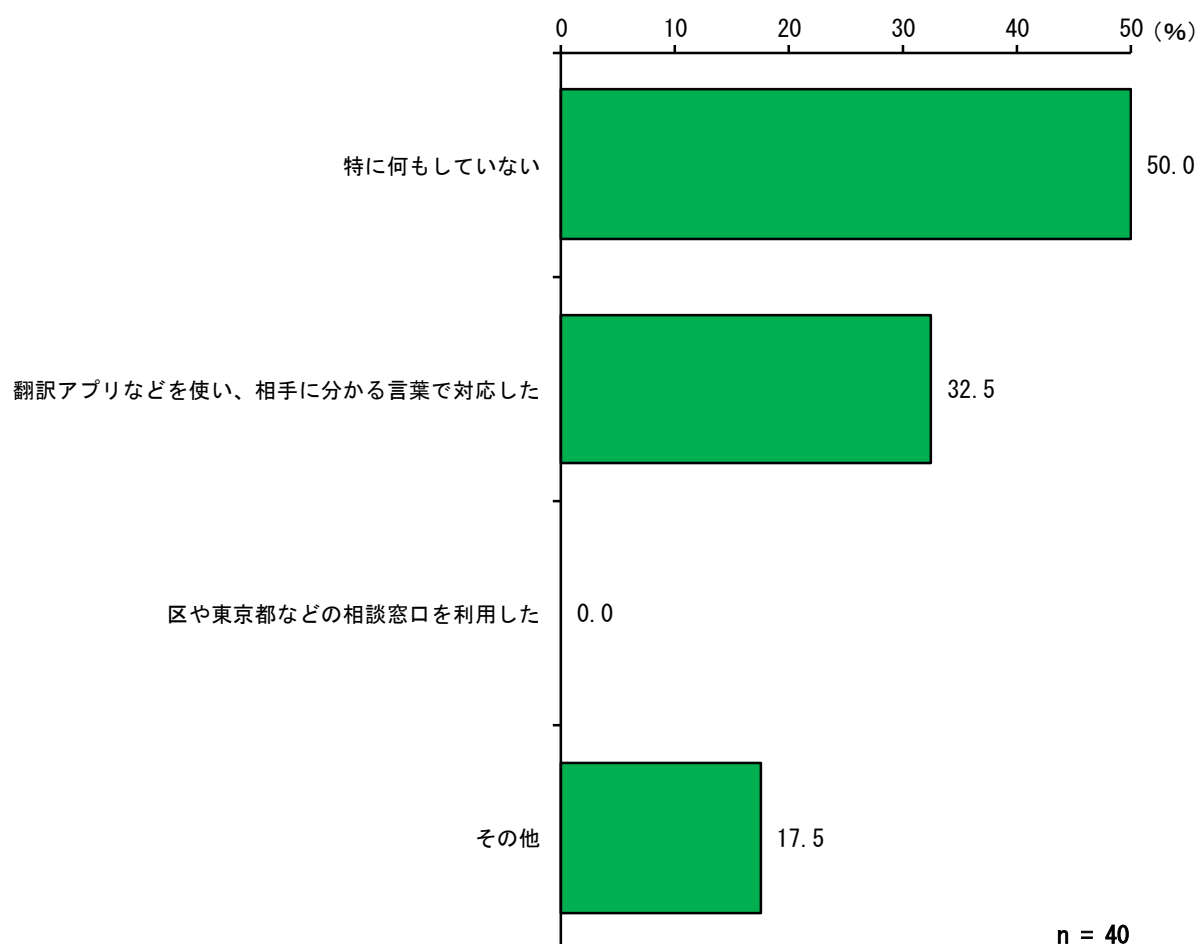
性別でみると、「ある」は【女性】が 54.0%と、【男性】(37.1%) よりも 16.9 ポイント高くなっている。

(36) 地域の外国人区民との交流する中で困ったときの対応

問 36 問 35 で「ある」と答えた方に伺います。

困ったときに、どのように対応しましたか。(複数選択可)

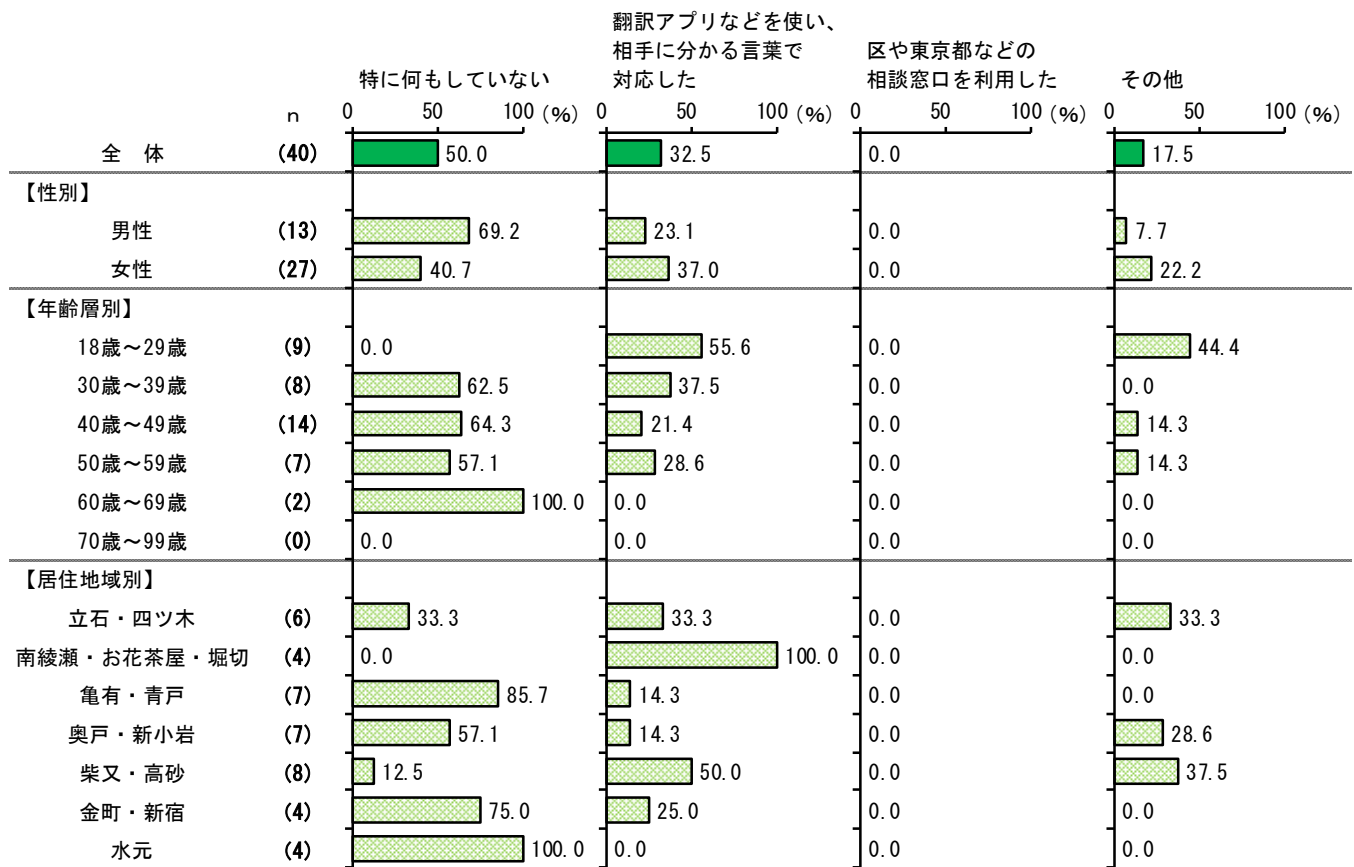
地域の外国人区民との交流する中で困ったときの対応【全体】



地域の外国人区民との交流する中で困ったときの対応は、「特に何もしていない」が 50.0%、「翻訳アプリなどを使い、相手に分かる言葉で対応した」が 32.5%となっている。

「その他」の内容としては、「学校の担任に話した」「ジェスチャー」などがあつた。

地域の外国人区民との交流する中で困ったときの対応
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



年齢別にみると、「特に何もしていない」は【男性】が69.2%と、【女性】(40.7%)よりも28.5ポイント高くなっている。一方、「翻訳アプリなどを使い、相手に分かる言葉で対応した」は【女性】が37.0%と、【男性】(23.1%)よりも13.9ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「翻訳アプリなどを使い、相手に分かる言葉で対応した」は【18歳～29歳】が55.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

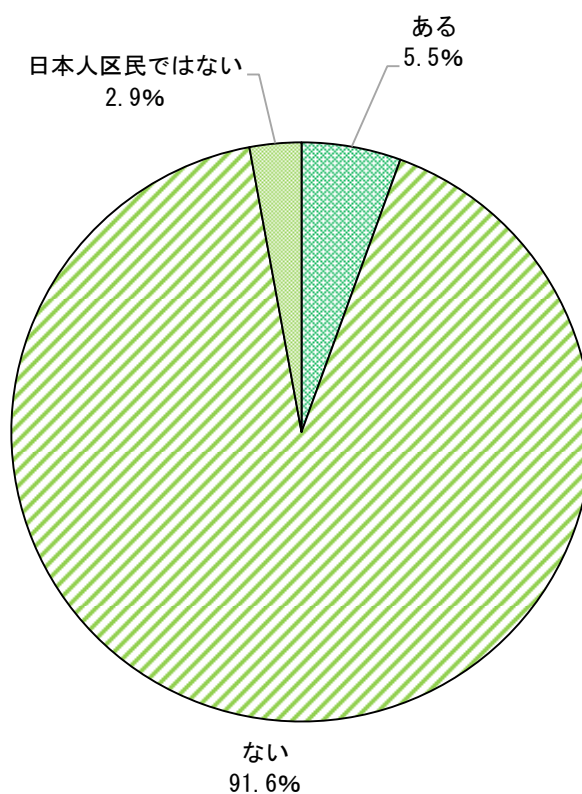
居住地域別にみると、「特に何もしていない」は【柴又・高砂】が12.5%と、他の区分に比べ低くなっている。

(37) 外国人区民に生活上で何か相談されたことはあるか

(日本人区民の方への質問)

問 37 外国人区民に生活上で何か相談されたことはありますか。外国人区民の方は、「日本人区民ではない」を選択してください。(1つ選択)

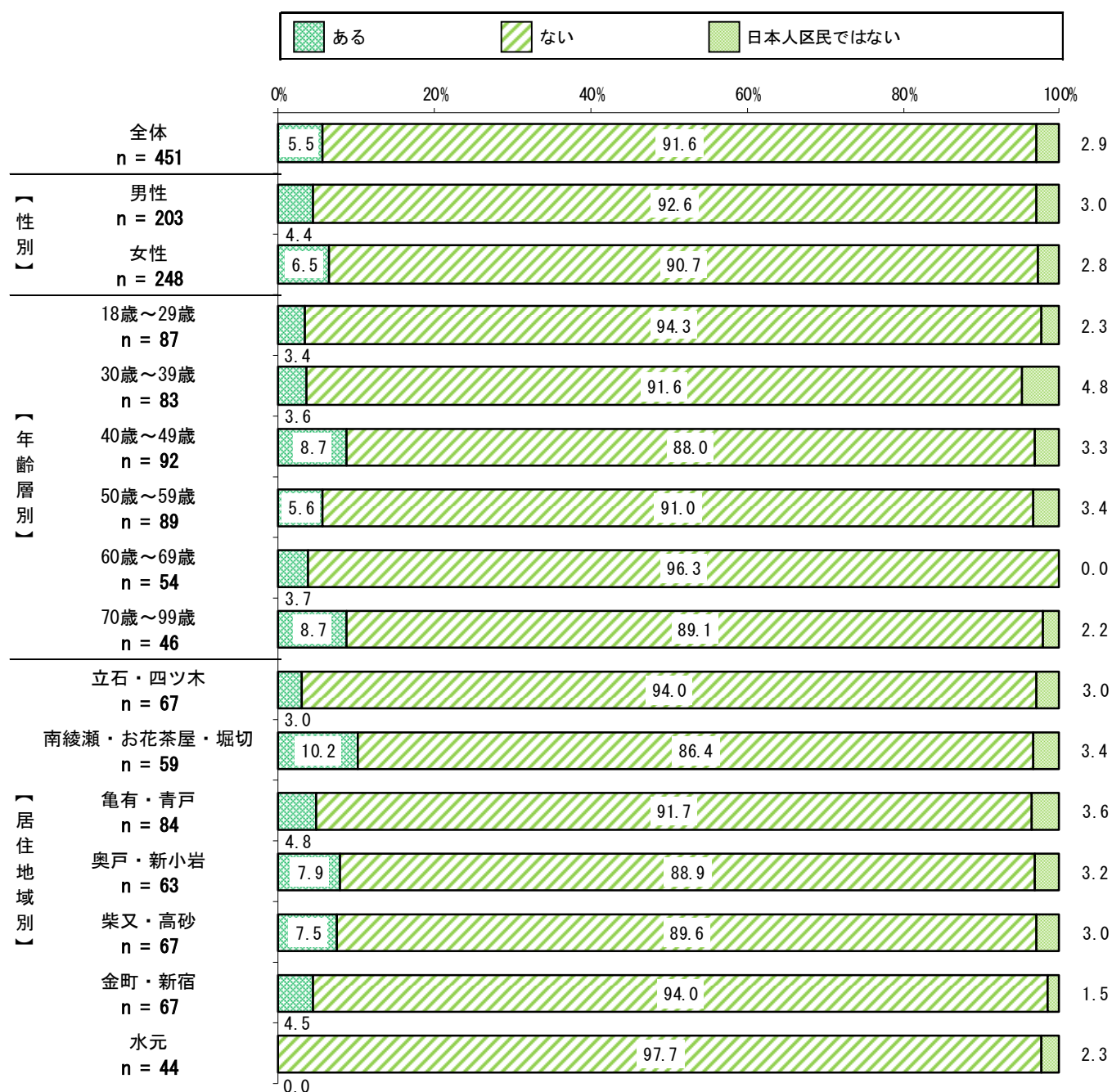
外国人区民に生活上で何か相談されたことはあるか【全体】



n = 451

外国人区民に生活上で何か相談されたことはあるか、「ない」が 91.6%となっている。

外国人区民に生活上で何か相談されたことはあるか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】

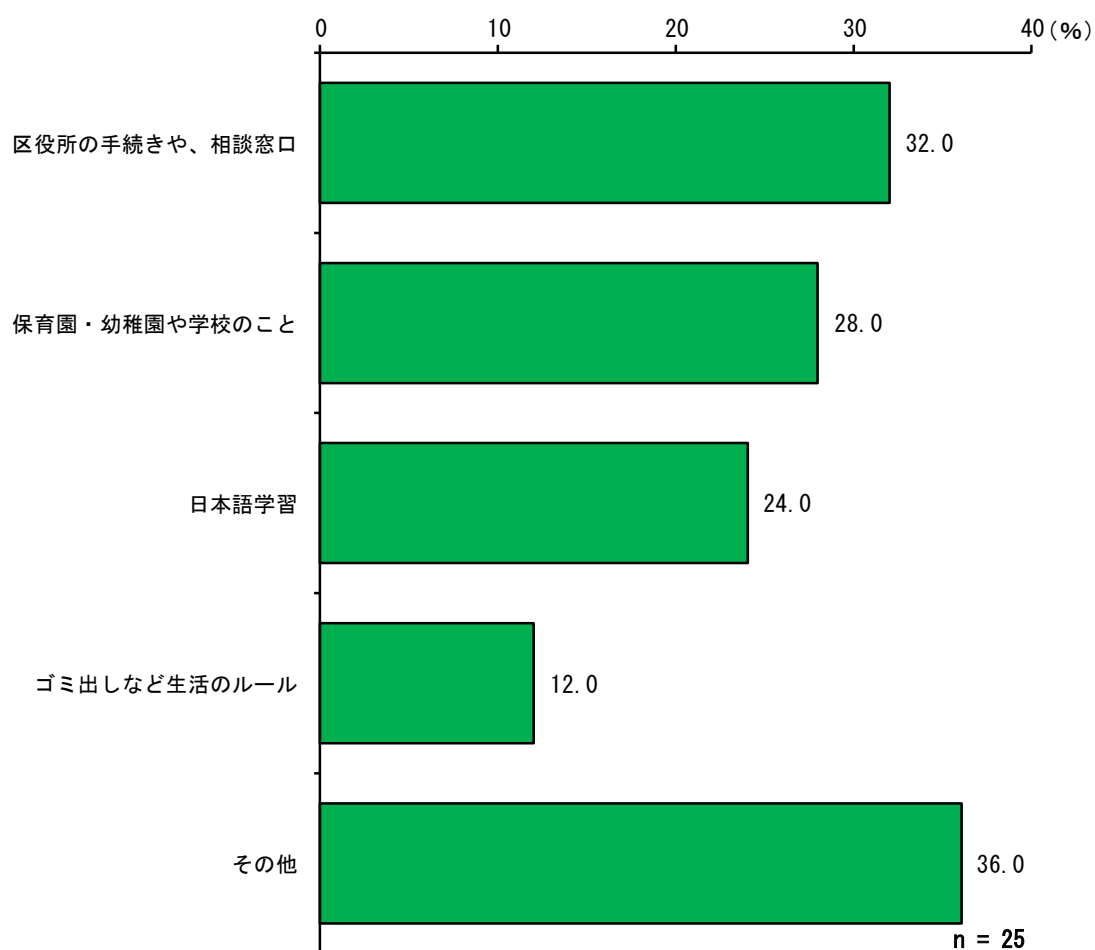


性別、年齢層、居住地域による大きな差はみられない。

(38) 外国人区民に生活上で相談された内容

問 38 問 37 で「ある」と答えた方に伺います。
どのようなことを相談されましたか。(複数選択可)

外国人区民に生活上で相談された内容【全体】

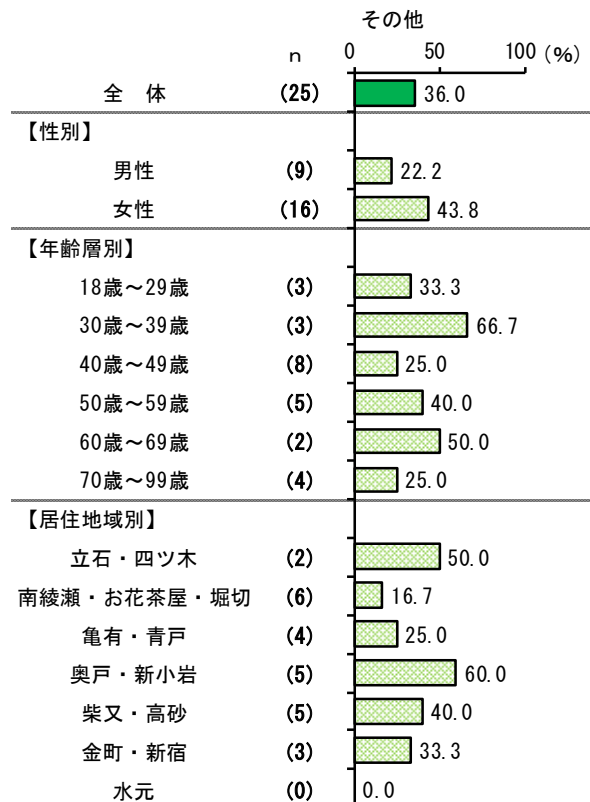
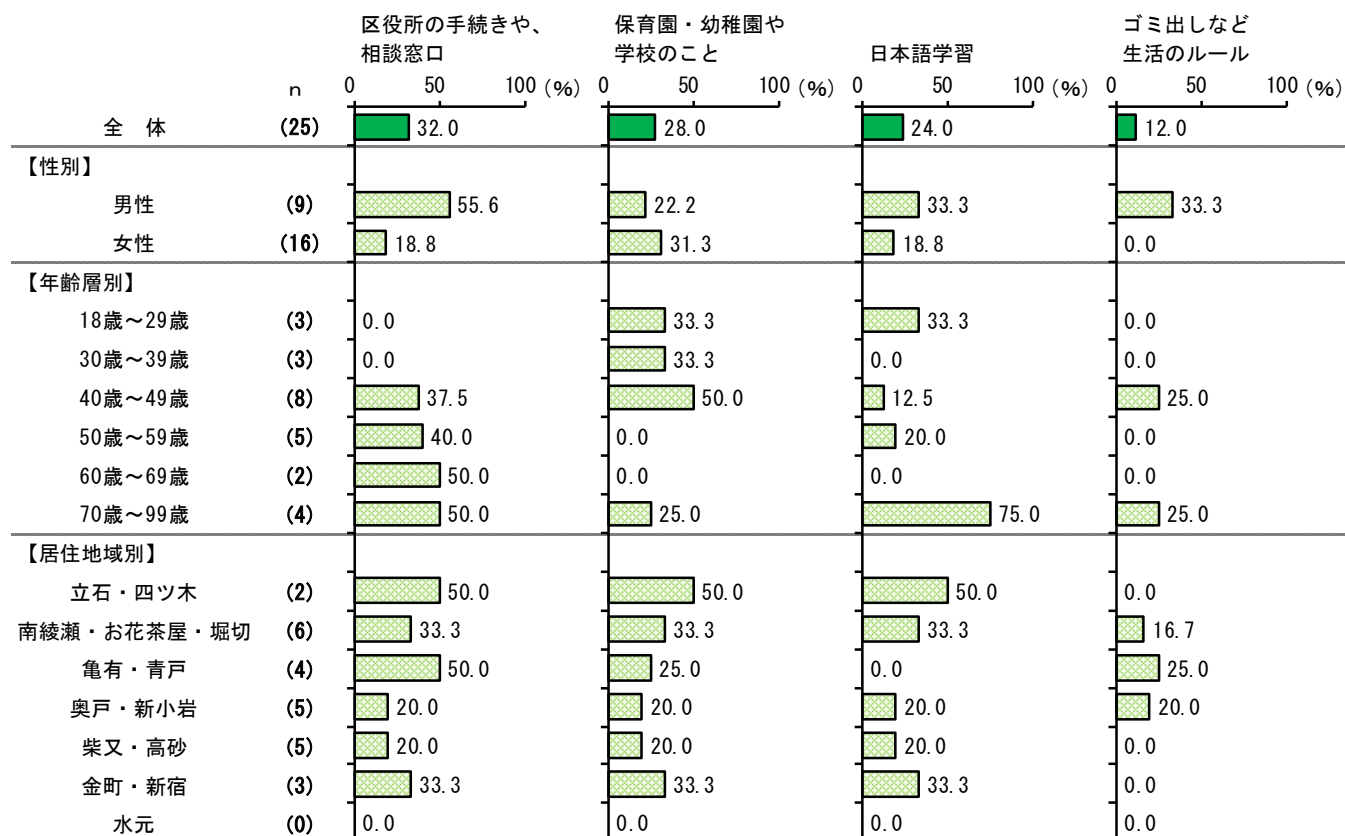


外国人区民に生活上で相談された内容は、「その他」が 36.0%、「区役所の手続きや、相談窓口」が 32.0%、「保育園・幼稚園や学校のこと」が 28.0%となっている。

「その他」の内容としては、「病院の場所」「学習塾の事」「仕事とビザについて」などがあった。

外国人区民に生活上で相談された内容

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別にみると、「区役所の手続きや、相談窓口」は【男性】が55.6%と、【女性】(18.8%)よりも 36.8 ポイント高くなっている。また、「ゴミ出しなど生活のルール」は【男性】が33.3%と、【女性】(0.0%)よりも 33.3 ポイント高くなっている。

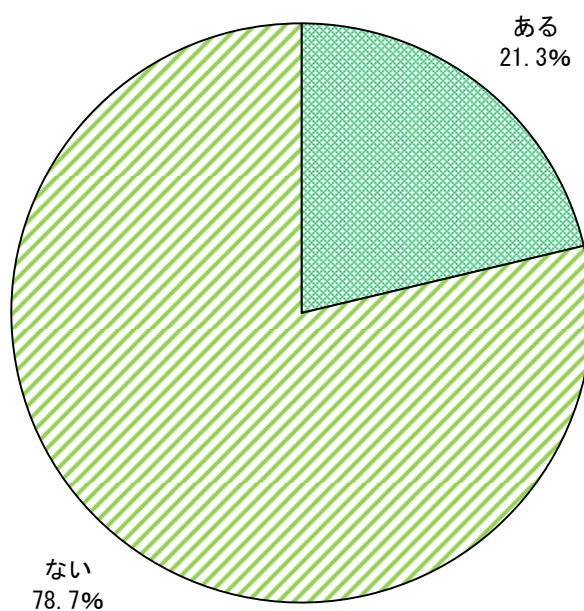
年齢層別にみると、「日本語学習」は【70 歳～99 歳】が 75.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別にみると、「区役所の手続きや、相談窓口」は【奥戸・新小岩】が 20.0%、【柴又・高砂】が 20.0%と他の区分に比べ低くなっている。

(39) 日常生活で外国人との関係で困っていることはあるか

問 39 日常生活で外国人（回答者が外国人の場合は日本人）との関係で困っていることはありますか。（1つ選択）

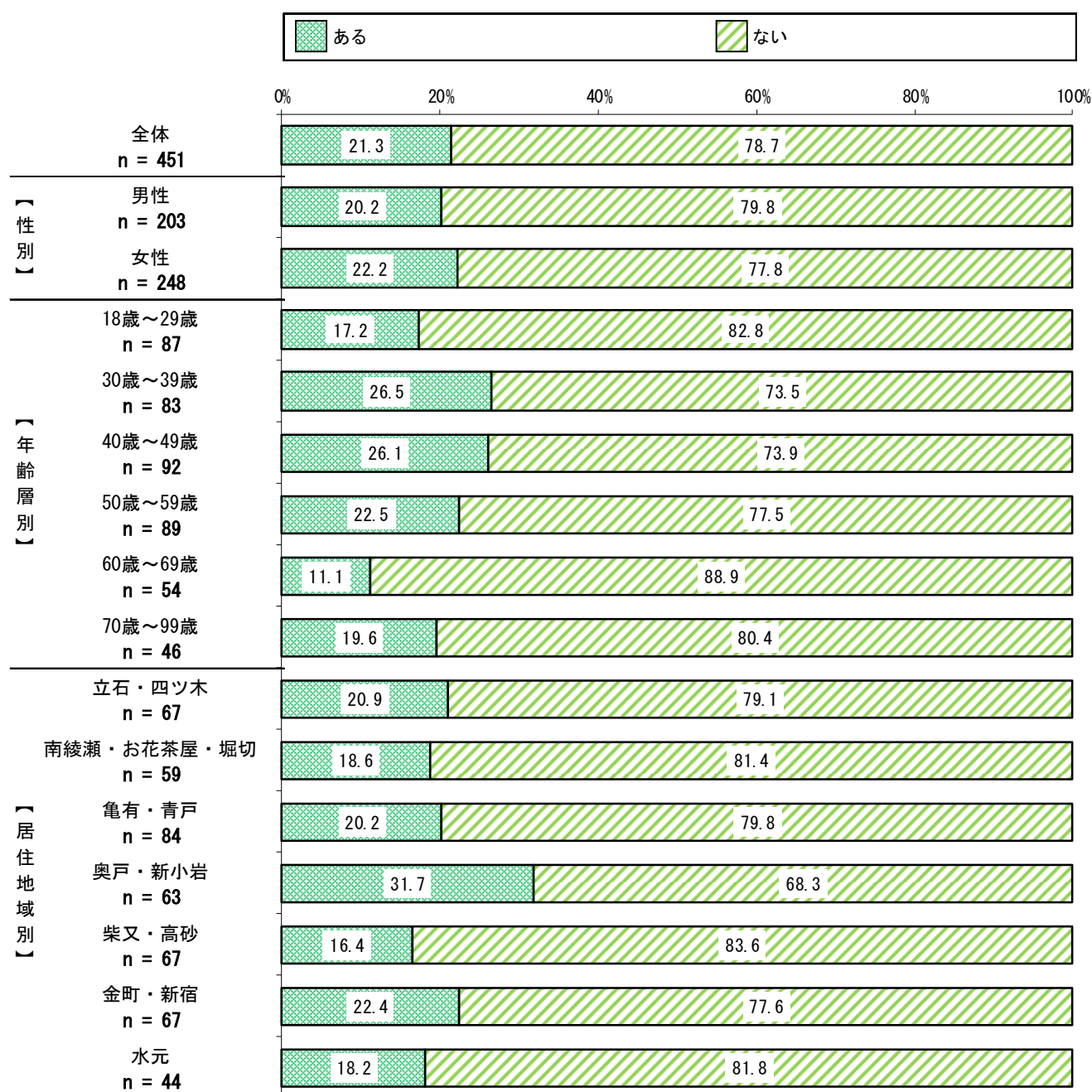
日常生活で外国人との関係で困っていることはあるか【全体】



n = 451

日常生活で外国人との関係で困っていることはあるか、「ない」が78.7%となっている。

日常生活で外国人との関係で困っていることはあるか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



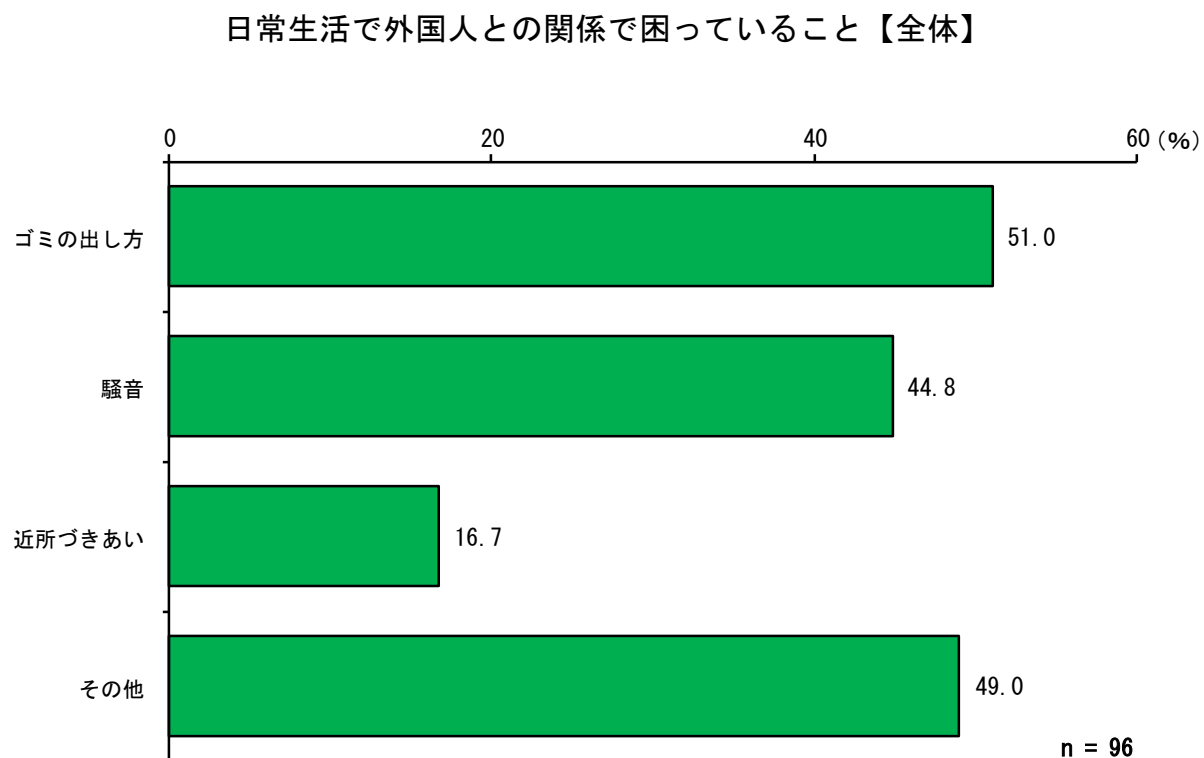
性別による大きな差はみられない。

年齢層別にみると、「ない」は【60歳～69歳】が88.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「ある」は【奥戸・新小岩】が31.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

(40) 日常生活で外国人との関係で困っていること

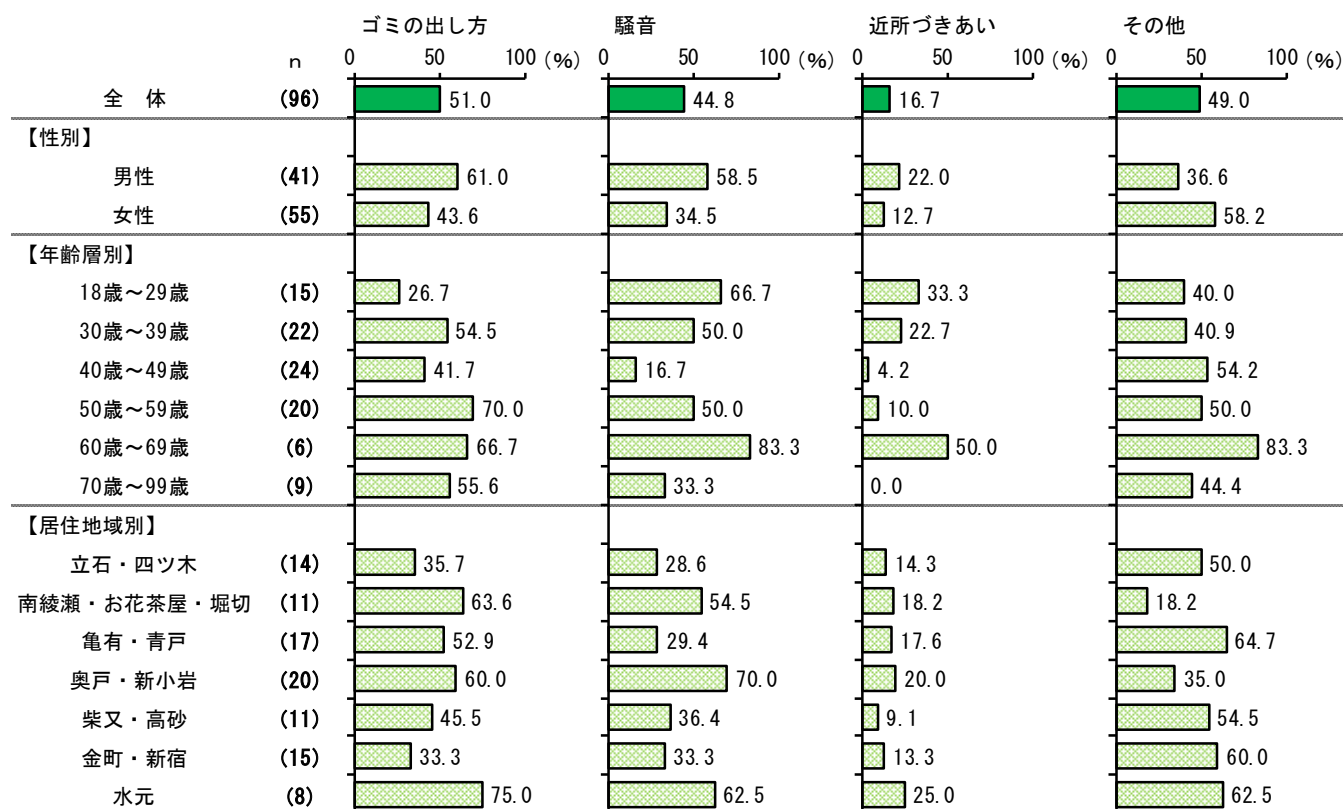
問 40 問 39 で「ある」と答えた方に伺います。
どのようなことに困っていますか。(複数選択可)



日常生活で外国人との関係で困っていることは、「ゴミの出し方」が 51.0%、「その他」が 49.0%、「騒音」が 44.8%となっている。

「その他」の内容としては、「正しく伝えていても外国人が間違っているのにこちらのせいにされる、謝らない」「家の植木の果実を盗られる」「共用部分に私物を置く」「列に並ぶなどのルールを守らない。」「公共交通機関でのマナー」などがあった。

日常生活で外国人との関係で困っていること【全体、性別、年齢層別、居住地域別】

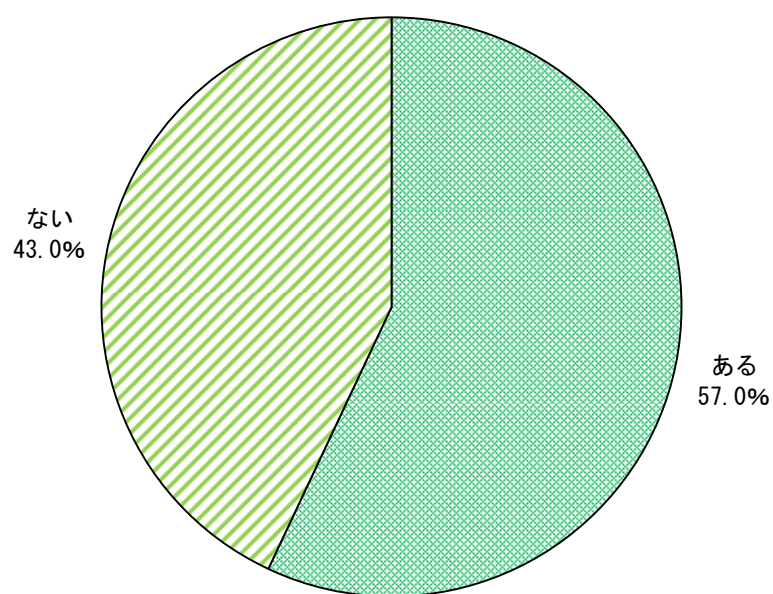


性別でみると、「騒音」は【男性】が 58.5%と、【女性】(34.5%) よりも 24.0 ポイント高くなっている。一方、「その他」は【女性】が 58.2%と、【男性】(36.6%) よりも 21.6 ポイント高くなっている。

(41) 災害発生した場合、外国人との関係で不安はあるか

問 41 震災等の災害が発生した場合、外国人（回答者が外国人の場合は日本人）との関係で不安はありますか。（1つ選択）

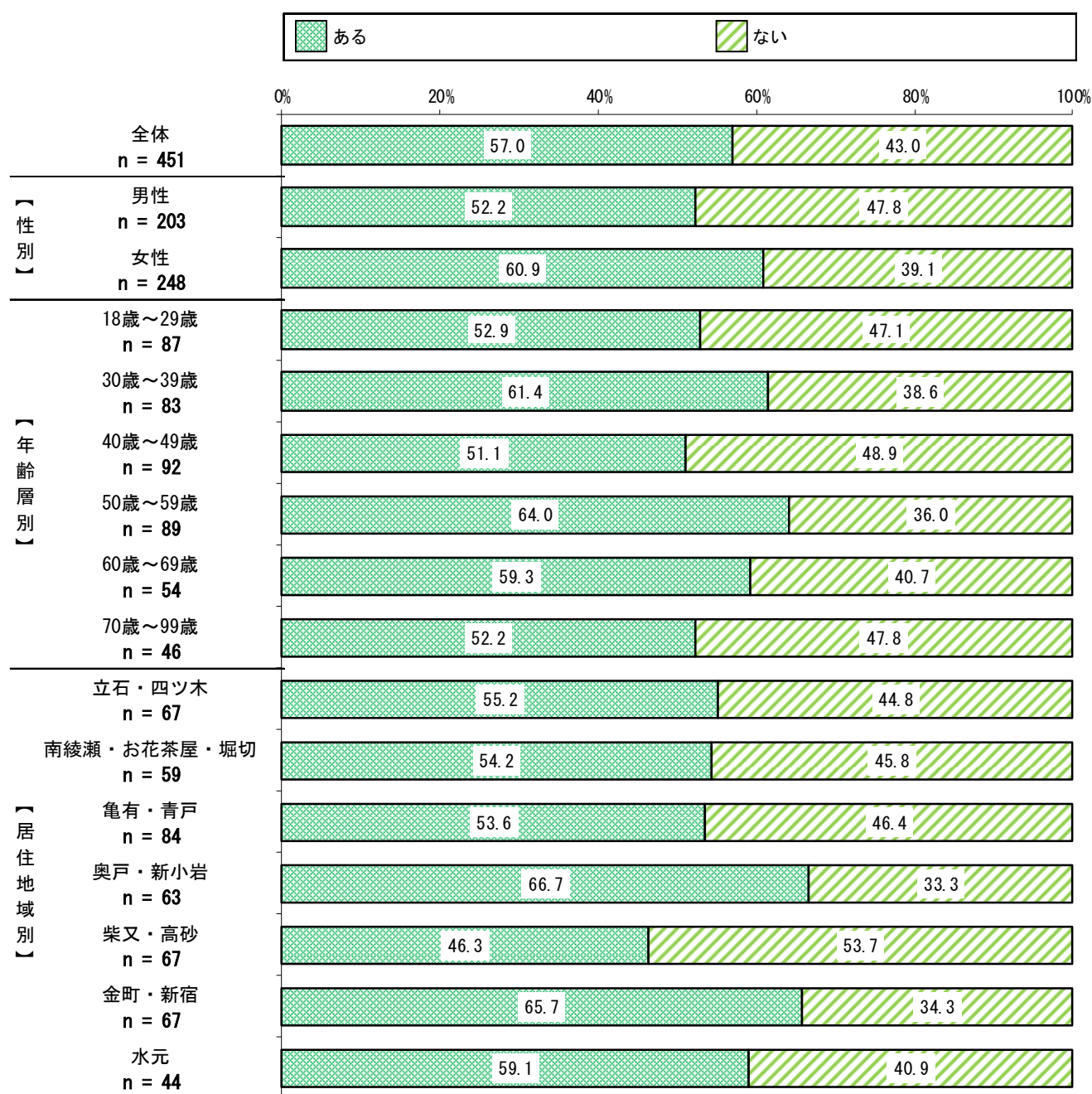
災害発生した場合、外国人との関係で不安はあるか【全体】



n = 451

災害発生した場合、外国人との関係で不安はあるか、「ある」が 57.0%、「ない」が 43.0%となっている。

災害発生した場合、外国人との関係で不安はあるか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「ある」は【女性】が60.9%と、【男性】(52.2%) よりも8.7ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「ある」は全ての年齢層で5割以上となっている。

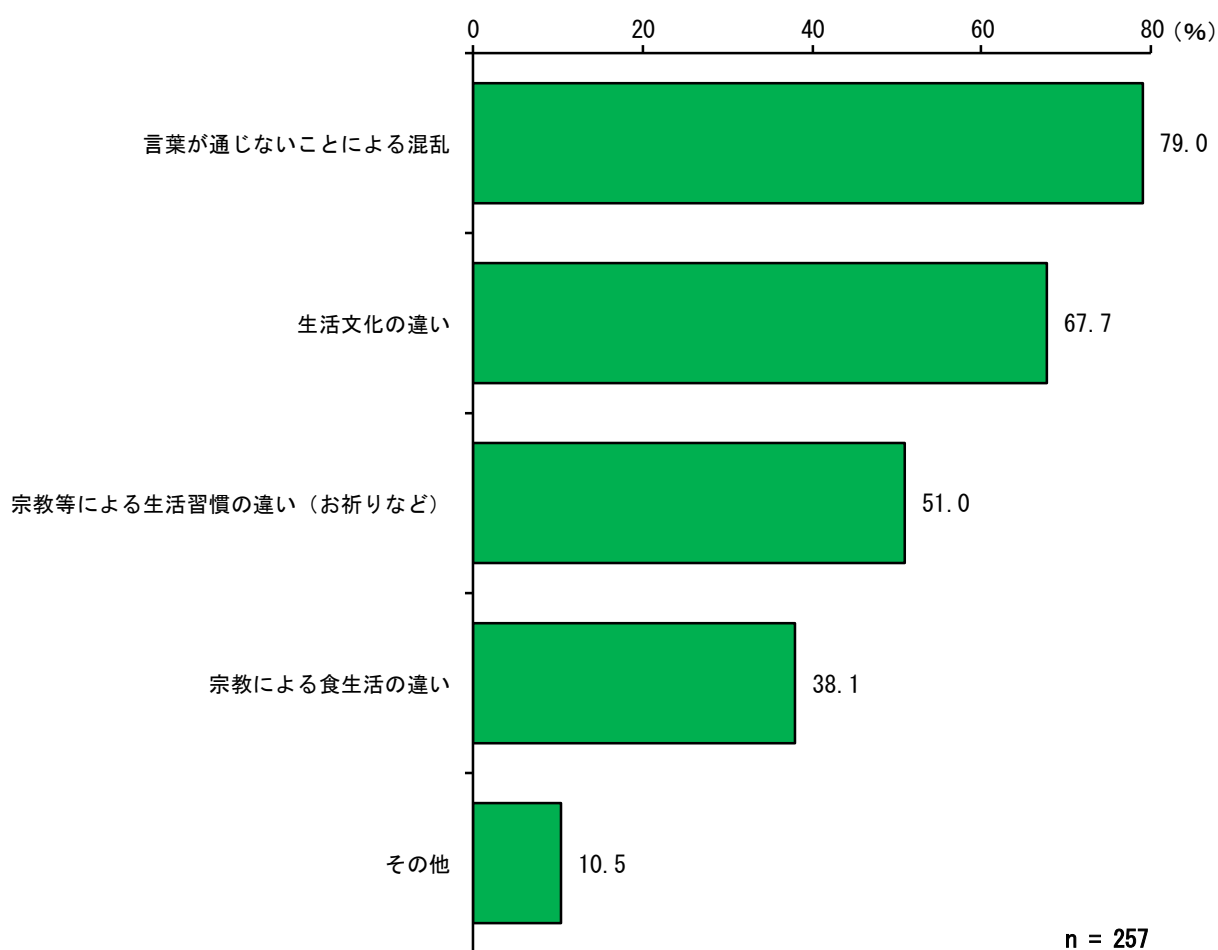
居住地域別でみると、「ある」は【奥戸・新小岩】が66.7%、【金町・新宿】が65.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

(42) 災害発生した場合、外国人との関係で不安を感じる事

問 42 問 41 で「ある」と答えた方に伺います。

どのようなことに不安を感じますか。(複数選択可)

災害発生した場合、外国人との関係で不安を感じる事【全体】

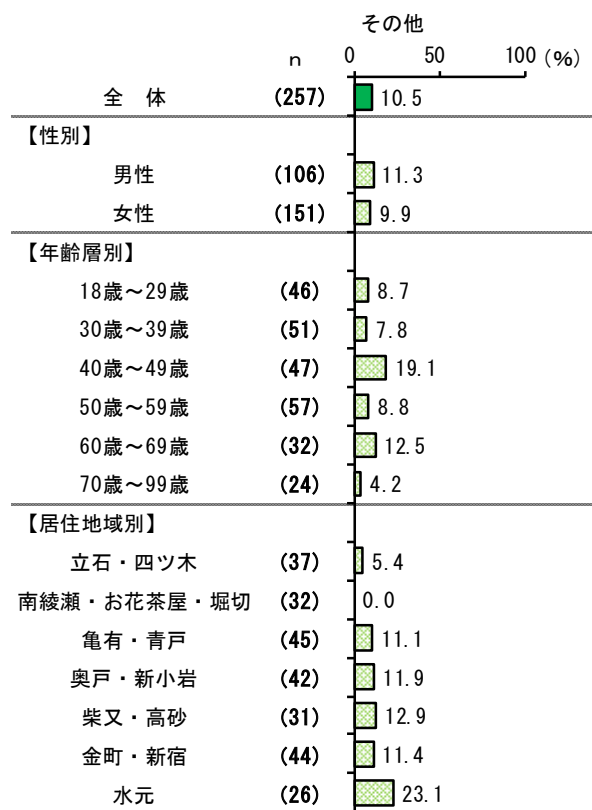
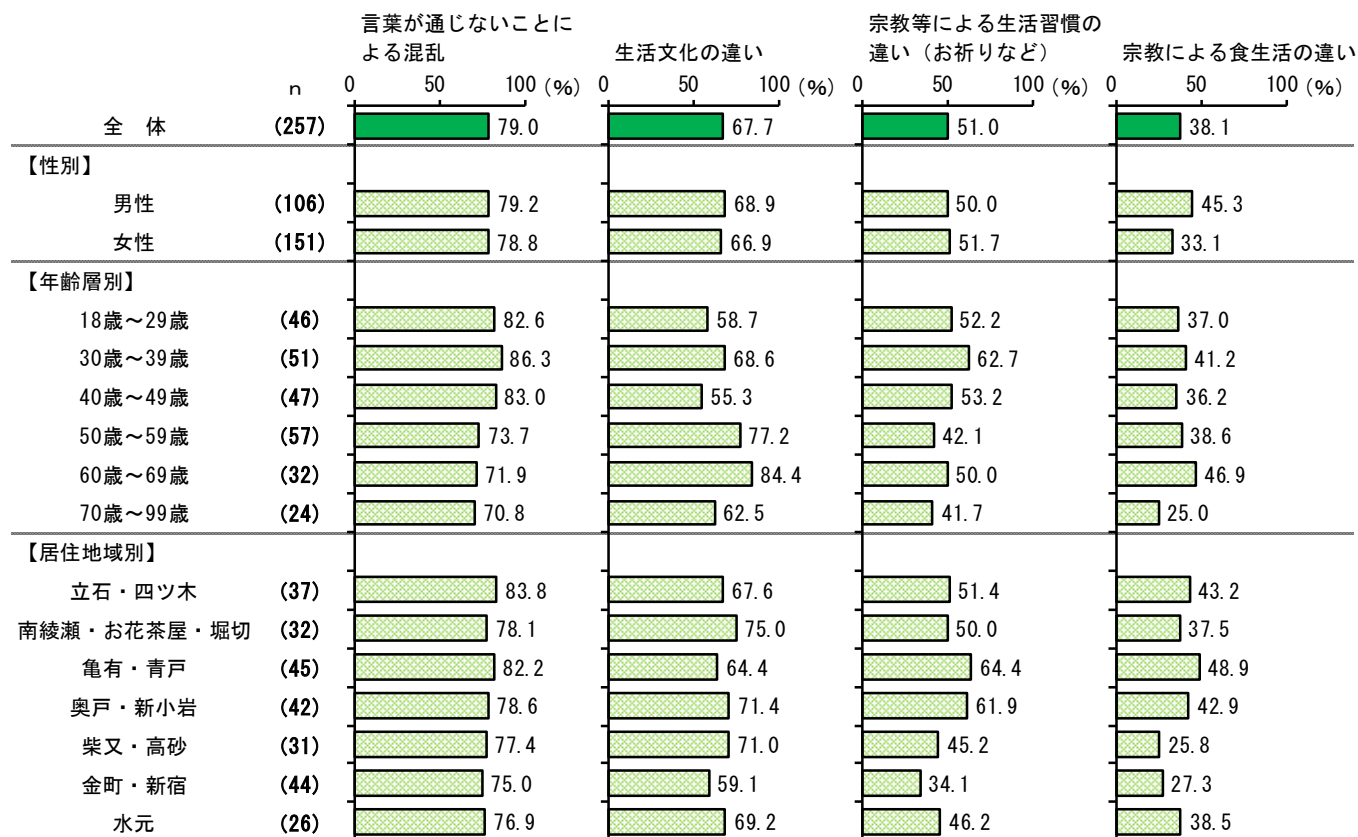


災害発生した場合、外国人との関係で不安を感じることは、「言葉が通じないことによる混乱」が 79.0%で最も高く、次いで「生活文化の違い」が 67.7%、「宗教等による生活習慣の違い (お祈りなど)」が 51.0%、「宗教による食生活の違い」が 38.1%となっている。

「その他」の内容としては、「ルールを守れるかどうか」「自国の常識を強要する」「モラルや価値観の違い」などがあった。

災害発生した場合、外国人との関係で不安を感じること

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「宗教による食生活の違い」は【男性】が 45.3%と、【女性】(33.1%) よりも 12.2 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「生活文化の違い」は【60 歳～69 歳】が 84.4%、「宗教等による生活習慣の違い（お祈りなど）」は【30 歳～39 歳】が 62.7%、「宗教による食生活の違い」は【60 歳～69 歳】が 46.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

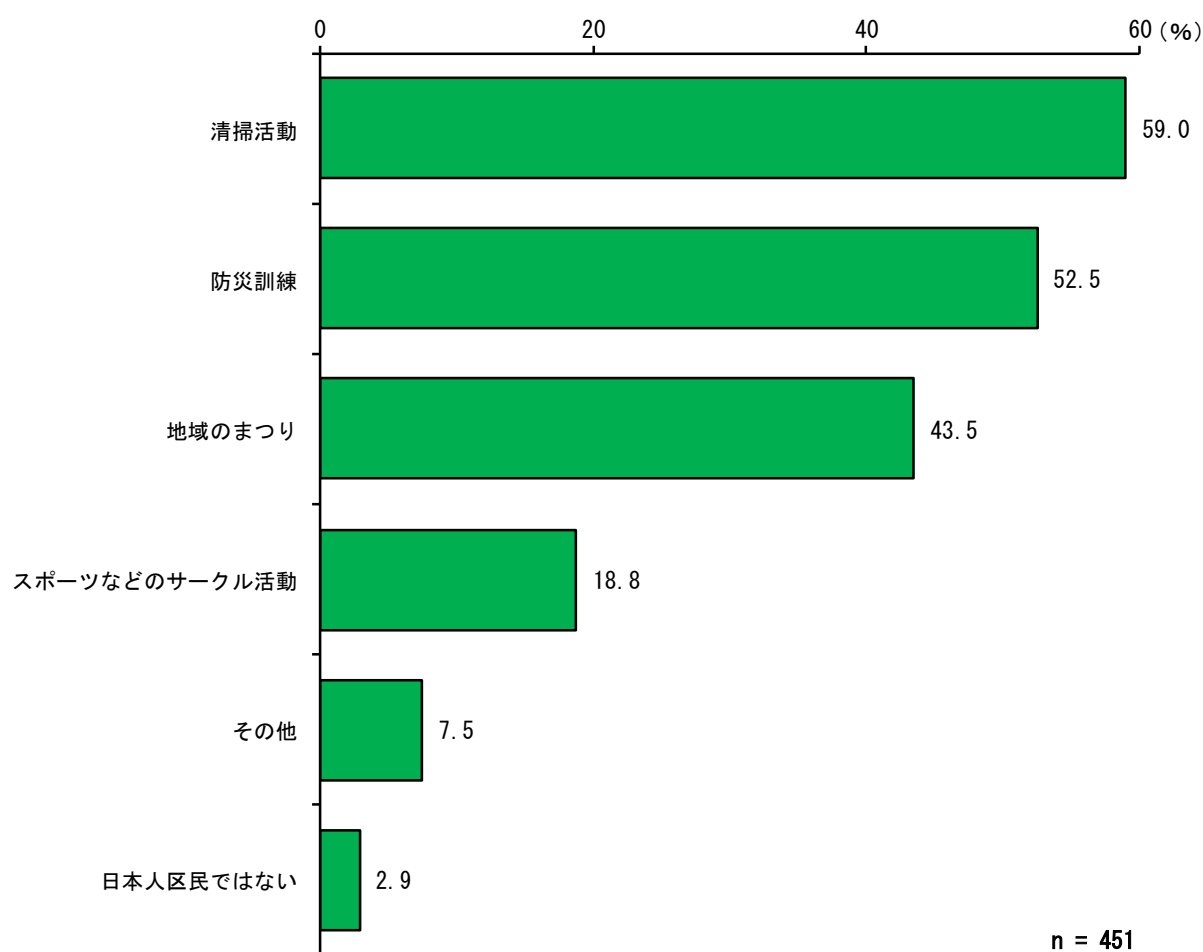
居住地域別でみると、【亀有・青戸】は「宗教等による生活習慣の違い（お祈りなど）」が 64.4%、「宗教による食生活の違い」が 48.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

(43) 外国人区民に参加して欲しい地域のイベントや催し

(日本人区民の方への質問)

問 43 外国人区民に参加して欲しい地域のイベントや催しはありますか。外国人区民の方は、「日本人区民ではない」を選択してください。(複数選択可)

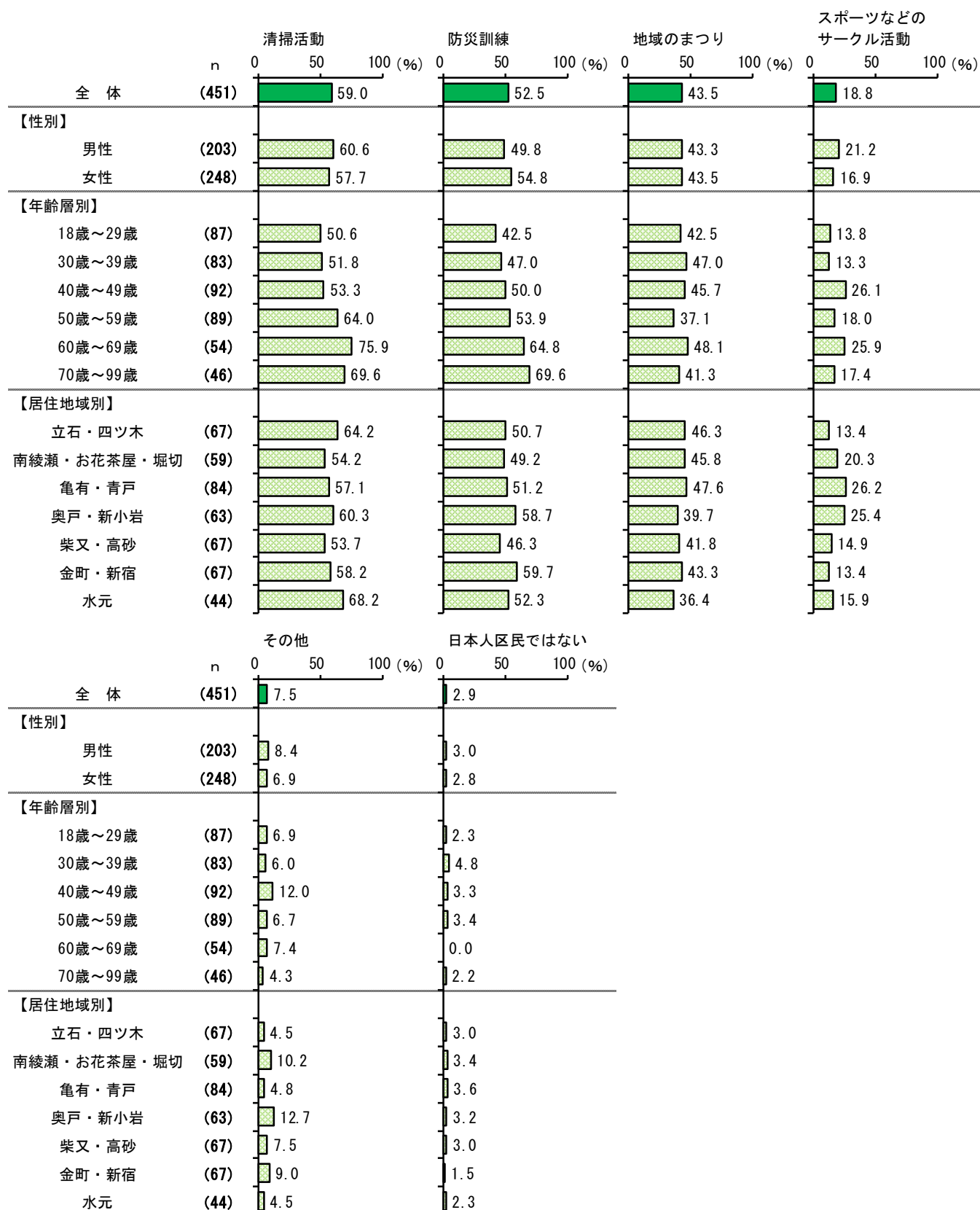
外国人区民に参加して欲しい地域のイベントや催し【全体】



外国人区民に参加して欲しい地域のイベントや催しは、「清掃活動」が 59.0%で最も高く、次いで「防災訓練」が 52.5%、「地域のまつり」が 43.5%と続いている。

「その他」の内容としては、「日本の文化や風潮、風習を知るイベントや講習など」「マナー講座」「マンションの定例会議」などがあつた。

外国人区民に参加して欲しい地域のイベントや催し【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「防災訓練」は【女性】が54.8%と、【男性】(49.8%) よりも5.0ポイント高くなっている。

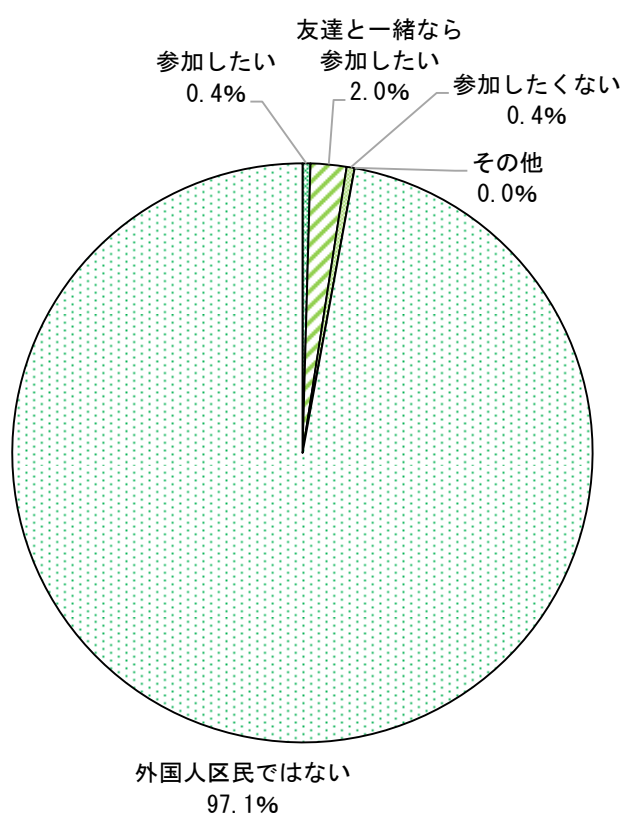
年齢層別にみると、「清掃活動」は【60歳～69歳】が75.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

(44) 地域のイベントや催しへの参加意向

(外国人区民の方への質問)

問 44 地域のイベントや催しに参加したいと思いますか。日本人区民の方は、「外国人区民ではない」を選択してください。(1つ選択)

地域のイベントや催しへの参加意向【全体】

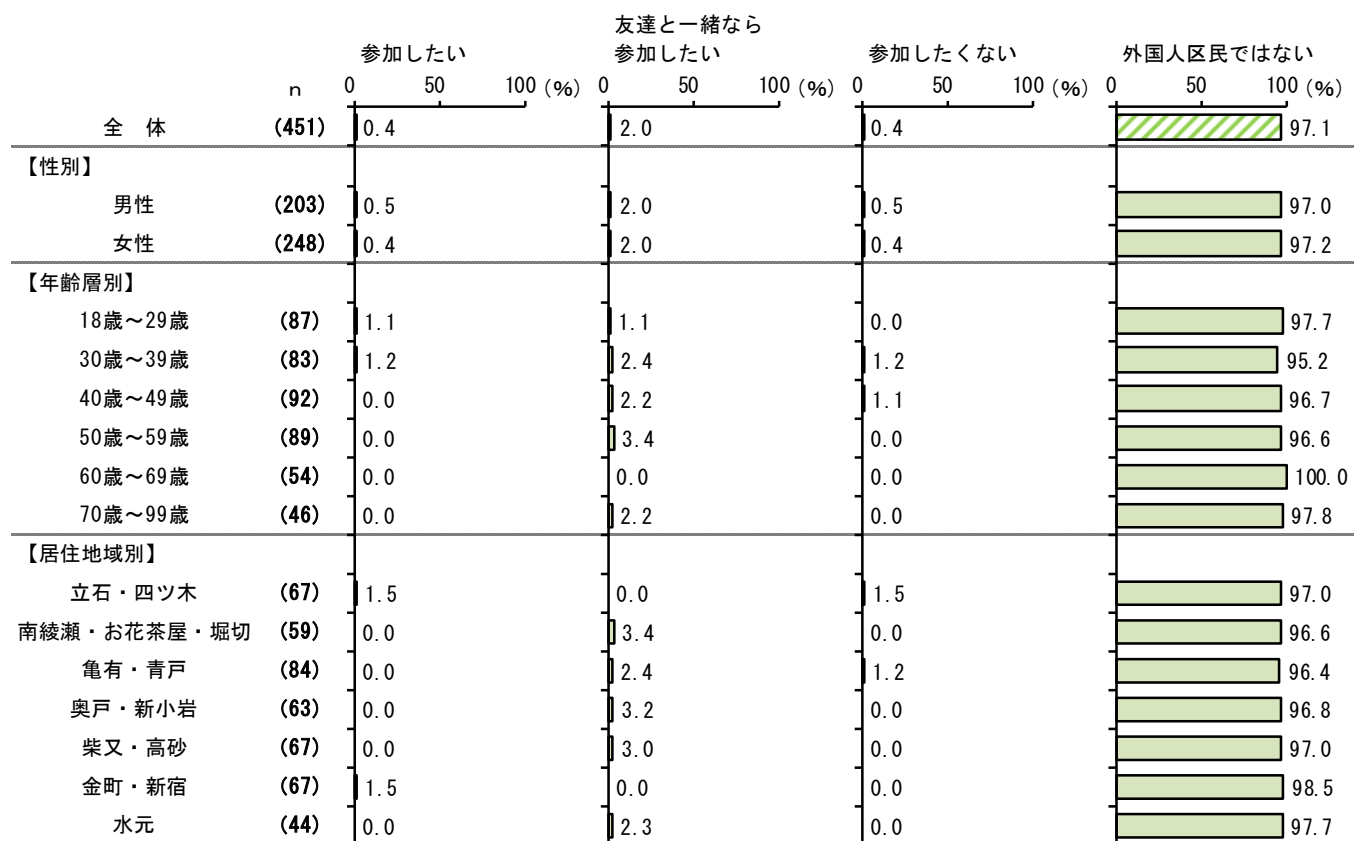


n = 451

地域のイベントや催しへの参加意向は、「参加したい」が0.4%、「友達と一緒に参加したい」が2.0%、「参加したくない」が0.4%となっている。

性別による大きな差はみられない。

地域のイベントや催しへの参加意向【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



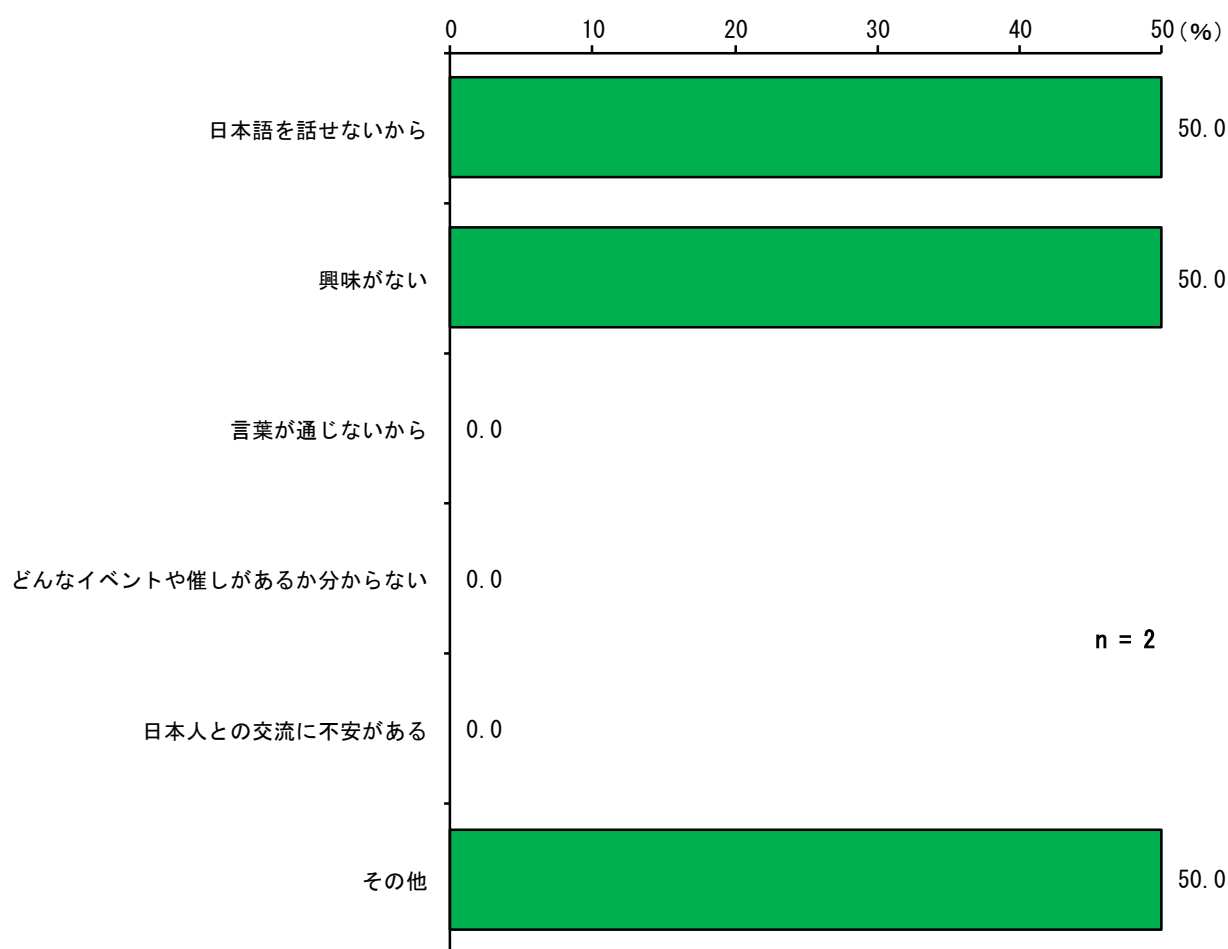
※「その他」は回答者がいないため、割愛している

性別、年齢層、居住地域による大きな差はみられない。

(45) 地域のイベントや催しへ参加したくない理由

問 45 問 12 で「参加したくない」と答えた方に伺います。
参加したくない理由は何ですか。(複数選択可)

地域のイベントや催しへ参加したくない理由【全体】



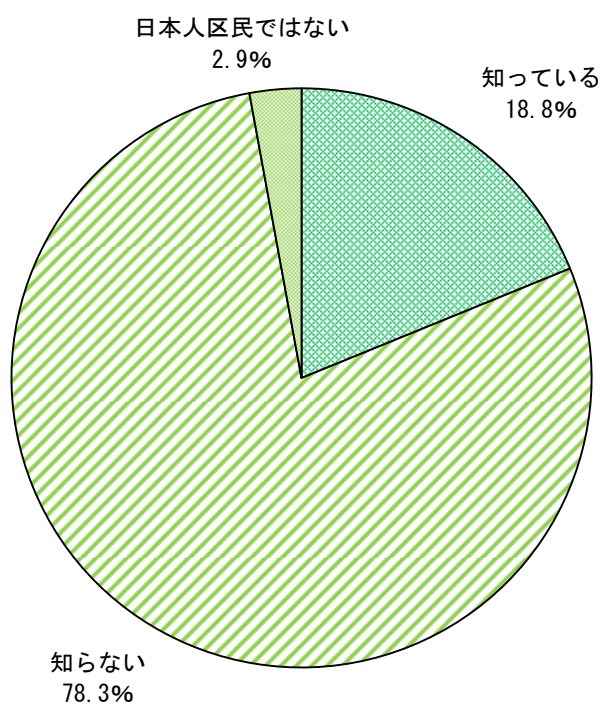
地域のイベントや催しへ参加したくない理由は、「日本語が話せないから」が 50.0%、「興味がない」が 50.0%となっている。

「その他」の内容としては、「忙しいから」があった。

(46) 「やさしい日本語」の認知

問 46 「やさしい日本語」について知っていますか。(1つ選択)

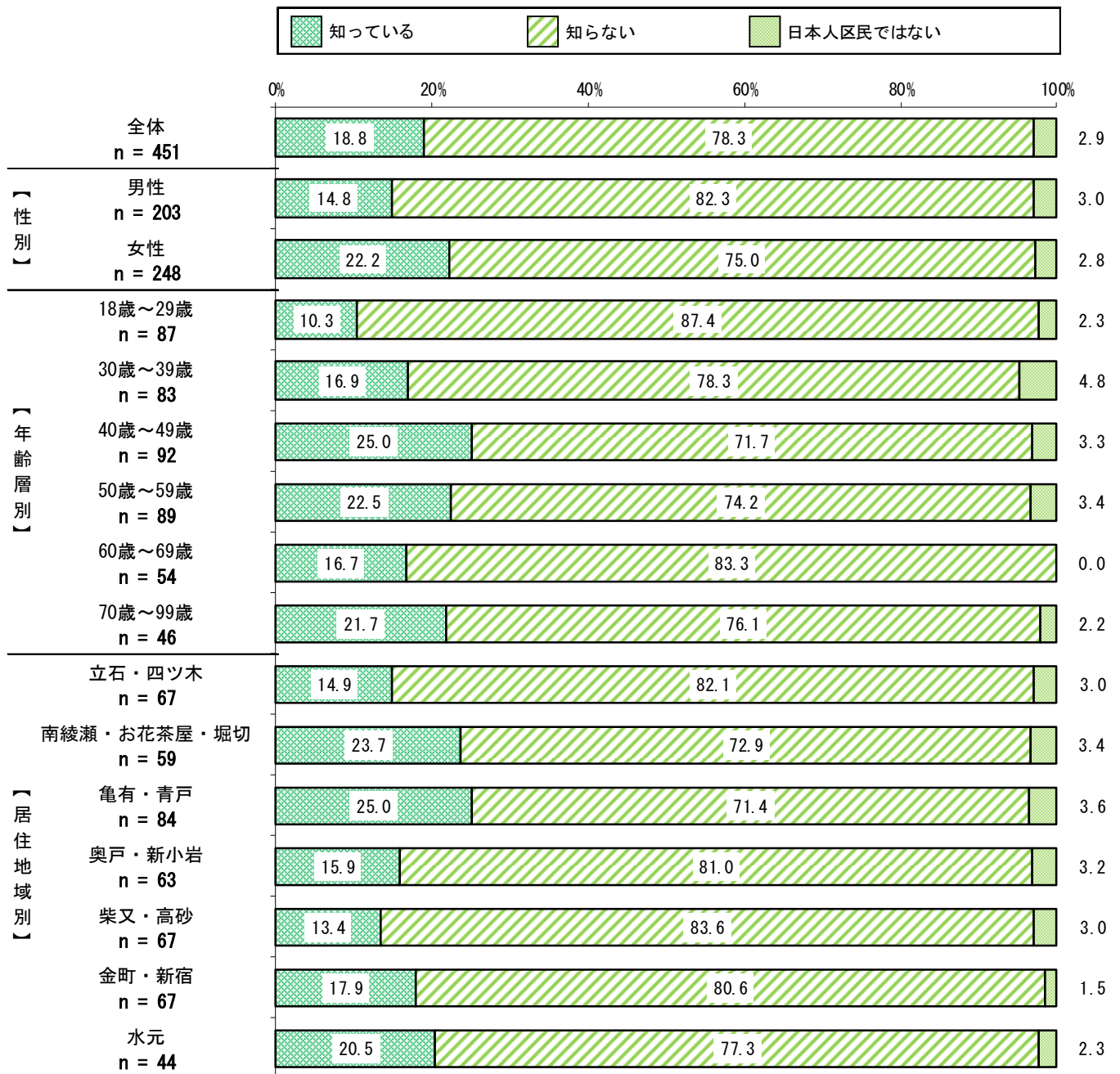
「やさしい日本語」の認知【全体】



n = 451

「やさしい日本語」の認知は、「知らない」が78.3%となっている。

「やさしい日本語」の認知【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「知っている」は【女性】が22.2%と、【男性】(14.8%)よりも7.4ポイント高くなっている。

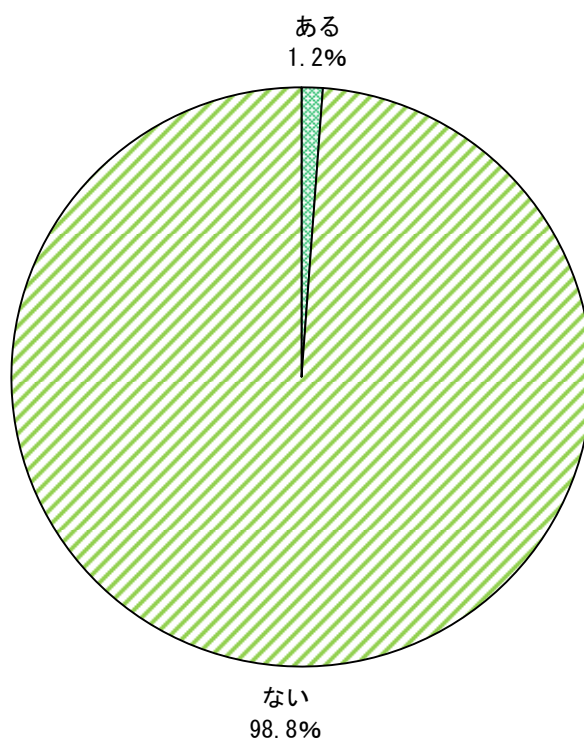
性別、年齢層別、居住地域別でみると、「知らない」が7割以上となっている。

(47) 区が実施する「やさしい日本語」講座に参加したことがあるか

問 47 問 46 で「知っている」と答えた方に伺います。

区が実施する「やさしい日本語」講座に参加したことがありますか。(1 つ選択)

区が実施する「やさしい日本語」講座に参加したことがあるか【全体】

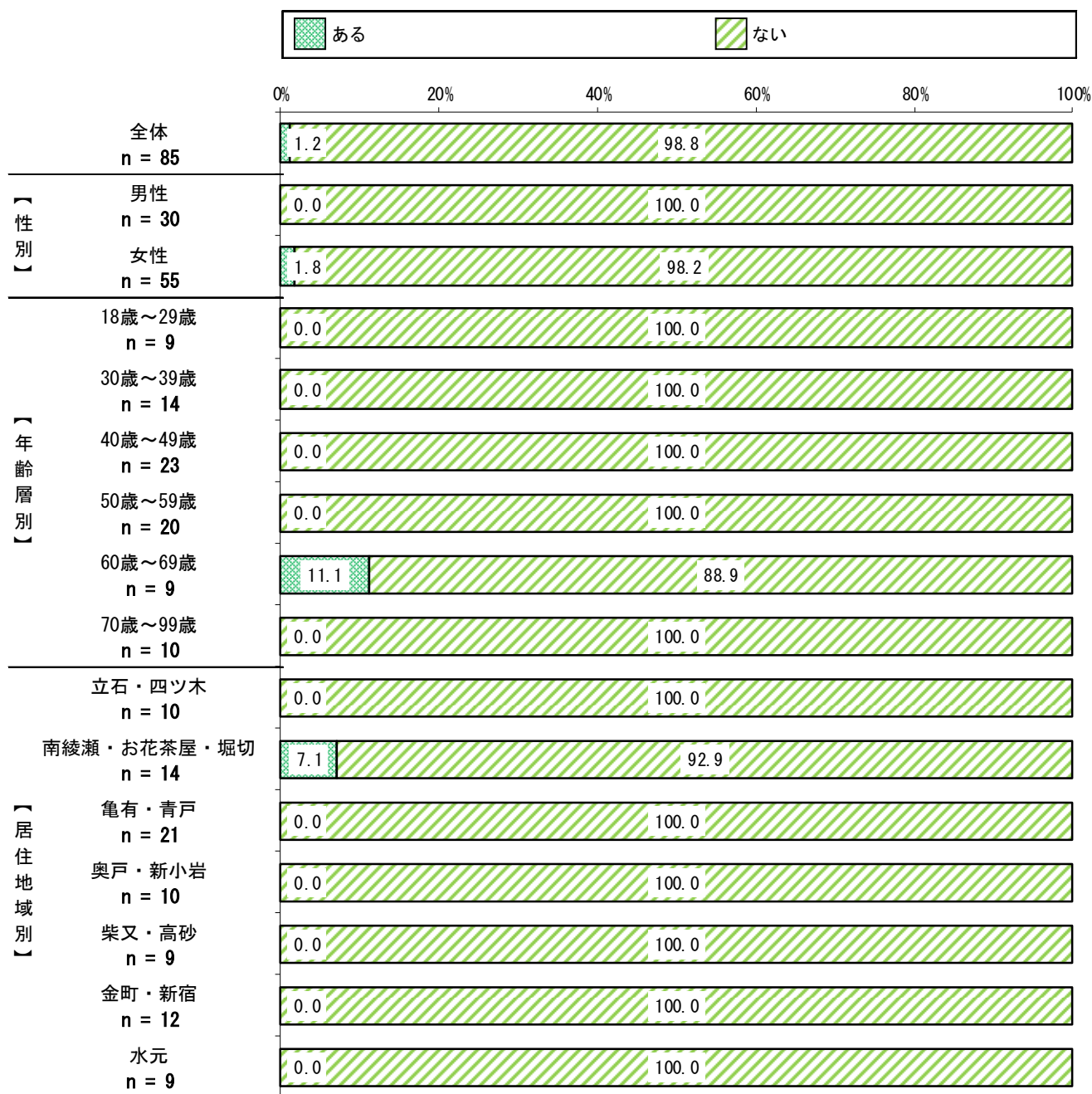


n = 85

区が実施する「やさしい日本語」講座に参加したことがあるか、「ない」が 98.8%となっている。

区が実施する「やさしい日本語」講座に参加したことがあるか

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



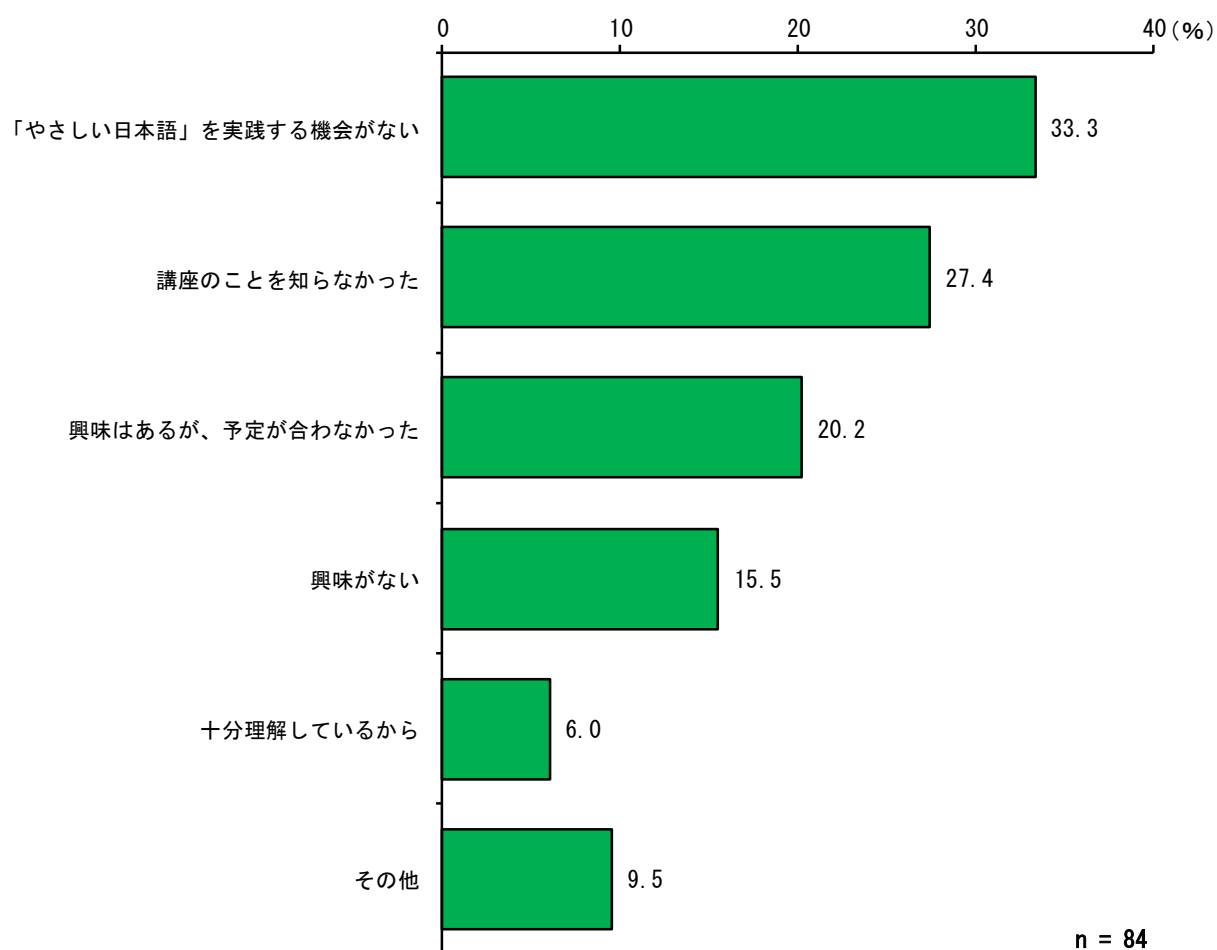
性別による大きな差はみられない。

年齢層別にみると、「ない」は【60歳～69歳】以外の全ての年齢層で100.0%となっている。

(48) 区が実施する「やさしい日本語」講座に参加しなかった理由

問 48 問 47 で「ない」と答えた方に伺います。
参加しなかった理由は何ですか。(複数選択可)

区が実施する「やさしい日本語」講座に参加しなかった理由【全体】

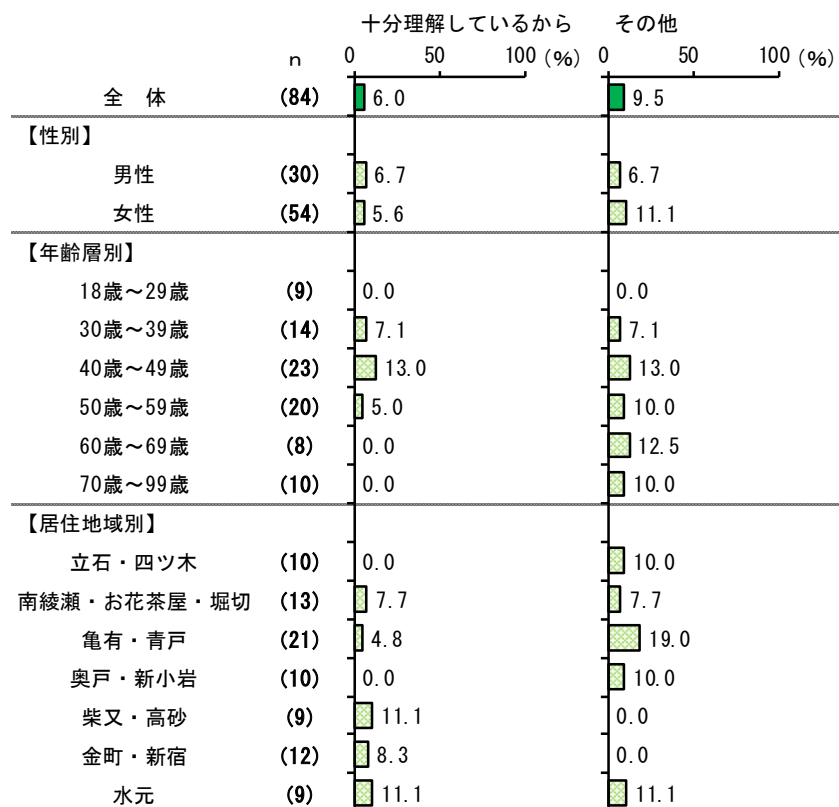
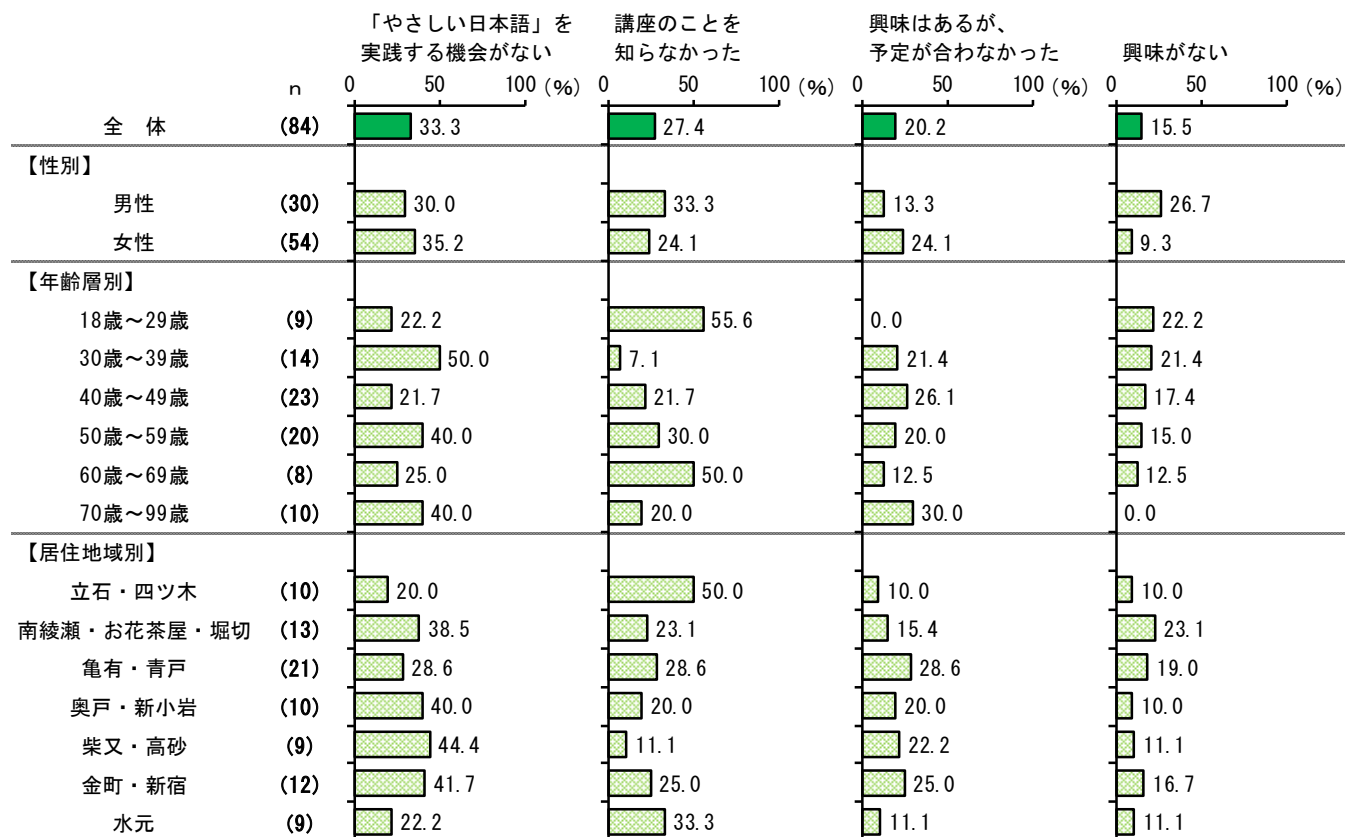


区が実施する「やさしい日本語」講座に参加しなかった理由は、「「やさしい日本語」を実践する機会がない」が 33.3%、「講座のことを知らなかった」が 27.4%、「興味はあるが、予定が合わなかった」が 20.2%となっている。

「その他」の内容としては、「時間が取れない」「興味はあるが、わざわざセミナーに参加しようとは思わない」「興味はあるが積極的に参加するまでのモチベーションは無い」「広報誌でさらっと見たことがあるだけで詳細を知らないため」などがあつた。

区が実施する「やさしい日本語」講座に参加しなかった理由

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



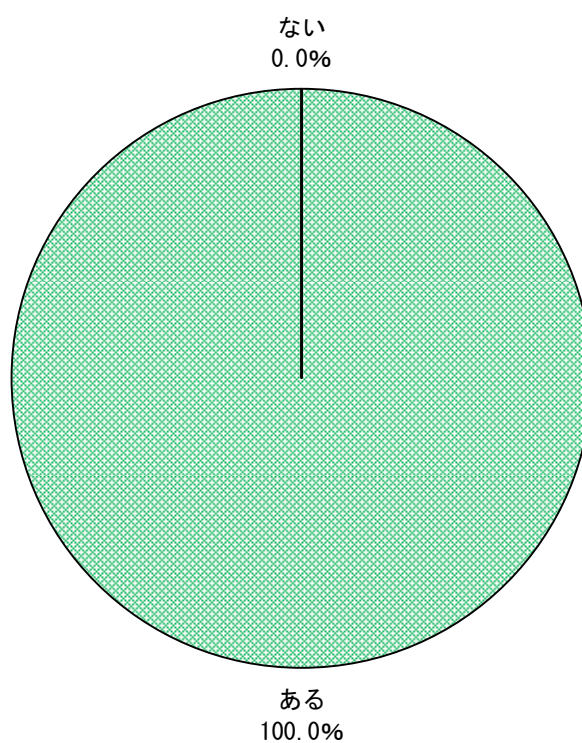
性別でみると、「興味がない」は【男性】が26.7%と、【女性】(9.3%)よりも17.4ポイント高くなっている。

(49) 「やさしい日本語」を実践したことはあるか

問 49 問 47 で「ある」と答えた方に伺います。

「やさしい日本語」を実践したことはありますか。(1つ選択)

「やさしい日本語」を実践したことはあるか【全体】



n = 1

「やさしい日本語」を実践したことはあるかは、「ある」が 100.0%となっている。

(50)「やさしい日本語」を実践しなかった理由

問 50 問 49 で「ない」と答えた方に伺います。
実践しなかった理由は何ですか。(1つ選択)

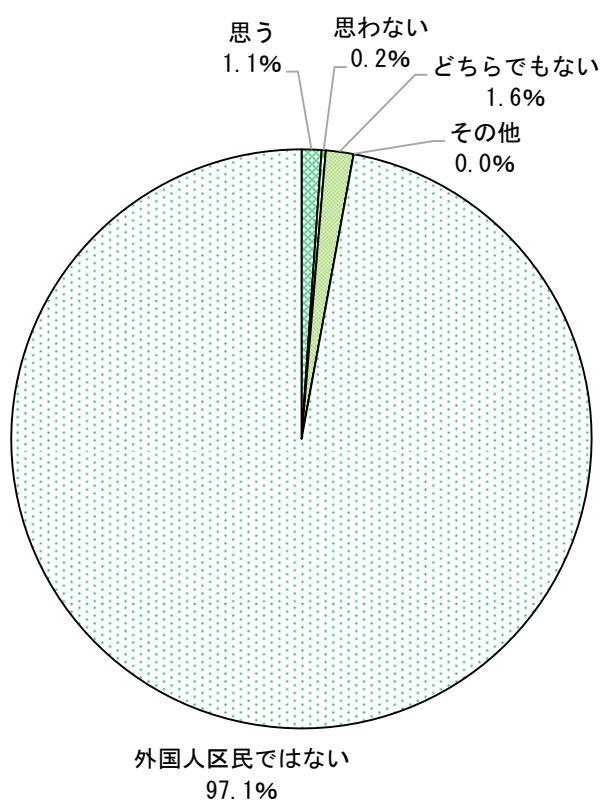
「やさしい日本語」を実践しなかった理由は、回答がなかった。

(51) 葛飾区は、外国人にとって住みやすいまちだと思うか

(外国人区民の方への質問)

問 51 葛飾区は、外国人にとって住みやすいまちだと思いますか。日本人区民の方は、「外国人区民ではない」を選択してください。(1つ選択)

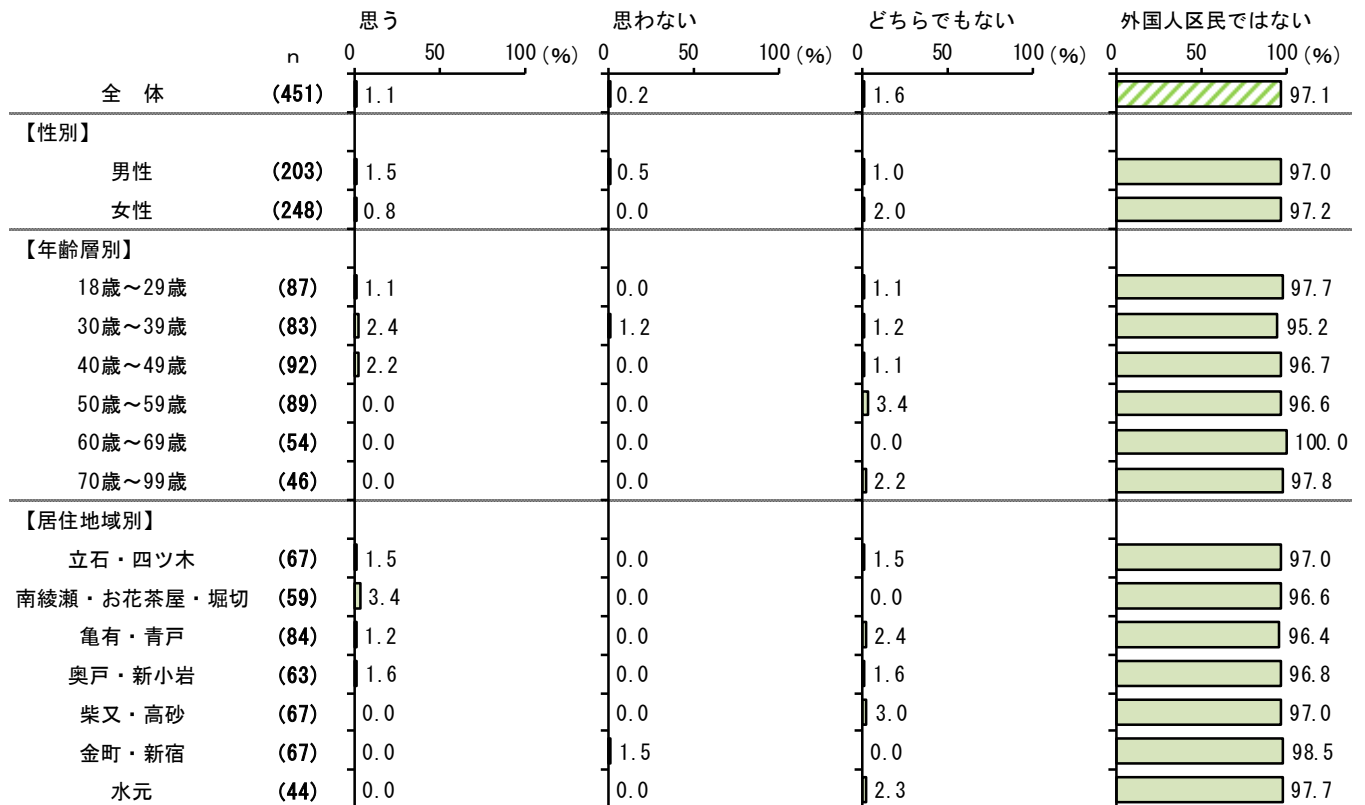
葛飾区は、外国人にとって住みやすいまちだと思うか【全体】



n = 451

葛飾区は、外国人にとって住みやすいまちだと思うか、「思う」が 1.1%となっている。

葛飾区は、外国人にとって住みやすいまちだと思うか
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



※「その他」は回答者がいないため、割愛している

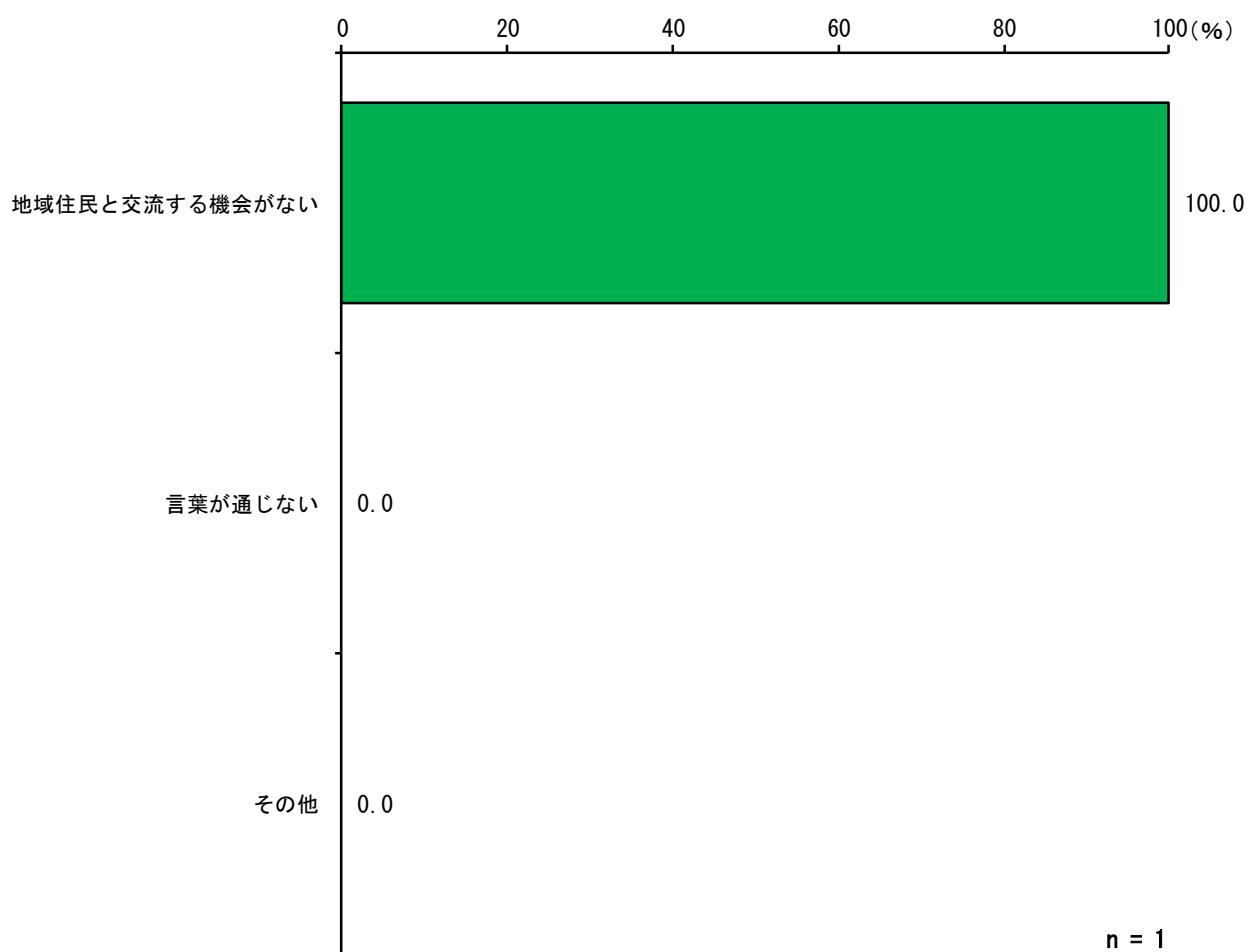
性別、年齢層、居住地域による大きな差はみられない。

(52) 葛飾区は、外国人にとって住みやすいまちだと思わない理由

問 52 問 51 で「思わない」と答えた方に伺います。

外国人にとって住みやすいまちだと「思わない」理由は何ですか。(複数選択可)

葛飾区は、外国人にとって住みやすいまちだと思わない理由【全体】



葛飾区は、外国人にとって住みやすいまちだと思わない理由は、「地域住民と交流する機会がない」が 100.0%となっている。

令和7年度 第1回葛飾区区民モニター調査

報 告 書

令和7年11月

葛飾区総務部すぐやる課

住 所：〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

T E L：03-3695-1111（代表） 03-5654-8448（直通）